



2026 年度
商学部シラバス1(履修の手引)
School of Commerce Syllabus I

明 治 大 学
Meiji University

2026 年度
商学部シラバス1(履修の手引)

明 治 大 学

目 次

商学部 学位授与方針(ディプロマ・ポリシー).....	3
商学部 教育課程編成・実施方針(カリキュラム・ポリシー).....	3
商学部生の皆さんへ.....	4
2026 年度学年暦.....	5
2026 年度 時間割.....	6
I. Oh-o!Meiji について.....	7
Oh-o!Meiji について.....	8
お知らせ転送設定.....	9
仮参加機能について.....	9
II. WEB 履修登録要領.....	10
1. 春学期履修登録について.....	11
2. 秋学期履修制度について.....	13
3. 教務システム操作方法.....	14
4. WEB履修に関するFAQ.....	20
III. 履修の注意点.....	22
—1年生—.....	23
—2年生—.....	29
—3・4年生—.....	35
IV- I 2023 年度以降カリキュラム 卒業要件と科目一覧.....	38
1. 卒業要件について(2023 年度以降入学者).....	39
2. 2023 年度以降入学者授業科目及び担当者一覧表.....	40
IV- II. 2022 年度以前カリキュラム 卒業要件と科目一覧.....	56
1. 卒業要件(2022 年度以前入学者).....	57
2. 2022 年度以前入学者授業科目及び担当者一覧表.....	58
V. 全学年共通事項.....	73
科目名対照表(2021 年度以前入学者用).....	74
必修科目担当予定者一覧表.....	75
各語学の説明について.....	82
2026 年度 体育・スポーツ実習 A・B 一覧表.....	88
外国専門書講読担当予定者.....	89
特別テーマ実践科目.....	90
特別テーマ研究科目.....	91
特別テーマ海外研修科目.....	92
CLASP(商学部外国語アドヴァンスメント・プログラム)について.....	93
— 学部共通科目紹介 —.....	95
その他(全学年共通).....	96
VI. カリキュラムマップ.....	97

商学部 学位授与方針(ディプロマ・ポリシー)

＜目指すべき人材像＞

商学部は、「権利自由」「独立自治」の明治大学建学の精神及び「学理実際兼ね通ずる人材の養成」という学部創設以来の基本的教育理念を継承しています。この教育理念のもとで、商学の専門と教養の「知の融合」を通じて、学生の内面に新たな価値観、人間観及び世界観を「創生」することにより、現代社会を理解する知識、課題解決のための思考力を身につけ、他者と積極的に関わり、正義を実現する社会において活躍できる有為な人材、具体的には、新たな時代を担って世界で広く活躍できる人間の育成を目指しています。

＜そのための具体的到達目標＞

商学部の具体的到達目標として、以下の目標を掲げています。そして、本学学則に定める期間に在学し、基礎教育科目、外国語科目、総合教育科目、保健体育科目、基本科目、基幹科目、演習科目などからなる所定の単位(126単位)*を修得することにより、教育目標に到達したと認定し、学士(商学)を授与します。

- (1) 商学の専門知識と深い教養の知識を兼ね備えて、理論的思考で事象を考えることができる。
- (2) 外国語運用能力を備えた総合的な国際性、現代社会を理解する知識を身につける。
- (3) 商学の最先端分野に関する理論的・実証的研究の成果を習得する。
- (4) 「総合的市場科学」の視点より市場現象に関わる多様な課題を的確に分析し、それらを解決できる能力を有する。
- (5) 自ら主体的に学び、行動する積極性、様々な人々と協働できるチーム力及びコミュニケーション力で課題解決に取り組むことができる

*126単位は2023年度入学者から適用。

商学部 教育課程編成・実施方針(カリキュラム・ポリシー)

＜教育課程の理念＞

商学部は、商学の専門知識と深い教養とを兼ね備え、商学の最先端分野の理論的・実証的研究の成果を習得できるように、基礎教育科目、外国語科目、総合教育科目、保健体育科目、基本科目、基幹科目、演習科目などによって、体系的段階的な教育課程を編成しています。

＜教育課程の構成＞

セメスター制度のもと、1・2年次は、必修科目である基礎教育科目と外国語科目、保健体育科目を中心に構成されていますが、そのほかにも「商業総論」などの基本科目や「社会学」などの総合教育科目を学ぶことができます。基礎教育科目は、商学部での学びをより充実させるために必要な技能や知識の習得のために設置され、「基礎演習」「文章表現」「経済学」から成り、これは初年次導入教育の役割を担っています。

3・4年次は、7つの専門コースが設定している基幹科目を中心に構成されます。また、2年次から4年次まで、商学の専門知識と深い教養を修得できるように、「総合学際演習」と「商学専門演習」を同時に履修できます。

＜教育課程の特長＞

- (1) 少人数教育、体系的段階的履修、初年次導入教育などの原則のもと、「アプライド・エコノミクス」「マーケティング」「ファイナンス&インシュアランス」「グローバル・ビジネス」「マネジメント」「アカウンティング」「クリエイティブ・ビジネス」からなる7コース制を採用しています。
- (2) 各コースは、それぞれの教育目標に応じて専門分野を学ぶため、基幹科目を設定しています。
- (3) 応用展開科目を含め、自由に履修できる選択科目も開設し、その中には「特別テーマ実践科目」「特別テーマ研究科目」「特別テーマ海外研修科目」があります。「特別テーマ実践科目」は、社会連携活動を通して、社会から見え、社会が見える学生の育成を目指しています。「特別テーマ研究科目」は、商学に関する最先端の研究を学生に紹介し、「特別テーマ海外研修科目」では、海外協定校などで専門分野に関わる事柄を学ぶことができます。
- (4) 世界で広く活躍できる人材に必要な外国語の修得にも力を入れ、多言語4年間一貫教育を実施し、一部の科目において英語による授業も行っています。
- (5) アクティブラーニング科目として、ビジネスの現場で企業が直面する課題に向き合い、少人数のチームで問題解決策を立案する「ビジネス・インサイト」を開講するとともに、演習科目等を配置しています。

商学部生の皆さんへ

商学部長
高浜 光信

このシラバスは、皆さんが履修科目を計画的に選択し、充実した大学生活を送るための指針となるものです。シラバスに記載された各科目の詳細を参照し、皆さんの学習目標の設定にぜひ積極的に活用してください。

明治大学は、「権利自由」「独立自治」という建学の精神を礎に、時代の変化に対応しながら多様な学問領域を探究し、社会に貢献する人材を育成してきました。大学生活は、自主的に学び、成長する貴重な時間であると同時に、多様な価値観や背景を持つ人々と出会い、他者への理解を深める機会でもあります。本学部では、建学の精神に則り、人権を尊重し、多様性を受け入れる姿勢を大切にしています。他者の立場や背景を尊重し、相互理解を深めることが、これからの社会を生き抜く力となります。大学で得た知識や経験を通じて、自らの価値観を問い直し、社会全体の持続可能な発展に貢献する人材へと成長してください。そのためにも、すべての学生が安心して学べる環境を堅持することが不可欠です。特に、下記の2点について注意してください。

1. 本学では、いかなる形のハラスメントも許されないという姿勢を徹底しています。ハラスメントとは、性別や年齢、国籍、宗教、障がいの有無、性的指向などに基づく不当な差別や嫌がらせを指します。そのような行為は、相手の尊厳を傷つけるだけでなく、学びの場全体を損なう重大な問題です。一人ひとりが自らの言動に責任を持ち、他者への配慮と思いやりを持った行動を心がけてください。万が一、困ったことがあれば、学内の相談窓口お気軽にご相談ください。

2. また、薬物乱用や不適切な SNS 利用の問題は、社会全体で大きな課題となっています。薬物は一時的な誘惑や好奇心で手を出すことで、心身の健康を害するだけでなく、家族や友人との信頼を失い、未来の可能性を閉ざしてしまう非常に危険なものです。絶対に手を出さず、周囲にその兆候がある場合は速やかに信頼できる人や専門窓口にご相談してください。SNS やインターネットの利用についても、慎重さが求められます。発信した内容が予期せぬ形で拡散し、他者を傷つけたり、自分自身の評判を損なったりする危険性があります。何気ない一言や画像が、重大なトラブルにつながることもあります。情報発信の際には、相手の立場や感情を考慮し、責任を持った行動を心がけてください。同時に、不適切な書き込みや誹謗中傷を見かけた場合には、それに加担せず、正しい対応を取るようにしてください。

大学生活は、自由と責任のバランスを学ぶ場でもあります。専門的な知識を深めるとともに、他者との協調や社会への責任を意識しながら行動することが、より良い未来を築く鍵となります。このシラバスを活用して慎重に学習計画を立て、学問やさまざまな経験を通じて大きく成長してください。皆さんが安心して学び、多くの挑戦を経て、それぞれの夢や目標を実現されることを心より応援しています。

明治大学2026年度学年暦

春 学 期		4 月 1 日 (水) ~ 9 月 1 9 日 (土)
入 学 式		4 月 7 日 (火)
学 習 指 導		4 月 1 日 (水) ~ 4 月 9 日 (木)
授 業 期 間		4 月 1 0 日 (金) ~ 7 月 2 2 日 (水)
	前半集中開講科目 (S1) ※	4 月 1 0 日 (金) ~ 6 月 3 日 (水)
	後半集中開講科目 (S2) ※	6 月 4 日 (木) ~ 7 月 2 2 日 (水)
臨時休業(休講)日		5 月 1 日 (金) ・ 5 月 2 日 (土)
休日授業実施日①		4 月 2 9 日 (水) [昭 和 の 日]
休日授業実施日②		7 月 2 0 日 (月) [海 の 日]
補 講 日	※土曜日の通常時限を利用	5 月 2 3 日 (土) ・ 5 月 3 0 日 (土)
		7 月 1 1 日 (土) ・ 7 月 1 8 日 (土)
定 期 試 験	※予備日を含む	7 月 2 3 日 (木) ~ 7 月 3 1 日 (金)
夏 季 休 業		8 月 1 日 (土) ~ 9 月 1 9 日 (土)
秋 季 卒 業 式		9 月 1 9 日 (土)
秋 学 期		9 月 2 0 日 (日) ~ 3 月 3 1 日 (水)
秋 季 入 学 式		9 月 1 9 日 (土)
学 習 指 導		9 月 1 8 日 (金)
授 業 期 間		9 月 2 0 日 (日) ~ 1 月 2 3 日 (土)
	前半集中開講科目 (F1) ※	9 月 2 0 日 (日) ~ 1 1 月 1 4 日 (土)
	後半集中開講科目 (F2) ※	1 1 月 1 5 日 (日) ~ 1 月 2 3 日 (土)
休日授業実施日①		9 月 2 1 日 (月) [敬 老 の 日]
休日授業実施日②		9 月 2 2 日 (火) [国 民 の 休 日]
休日授業実施日③		1 0 月 1 2 日 (月) [ス ポ ー ツ の 日]
休日授業実施日④		1 1 月 2 3 日 (月) [勤 労 感 謝 の 日]
補 講 日	※土曜日の通常時限を利用	1 0 月 1 7 日 (土) ・ 1 0 月 2 4 日 (土)
	※全日補講のみ実施	1 2 月 2 2 日 (火) ・ 1 月 2 2 日 (金)
大 学 祭 週 間	※当該期間中は全日休講	1 0 月 2 9 日 (木) ~ 1 1 月 3 日 (火)
明 大 祭		1 0 月 3 0 日 (金) ~ 1 1 月 1 日 (日)
生 明 祭		1 0 月 3 0 日 (金) ~ 1 1 月 1 日 (日)
創 立 記 念 祝 日		1 1 月 1 日 (日)
臨時休業(休講)日		1 2 月 2 3 日 (水) ・ 1 2 月 2 4 日 (木)
		1 月 1 6 日 (土)
冬 季 休 業		1 2 月 2 5 日 (金) ~ 1 月 7 日 (木)
創 立 記 念 日		1 月 1 7 日 (日)
定 期 試 験	※予備日を含む	1 月 2 5 日 (月) ~ 2 月 3 日 (水)
春 季 休 業		2 月 4 日 (木) ~ 3 月 3 1 日 (水)
卒 業 式		3 月 2 6 日 (金)

※各学期の前半集中・後半集中開講科目の利用は、一部の授業で7週完結授業を導入する学部に限る。

※大学祭週間中の授業休講措置は全キャンパスに適用する。ただし、大学院、専門職大学院において大学祭週間に授業を実施する場合がある。

2026 年度時間割

1. 授業時間割(全キャンパス共通)

時限	時間帯	モジュール	時間帯	備考
Mm(モーニングモジュール)			8:00 ～ 8:50	原則として、学期を通しての授業は実施しない
1時限	9:00～10:40	a	9:00 ～ 9:50	
		b	9:50 ～10:40	
2時限	10:50～12:30	a	10:50 ～11:40	
		b	11:40～12:30	
Lm(ランチモジュール)			12:35～13:25	原則として、前後各5分と合わせて1時間の昼休みとする
3時限	13:30～15:10	a	13:30～14:20	
		b	14:20～15:10	
4時限	15:20～17:00	a	15:20～16:10	
		b	16:10～17:00	
5時限	17:10～18:50	a	17:10～18:00	
		b	18:00～18:50	
6時限	19:00～20:40	a	19:00～19:50	
		b	19:50～20:40	
Nm(ナイトモジュール)			20:50～21:40	原則として、学部では、学期を通しての授業は実施しない

2. 定期試験時間割(全キャンパス共通)

時限	時間帯	備考
1時限	9:30~10:30	
2時限	11:00~12:00	
3時限	13:30~14:30	
4時限	15:00~16:00	
5時限	16:30~17:30	
6時限	18:00~19:00	
7時限	19:30~20:30	一部の学部でのみ使用

I. Oh-o!Meiji について

Oh-o!Meiji について

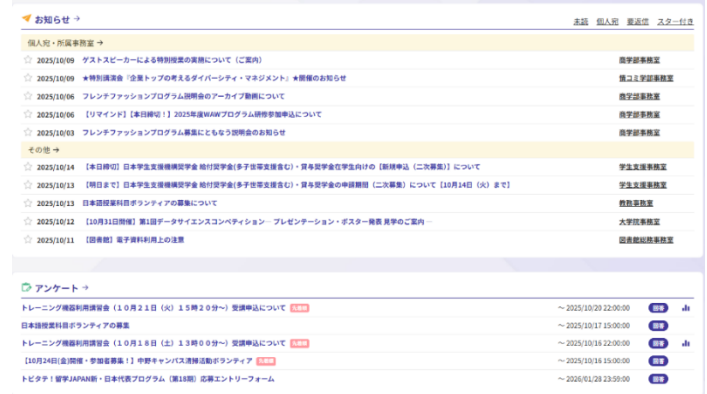
Oh-o! Meiji システムのトップページ(<https://www.oh-o.meiji.ac.jp/>)へアクセスします。「ログイン」をクリックすると、明治大学の共通認証システムの画面が表示されます。ここで「学生番号」@meiji.ac.jp」と「パスワード」を入力してください。「学生番号」は学生証にある10桁の番号です。「パスワード」は、証明書発行機の利用と同じもので、新入生は入学手続き時に初期パスワードとして登録したものです。

※ パスワードが分からない場合は、各学部窓口で変更手続きをしてください。



★ ポータル ★

お知らせ、アンケートなど、大学生活に関わる様々な情報にアクセス



★ クラスウェブ ★

時間割表から、履修している科目の授業ページにアクセス
授業ページにはシラバス、授業内容、資料、レポート、小
テスト・ディスカッション・アンケート等の機能があります



★ 授業検索 ★

曜日・時限、フリーワード検索などにより講義を検索する



★ グループ ★

ガイダンス動画など該当グループ別にご案内している



お知らせ転送設定

- (1) Oh-o! Meiji(PC版)へログイン後、画面右上の【個人設定】をクリック。
- (2) 「お知らせ転送設定」にて転送先メールアドレスを入力し、お知らせ種類別にメール転送設定を確認したうえ、ページ下部の【確認画面に進む】をクリックし、確認画面で【登録する】をクリックする。

転送先メールアドレスは2つまで登録可

お知らせ種類別に転送内容を設定できます。

上記内容でよろしければ「確認画面に進む」ボタンをクリックして次に進んでください。

保存せずにホームに戻る 確認画面に進む

- (3) 転送設定したメールアドレスで「登録メールアドレスの確認」メールが受信できることを確認する。

仮参加機能について

注意 仮参加登録は正規の履修登録ではない！

- (1) 履修登録期間前は、Oh-o! Meiji の仮参加機能を使うことで、授業に仮参加できる。仮参加登録の手順は、以下のとおりである。

- ① 授業検索で履修を検討している科目を検索する。

授業検索

検索

- ② 検索結果一覧に表示される、講義名をクリックする。

検索結果一覧

1件が該当しました。

所属	講義名	教員名
商	国際交通論A	町田 一兵

- ③ 「仮参加する」ボタンをクリックする。

仮参加する <仮参加する>ボタンを押します

担当教員	開講日	科目ナンバ	成績評価の方法
現代社会を読み解くにあたって、企業・病院・大学などの多くの組織やそれに関わる人間について総合的に理解することは非常に重要なことである。本講義では、組織を人々の間で行われるコミュニケーションの経路としてとらえ、現代社会における組織の諸問題について学ぶ。また、社会学の立場から組織を考えるが、経営学や心理学の知見も取り入れて講義を進めていく。また、現代の組織にまつわるトピックについても解説してゆく。本講義によって、「組織をいかにマネジメントするか」という観点ではなく、そもそも「組織とは何か」という根源的な理解を得ることを目標とする。	秋学期/水曜日/3期		定期試験70%、講義中に行うディスカッションペーパー30%

- (2) 履修登録期間前の授業に関するお知らせ等を確認するには、仮参加の設定が必要である。
- (3) 仮参加は上限単位数を超えて登録することができる。履修登録を検討している科目へ仮参加し履修計画を立てること。
- (4) 仮参加機能は、履修登録期間後に自動で解除される。
- (5) 仮参加と履修登録は異なる。必ず履修登録を行うこと。

Ⅱ. WEB 履修登録要領

— WEB履修登録要領 —

1. 春学期履修登録について

履修登録に関する日程は以下のとおり。本シラバスと併せて、ガイダンス動画も必ず視聴すること。

① 事前登録科目の確認 4月3日(金) ～

1、2年生の一部科目、外国専門書講読(3年生のみ)は事前に登録されている。登録状況は4月3日(金)以降にクラスウェブで確認すること。

② 抽選科目申込期間 4月7日(火)10時 ～ 4月8日(水)11時

以下抽選科目は、抽選科目申込期間でのみ教務システムにて抽選登録が可能である。

【駿河台開講科目】 ※全科目配当年次が3・4年生となるので1・2年生は履修できない。

- 「マーケティング企画 A・B」
- 「経済予測入門 A・B(2020 年度以前入学者は、「経済予測入門」)」
- 「計量経済学 A・B」
- 「メディアとリテラシー」

【和泉開講科目】

一部再履修科目も本期間でのみ登録が可能のため、駿河台所属学生も含め履修希望者は必ず期間中に抽選登録すること。

- 「基礎演習」、「文章表現」の再履修
- 1年次配当の必修初修外国語の再履修(ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語、スペイン語)
- その他以下総合教育科目・基本科目・その他科目の和泉開講科目

【総合教育科目】

科目名	担当教員名
日本文化史A・B(木曜3時限のみ)	清水 克行
日本近代文学A・B	永井 善久
日本語表現論A・B	片山 久留美
社会学A・B	木村 至聖
社会思想史A・B	清水 明美

科目名	担当教員名
哲学A・B	清水 真木
自然科学概論A	森永 由紀
自然科学概論B	亀山 浩文
化学A・B	久富木 志郎
心理学A・B[M]	佐々木 美加

【基本科目】

科目名	担当教員名
ミクロ経済学	阿武 秀和
マクロ経済学	賈 執孝
理論経済学A・B	吉岡 努
商業総論A・B	庄司 真人
経営学総論A・B[M]	會澤 綾子

科目名	担当教員名
ビジネス・インサイト	山崎 京子
	松尾 隆策
	高野 公三子
	齋藤 美和子

【その他】

科目名	担当教員名
憲法A・B	江藤 英樹

抽選結果は4月9日(木)9時に教務システム「抽選結果照会」で確認すること。

なお、全学共通総合講座、学部間共通外国語、情報関係科目、資格課程関係科目等の一部科目も抽選によって履修者を決定する。大学ホームページ等を参考に各科目の詳細を確認すること。

③ 授業開始 4月10日(金) ～

一部科目は初回授業に出席しなければ、履修登録が認められない。対象科目は本冊子(シラバス1)、大学ホームページ、Oh-o! Meiji等で各自確認すること。なお、履修登録が完了していない科目のクラスウェブを閲覧するには、仮参加登録が必要である。

④ 履修登録期間 4月16日(木)10時 ～ 4月17日(金)13時(厳守)

- ア 履修登録は教務システムにて WEB 登録となる。期日を守って登録すること。不測の事態(急にインターネットに接続できなくなった、パスワードを忘れてしまった等)に備える意味でも、登録は余裕を持って早めに行うこと。なお、スマートフォンでは不具合が生じる恐れがあるため、必ずパソコンで登録すること。
- イ 履修登録は原則として4月の年1回のみである。履修する授業科目は、春学期と秋学期の両学期分の履修科目を登録すること。履修制限単位数を超過しないこと。
- ウ メディア授業科目や履修者数の多い授業科目等は、履修修正期間及び秋学期履修修正期間での追加は認められない。履修計画を熟考し、登録を希望する科目は当該期間内に登録すること。
- エ 他学部授業科目の履修を希望する場合も、本期間で登録を行うこと。本期間で教務システム履修登録上に表示された他学部科目が履修追加可能な科目となる。
- エ 履修登録をしていない場合、たとえ授業に出席し、定期試験を受験しても単位は認めない。また、科目名・担当者が同じでも、曜日・時限が履修登録と異なる場合は無効になる。
- オ 卒業要件に余裕をもって履修登録を行うこと。
- カ 休学や留学等を理由に春学期通常在籍していない場合も、秋学期履修予定の場合は必ず登録を行うこと(一部科目は秋学期修正期間の登録が認められない)。また、秋学期に休学・留学予定の学生についても、不測の事態に備え、必ず秋学期分の履修登録を行うこと。休学・留学手続き完了後、該当学期の履修登録科目は事務室で削除する。
- キ 学部共通科目(情報関係科目・全学共通総合講座・資格課程科目・グローバル人材育成プログラム科目)の履修登録期間の詳細は HP やシラバス等で確認すること。
【HP】<https://www.meiji.ac.jp/koho/syllabus/>

⑤ My 時間割の確認 4月18日(土)9時 ～

- ア 履修登録されている科目に過不足がないか、抽選で当選した科目が My 時間割に表示されているか確認すること。
- イ 履修登録の結果、修正が必要な学生に対し、商学部事務室から Oh-o! Meiji や電話(和泉商学部事務室 03-5300-1142/駿河台商学部事務室 03-3296-4160)等で連絡することがある。商学部事務室から着信があった際は必ず折り返すこと。

⑥ 履修修正期間 4月21日(火)10時 ～ 4月23日(木)13時

- ア 履修の追加登録や、誤登録した科目削除等の修正を行う場合は、必ず当該期間内に行うこと。自己都合による事後の修正は一切認められない。
- イ 一部授業科目(「メディア授業科目」及び履修登録者が多かった授業科目等)の追加は認められない。また、事務室による事前登録科目(必修科目等)や、抽選や選考等により履修が認められた科目の履修削除も認められない。詳細は商学部事務室から Oh-o! Meiji 等で連絡する。

⑦ My 時間割の再確認・(履修修正対象者のみ)履修エラー連絡 4月24日(金)～

- ア 履修修正の結果が反映されているか、必ず確認すること。
- イ 履修登録の結果、修正が必要な学生に対し、商学部事務室から Oh-o! Meiji や電話(和泉商学部事務室 03-5300-1142/駿河台商学部事務室 03-3296-4160)等で連絡する。4月24日(金)～4月27日(月)の期間で必ず修正手続きをとること。なお、商学部事務室から着信があった際は必ず折り返すこと。

2. 秋学期履修制度について

春学期の成績評価開示後、秋学期科目の学習計画を変更したい者に限り、所定の手続期間内において、秋学期の履修登録科目を変更（履修制限単位数の中での新規追加を含む）することができる。

一部科目は春学期履修登録期間にのみ登録が可能のため、原則春学期に秋学期科目も含め履修登録を行うこと。

- (1) 秋学期に新規追加する科目の仮参加登録について
履修登録が完了していない科目のクラスウェブを閲覧するには、仮参加登録が必要である。
秋学期の仮参加期間については、8月上旬に Oh-o! Meiji より通知する。
- (2) 履修修正期間
9月下旬
詳細は、8月上旬に Oh-o! Meiji より通知する。
- (3) 履修修正方法
履修修正は、教務システムを利用して行うこと。
- (4) 履修科目の追加及び削除について
 - ① 和泉開講科目
 - ア 以下の科目の履修追加・削除はできない。
 - ・必修科目（再履修科目含む）
 - ・和泉開講のクラス指定科目（ただし、簿記学 A・B を除く）
 - ・商学専門演習、総合学際演習
 - ・抽選等により履修が認められた科目
 - ・事前登録科目
 - イ 以下の科目は履修追加・削除可能である
 - ・和泉開講科目において、春学期の履修状況により履修追加可能科目に該当する科目
 - ウ 以下の科目は削除のみ可能である
 - ・メディア授業科目（抽選科目等により履修を認められた科目は追加・削除不可）
 - ② 駿河台開講科目
 - ア 以下の科目の履修追加・削除はできない。
 - ・必修科目（再履修科目含む）
 - ・商学専門演習、総合学際演習
 - ・抽選等により履修が認められた科目
 - ・事前登録科目
 - イ 以下の科目は履修追加・削除可能である
 - ・駿河台開講科目において、春学期の履修状況により履修追加不可科目に該当しない科目
 - ・他学部履修科目において、履修登録時に履修登録画面に表示された科目
 - ウ 以下の科目は削除のみ可能である
 - ・駿河台開講科目において、春学期の履修状況により履修追加不可科目に該当する科目
 - ・メディア授業科目（抽選科目等により履修を認められた科目は追加・削除不可）
 - ③ その他
 - ・他学部履修科目において、履修登録時に履修登録画面に表示された科目は追加可能で、履修登録画面で鍵マークがついていない科目は削除可能である
 - ・特別テーマ実践科目を履修希望する場合は、各科目のシラバスを確認した上で、秋学期の初回授業へ必ず出席すること。初回授業で履修者を選考、決定し商学部事務室で履修登録を行う。履修決定後の履修削除は認めない。
 - ・以下の科目は担当の各事務室よりお知らせ予定。

- ・全学共通総合講座・学部間共通外国語科目（振替を除く）→ 教務事務室
 - ・情報関係科目 → 和泉メディア支援事務室
 - ・資格課程関係科目 → 資格課程事務室
- (5) 秋学期履修修正時の注意事項
 - ・秋学期履修修正期間は2回ある。1回目で履修削除した科目が秋学期時に履修追加不可科目の該当科目となっている場合、2回目の履修修正期間で履修追加ができなくなるため、慎重に検討すること。
 - ・「入力を間違えた」「期間を間違えた」「PC が壊れた」など如何なる理由があっても、期間外での修正はできないため注意すること。
- (6) 履修登録確認について
修正完了後、「My 時間割」で修正した科目に間違いがないか必ず確認すること。

3. 教務システム操作方法

1. WEB履修登録受付開始までに必要事項を確認すること。

(1) Meiji ID と多要素認証を確認する

教務システムを利用するには、Meiji ID でのログインが必要である。WEB履修登録受付開始までに、Oh-o! Meiji システムにログインする等して、自分のパスワードが正しいか各自で事前に確認すること。

【重要】共通認証 ID の変更と多要素認証の必須化について

共通認証 ID が「学生番号」ではなく「学生番号@meiji.ac.jp」となる。

学外でログインする際の多要素認証も必須となるため以下ページを確認すること。

https://www.meiji.ac.jp/isc/id/mfa_announce.html

(2) 履修計画を立てる

教務システムは、60 分間操作しないしていると自動的に切断される。あらかじめ、履修する科目を決めた上で登録すること。

(3) インターネットが利用可能なパソコンを確認する

インターネットが利用できるパソコンであれば、どこからでもWEB上で履修登録をすることができる。周りに利用可能なパソコンがない場合は、大学で利用できるパソコンから履修登録を行うこと。学外の施設を利用する場合は、パスワードをブラウザに残さないように注意すること。

また、教務システムの動作環境は以下のとおりである。利用するパソコンの動作環境が不明な場合は、大学設置のパソコンを利用すること。ただし、パソコンが設置されている場所は大変混み合うことが予想される。期限に間に合うよう余裕をもって早めに登録すること。なお、スマートフォンでは不具合が生じる恐れがあるため、必ずパソコンで登録すること。

[動作環境]

端末	環境	
PC	OS	・ Windows10、Windows11
		・ macOS
	Web ブラウザ	・ Microsoft Edge
		・ Google Chrome
		・ Safari

電話及びメールでは、操作方法に関する問合せには一切応じられない。この要領を熟読の上、登録を行うこと。

2. 教務システム「履修登録」から履修登録

重要（登録前に必ず読むこと）

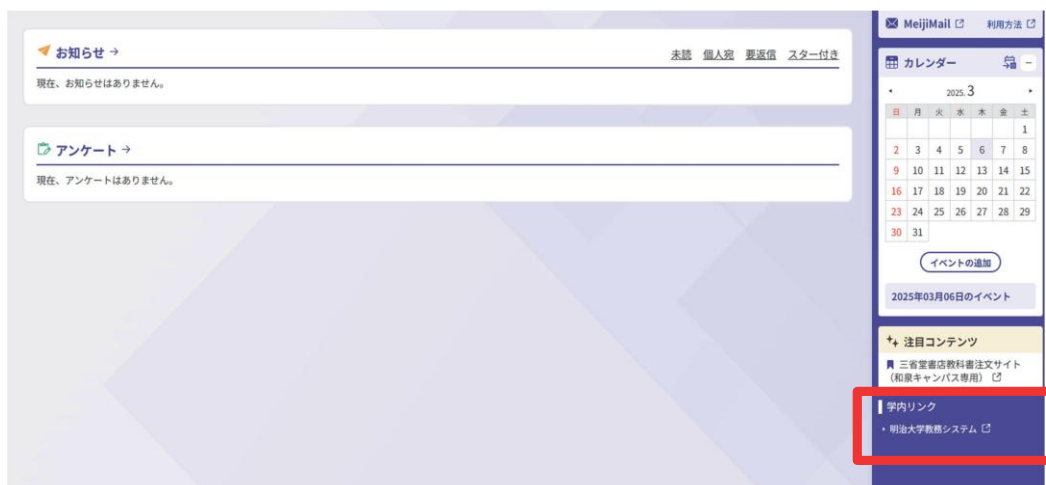
以下の手順に従い、登録時間に余裕を持って履修登録すること。

※教務システムを複数画面開いた場合、正常な動作が担保されない。

登録方法は以下のとおり。

(1) 「教務システム」へのアクセスは、Oh-o! Meiji のトップページ右下のリンクから行う。

＜Oh-o! Meiji <https://www.oh-o.meiji.ac.jp/>>



(2) 「教務システム」へのログイン

言語を選択してログインを押す。認証方法を選択してログインする。「履修登録」を選択。

The image shows the Meiji University Single Sign-On login interface. On the left, there's a language selection dropdown set to 'Japanese' and a 'ログイン' (Login) button. In the center, a box titled 'Meiji ID認証 Meiji ID authentication' provides instructions for students and teachers, including email formats like 'student number@meiji.ac.jp'. On the right, a sidebar menu includes '学生カルテ', '履修成績', 'My時間割', '履修登録' (highlighted with a red box), '成績照会', and '抽選結果照会'.

(3) 登録手順

① 登録画面

既に履修登録が済んでいる科目はあらかじめ表示される。鍵マークのついている科目の履修変更はできない。

The image displays the course registration interface with several annotations. At the top, tabs for '春(2024年度)' and '秋(2024年度)' are shown, with a note: '春学期と秋学期はタブで表示を切り替える'. Below the tabs, a grid of course offerings is displayed. A note points to the grid: '通常講義と集中講義は表示スペースが分かれる'. To the right, a note points to a green lock icon: '履修変更できる'. Another note points to a grey lock icon: '履修変更できない'. At the bottom, a table lists selected courses with columns for '選択' (Selection), '期間' (Period), '講義コード' (Lecture Code), '講義名' (Lecture Name), '担当教員' (Instructor), and '科目ナンバリング' (Subject Numbering). A note points to the '選択' column: '集中講義、フルオンデマンド型メディア授業は選択にチェックを入れると削除できる'. A '削除' (Delete) button is located at the bottom right.

選択	期間	講義コード	講義名	担当教員	科目ナンバリング
☒	秋	12B34203	理学B (M)	佐々木 美加	COPSY196J
☒	秋	12K33401	コーポレート・ファイナンスB (M)	朝岡 大輔	COECN376J
☐	秋	12K34001	金融取引論B (M)	萩原 航宏	COECN366J

② 履修科目の登録・検索

科目の検索、登録は3つのボタンから行う。

履修したい講義のある曜日・時限を選択してください。

春(2024年度) 春(2024年度) 秋(2024年度)

他学部科目の登録は講義検索から行う

通常講義

	月	火	水	木	金	土
1						
2						
3						
4						
5						
6						

1 から検索・登録できる科目

当該曜日時限に開講されている
商学部科目/他学部科目/資格課程科目
/学部間共通外国語/グローバル人材育成プログラム科目/情報関係科目

2 講義検索

講義検索から検索・登録できる科目

当該履修登録期間に登録できる
商学部科目/他学部科目/資格課程科目/学部間共通外国語/グローバル人材育成プログラム科目/情報関係科目

3 集中講義選択

集中講義選択から検索・登録できる科目

集中科目・フルオンデマンド型メディア授業科目

講義検索

講義の検索条件を入力してください。

検索条件

講義の種類 ☐ 通常講義 ☐ 集中講義

曜日 ☐ 月曜日 ☐ 火曜日 ☐ 水曜日 ☐ 木曜日 ☒ 金曜日

時限 ☒ 1時限 ☐ 2時限 ☐ 3時限 ☐ 4時限 ☐ 5時限 ☐ 6時限 ☐ 7時限 ☐ その他

講義名 カナ・英字/略称

講義コード

分野系列

担当教員

講義検索で曜日時限で検索ができる

③ 講義の選択

履修したい科目を表示させて✓をつけた後に＜講義選択＞を押す。選択を解除したい場合は✓をはずした後に＜講義選択＞を押す。

講義を選択してください。

曜日	時限	講義コード	講義名	分野系列	科目ナンバリング	単位	開講期間	担当教員	キャンパス	定員	情報
☒	金曜日	1	12K15001	日本経済論 B	COECN381J	2	2024年度秋	千田 亮吉	駿河台	0	
☐	金曜日	1	12K35101	社会保障論 B	COCMM381J	2	2024年度秋	群上 秀人	駿河台	0	
☐	金曜日	1	12K47301	貿易政策論 B	COCMM351J	2	2024年度秋	小林 尚朗	駿河台	0	
☐	金曜日	1	12K53202	経営戦略論 B		2	2024年度秋	近藤 光	駿河台	0	
☐	金曜日	1	12K54501	経営哲学	COMAN391J	2	2024年度秋	出見世 徹之	駿河台	0	

講義選択

キャンセル

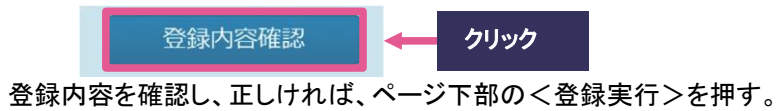
選択	期間	講義コード	講義名	担当教員	科目ナンバリング
☒	秋	12B34203	心理学 B (M)	佐々木 美加	COPSY196J
☒	秋	12K33401	コーポレートファイナンス B (M)	朝岡 大輔	COECN376J
☐	秋	12K34001	金融取引論 B (M)	萩原 統宏	COECN366J

削除

集中講義、フルオンデマンド型メディア授業は選択にチェックを入れると削除できる

④ 講義の確認

全ての科目を登録した後、ページ下部の＜登録内容を確認＞を押す。



④ 登録内容確認 ⑤ 登録完了

登録内容入力 登録内容確認 登録完了

履修内容を確認してください。

開講期を切り替えて、全ての科目が登録されていることを確認する

春(2024年度) 秋(2024年度)

通常講義

	月	火	水	木	金	土
1	12K26401 公益事業論B 大塚 尚志 COCMM391J			12K54201 消費社会論B 久保 隆光 COMAN331J		
2	12K55901 社会専門基礎 村山 賢典 COCMM391J					
3	12K85601 グロバライゼーション論B 永野 誠 COCMM311J			12K91451 数字専門基礎 (3年) 部田 隆 COCMM392J		
4	12K27601 消費社会論A 佐藤 平造 COCMM321J			12K47501 ビジネス英語B 山本 健一郎 COCMM391J		
5				12K96101 ファンタジービジネス論B 東野 嘉代子 COMAN391J		
6						
7						

集中講義

期間	講義コード	講義名	担当教員	科目ナンバリング
秋	12B34203	心理学B (M)	佐々木 美加	COPSY196J
秋	12K33401	コーポレートファイナンスB (M)	梶岡 大輔	COECN376J
秋	12K34001	金融取引論B (M)	萩原 純宏	COECN366J

履修単位数

年間			春			秋		
履修単位	上限	下限	履修単位	上限	下限	履修単位	上限	下限
44	44	-	22	22	-	22	22	-

その他単位数

他所属単位数

履修単位	修得単位	上限
-	-	-

メディア授業単位数

メディア		
履修単位	修得単位	上限
6	6	60

戻る

クリック

登録実行

⑤ 登録完了と登録内容の確認

ページ中央の＜登録内容を確認する＞を押す。

履修登録

④ 登録内容入力 ⑤ 登録内容確認 ⑥ 登録完了

登録内容入力 登録内容確認 登録完了

履修内容を登録しました。

登録内容を確認する

クリック

⑥ 登録内容を確認し、正しければ、「印刷」ボタンを押し、登録確認画面を印刷する。

履修登録

春(2024年度)

秋(2024年度)

クリックして登録内容確認画面を印刷

印刷

	月	火	水	木	金	土
1	12K26401 公益事業論 B 大塚 良治 COCMM391J			12K54201 労働関係論 B 久保 隆光 COMAN331J		
2	12K85901 外国専門書講読 村山 隆哉 COCMM391J					
3	12K85601 クリエイティブ・マーケティング論 B 水野 誠 COCMM311J			12K91451 商学専門演習 (3年) 恩田 睦 COCMM392J		
4	12K27601 消費者行動論 A 佐藤 平国 COCMM321J			12K47501 ビジネス英語 B 山本 雄一郎 COCMM391J		
5				12K86101 ファッション・ビジネス論 B 東野 香代子 COMAN391J		
6						
7						

戻る

印刷

期間	講義コード	講義名	担当教員	科目ナンバリング
秋	12B34203	心理学 B (M)	佐々木 美加	COPSY196J
秋	12K33401	コーポレート・ファイナンス B (M)	朝岡 大輔	COECN376J
秋	12K34001	金融取引論 B (M)	萩原 統宏	COECN366J

履修単位数

年間			春			秋		
履修単位	上限	下限	履修単位	上限	下限	履修単位	上限	下限
44	44	-	22	22	-	22	22	-

その他単位数

他所属単位数

-		
履修単位	修得単位	上限
-	-	-

メディア授業単位数

メディア		
履修単位	修得単位	上限
0	12	60

重要 WEB 履修登録確認チェック項目

- ☐ 秋学期の科目も忘れずに登録しましたか？
- ☐ 進級要件や卒業要件等と登録内容を照らし合わせ、登録漏れがないことを確認しましたか？
- ☐ 登録完了後、自分が登録したすべての科目が登録されている状態ですか？
- ☐ 登録した画面を印刷し、保管できるようにしましたか？

- (4) 抽選結果・時間割の公開
指定された公開日にそれぞれのメニューから確認することができる。

学生カルテ

- 履修成績
 - My時間割
 - 履修登録
 - 成績照会
 - 抽選結果照会

通年授業 (2024 年度)

月	火	水	木	金	土
1		26G04201 心理学A (H5) 211			26G05609 全学共通総合講座 (環境と政治Ⅱ) 211
2	26G04201 心理学A (H5) 211	26G05609 全学共通総合講座 (環境と政治Ⅱ) 211	26G04201 心理学A (H5) 211	26G05609 全学共通総合講座 (環境と政治Ⅱ) 211	
3		26G04201 心理学A (H5) 211			
4				26G04201 心理学A (H5) 211	
5	26G04201 心理学A (H5) 211	26G05609 全学共通総合講座 (環境と政治Ⅱ) 211			
6					
7					

集中講座

期別	講義コード	講義名	担当教員	教室
前期集中	26G04201	心理学A		509

抽選結果照会

抽選授業の当落結果一覧です。(2024 年度)

開講期別	曜日時間	講義コード	講義名	担当教員	科目ナンバリング	当落状態
2024年度 春	火 4	26G04201	心理学A			当選 または 落選 が表示される
2024年度 秋	木 5	26G05609	全学共通総合講座 (環境と政治Ⅱ)			当選 落選

3. 教務システム「My 時間割」の確認

- (1) 履修登録されている科目に過不足がないか、抽選で当選した科目が My 時間割に表示されているか確認すること。
- (2) 履修登録の結果、修正が必要な学生に対し、商学部事務室から Oh-o! Meiji や電話(和泉商学部事務室 03-5300-1142/駿河台商学部事務室 03-3296-4160)等で連絡することがある。商学部事務室から着信があった際は必ず折り返すこと。

4. WEB履修に関するFAQ

Q1: 教務システムにログインできません。

A1: ログインには、Meiji ID (“学生番号”@meiji.ac.jp)が必要です。

Meiji IDを入力する際は、学生番号は半角で入力していますか？入力仕様をよく確認してください。どうしてもログインできない場合は、サポートデスク(wsd@meiji.ac.jp)へお問い合わせください。

Q2: 多要素認証がうまくいかず、ログインできません。

A2: 多要素認証についてのお問い合わせは商学部事務室では受け付けておりません。

サポートデスク(wsd@meiji.ac.jp)へお問い合わせください。

Q3: 時間割表に載っている科目を登録しようとしたのですが、画面上に表示されません。

A3: 所属学部、学年、カリキュラムによって履修できない科目は表示されません。その科目が本当に履修できる科目なのかもう一度確認してください。履修できるはずの科目が表示されない場合は、商学部事務室までお問い合わせください。

Q4: 登録したはずの科目が登録されていません。

A4: 科目を選択後、「登録実行」ボタンをクリックしましたか？「登録実行」ボタンをクリックしないと科目は登録されません。もう一度登録しなおしてください。また、複数画面で操作している場合、正常な動作が担保されません。履修登録画面で登録していても登録完了後に確認できる登録内容確認画面に表示されていない場合、正常に登録できていない可能性があります。「登録完了画面」に表示される「登録内容を確認する」をクリックして登録した科目が登録できているか必ず確認してください。

Q5: 削除したはずの科目が消えていません。

A5: ① 通常講義の場合

「講義選択画面」で削除したい科目のチェックボックスからチェックを外した後、「講義選択」ボタン→「登録内容確認」ボタン→「登録実行」ボタンをクリックしましたか？「登録実行」ボタンまでクリックしないと科目は削除されません。もう一度削除しなおしてください。

② 集中講義の場合

削除したい科目のチェックボックスにチェックを入れた後、「削除」ボタン→「登録内容確認」ボタン→「登録実行」ボタンをクリックしましたか？「登録実行」ボタンまでクリックしないと科目は削除されません。もう一度削除しなおしてください。

Q6: 履修登録時のエラーメッセージについて、具体的には何が原因で表示されるのですか？

A6: 表示されるエラーメッセージと原因は以下のとおりです。

エラーメッセージ	原因
この講義の科目は重複して履修可能な科目数を上回っているため、これ以上履修できません。	前年度までに当該科目を履修しているため。または、今年度に当該科目を既に履修しているため。
時間割重複エラーが発生しています。	同じ曜日時限に2科目以上登録しているため。
キャンパス間移動エラーが発生しています。	他地区へ移動する時間が確保されていないため。
単位制限エラーが発生しています。	当該学期に履修できる単位数の上限を超過しているため。

Q7:大学内のパソコンを利用するにはどうすればよいですか？

A7:各地区で手続きが異なります。パソコンを利用するキャンパスのメディア支援事務室で確認してください。

※学内で利用可能なパソコンについて

以下の場所にて大学設置のパソコンを利用することができます。ただし、履修登録期間は大変混み合うことが予想されますので、登録は早めに行うよう心掛けてください。

なお、以下の事務室では、履修内容に関する質問は一切受け付けられません。

キャンパス・窓口	場 所
《駿河台キャンパス》 12号館7F メディア支援事務室	■リパティタワー 中央図書館1階 ■12号館 メディア自習室(8階) ・その他時間により開放されている施設もあります。 ※就職キャリア支援センターのパソコンはWEB履修登録には利用できません。
《和泉キャンパス》 メディア棟1F 和泉メディア支援事務室	■和泉メディア棟 メディア自習室(2階) ・その他時間により開放されている施設もあります。
《生田キャンパス》 中央校舎5F 生田メディア支援事務室	■中央校舎 情報処理教室(5階) ・利用できる教室は指定されています。 ※生田キャンパス内のオープンスペースのパソコンも利用することができます。
《中野キャンパス》 低層棟3F 中野教育研究支援事務室	■高層棟 メディア自習室(2階) ・その他時間により開放されている施設もあります。

【注意】利用可能な日時、教室及び端末等利用に関する詳細は、各キャンパスのメディア支援事務室で確認してください。

Ⅲ. 履修の注意点

—1年生—

1. 【全員必須】商学部新入生アンケートへの回答について 4月23日(木)13:00 まで

Oh-o! Meiji のトップ画面に表示されるアンケートのリンク(右図参照)に従い、商学部アンケートに回答すること。アンケートの回答は、スマートフォンではなく、パソコンで行うこと。



2. 履修上限について

- (1) 1年次での履修制限単位は、必修科目も含めて春学期 19 単位・秋学期 19 単位である。
- (2) 履修制限単位数に含まれない科目については、履修上限を超えて履修することができる。
- (3) 単位数は語学科目および保健体育科目は1単位、それ以外は2単位となる。

表: 履修制限単位に含まれる科目詳細

卒業要件内科目 履修制限単位 春学期 19 単位・秋学期 19 単位 に含まれる科目	① 商学部設置科目 ② 情報関係科目 ③ 全学共通総合講座 ④ 他学部履修科目(認められた科目のみ) ⑤ 学部間共通外国語科目(必修科目に振り替えて履修する場合) ⑥ 資格課程関係科目(資格課程履修者のみ登録可。8単位まで) ⑦ グローバル人材育成プログラム科目
卒業要件外科目 履修制限単位以外に 履修できる科目	① 学部間共通外国語科目(卒業要件外として履修する場合) ② 国際教育プログラム科目(他学部開講科目の場合)等 ③ 資格課程関係科目 (資格課程履修者のみ登録可。卒業要件外として履修する場合)

3. 時間割の組み立てについて

必修科目	基礎教育科目	基礎演習（春 or 秋学期）	2単位	⇒詳細は P24 (1)基礎教育科目を参照
		文章表現（秋 or 春学期）	2単位	
		経済学A（春学期）	2単位	
		経済学B（秋学期）	2単位	
	外国語科目（既習）	英語講読Ⅰ（春学期）※1	1単位	⇒詳細は P24 (2)既習外国語（英語）を参照
		英語講読Ⅱ（秋学期）※1	1単位	
		口語英語Ⅰ（春学期）※1	1単位	
		口語英語Ⅱ（秋学期）※1	1単位	
	外国語科目（初習）	初級〇〇語Ⅰ（春学期）※2	1単位	⇒詳細は P25 (3)初習外国語を参照
		初級〇〇語Ⅱ（秋学期）※2	1単位	
		初級〇〇語Ⅲ（春学期）※2	1単位	
		初級〇〇語Ⅳ（秋学期）※2	1単位	
	保健体育科目	体育・スポーツ実習A（春学期）	1単位	⇒詳細は P25 (7)体育・スポーツ実習 A・B を参照
		体育・スポーツ実習B（秋学期）	1単位	
必修単位合計 18 単位（春学期9単位・秋学期9単位）				
必修科目以外の科目合計 20 単位まで（春学期 10 単位・秋学期 10 単位）				
・この単位内に収まるように、総合教育科目、基本科目、応用展開科目、その他の中から適宜、科目を選択する。ただし、必修科目の曜日・時限と重複しないように注意すること。 ・履修制限単位数の上限まで履修することは必須ではないため、時間の使い方を考慮した上で時間割を作成すること。 ・商学部便覧の「卒業単位数及び卒業要件」を念頭に入れながら、履修を組み立てること。 ・必修科目の単位を修得できなかった場合は、次年度に再履修すること。				

※1 クラス指定の英語講読および口語英語を履修した場合を想定。他科目に振替履修した場合は、各科目名称になる。詳細は P24「(2) 既習外国語(英語)」を参照。

※2 留学生対象の日本語の科目名は「日本語(1年)Ⅰ～日本語(1年)Ⅳ」となる。

4. 科目履修に関する注意点について

(1) 基礎教育科目(基礎演習・文章表現・経済学A・経済学B)

- ① いずれの科目も1年次必修科目となる。授業時間割表でクラス指定されているため、必ず指定された担当者、曜日、時限の授業を受けること。
- ② **基礎教育科目の4科目は、商学部事務室が履修登録を行うため、自分で登録する必要はない。**
- ③ 基礎演習・文章表現は、学生証交付の際に配布した「基礎演習・文章表現組分表」で自身がAグループ・Bグループのどちらなのかを確認すること。グループは、所属するクラスの番号で振り分けられる。番号は、学生証の裏面に年・組の後に記載された番号である。

	Aグループ	Bグループ
春学期	基礎演習	文章表現
秋学期	文章表現	基礎演習

- ④ 授業時間割表および基礎演習・文章表現組分表を紛失した者は、Oh-o! Meiji グループを確認すること。

(2) 既習外国語(英語)

必修科目として週2コマを履修する。履修パターンは、以下の3通りのみ。

- ①履修パターン1…クラス指定の「口語英語Ⅰ・Ⅱ」と「英語講読Ⅰ・Ⅱ」を履修する。自分のクラスで受ける基本的なパターンとなる。
- ②履修パターン2…クラス指定の「口語英語」「英語講読」の代わりに「上級英語」を必修科目として履修する。
以下のa～cの3通りがある。

a「上級英語Ⅰ・Ⅱ」と「上級英語Ⅰ・Ⅱ」

b「上級英語Ⅰ・Ⅱ」と「口語英語Ⅰ・Ⅱ」

c「上級英語Ⅰ・Ⅱ」と「英語講読Ⅰ・Ⅱ」

ア 上級英語Ⅰ・Ⅱは、春学期・秋学期セットでの履修となるため、同一曜日・時限の同一教員の授業を履修する必要がある。

イ 上級英語は初回授業で選抜試験を行う。詳細は Oh-o! Meiji のグループを確認すること。

ウ 複数の上級英語を履修する場合は、各授業の選抜試験に合格する必要がある。

エ 合格者は、Oh-o! Meiji にて発表する。

オ 合格者は、自身で履修登録期間に履修登録を行うこと。

カ 選抜試験に合格した場合でも履修をとりやめることができる。

キ 上級英語の選抜試験に合格するまでは、クラス指定の「口語英語」「英語講読」を受講すること。

ク 秋学期は、上級英語の申し込みはできない。

ケ 1年次に申し込まなかった、履修しなかった場合も、2年次から履修することもできる。

コ 同一教員の授業を履修することもできる。1年次と2年次に同一教員の授業を履修することも可能。

- ③ 履修パターン3(「公募制特別入試(大学入学共通テスト利用の商業部門)入学者」、「スポーツ特別入試入学者」のみ)
…クラス指定の「口語英語」「英語講読」の代わりに「基礎英語」を必修科目として履修することができる。

以下のa～cの3通りがある。

a「基礎英語Ⅰ・Ⅱ」と「基礎英語Ⅰ・Ⅱ」

b「基礎英語Ⅰ・Ⅱ」と「口語英語Ⅰ・Ⅱ」

c「基礎英語Ⅰ・Ⅱ」と「英語講読Ⅰ・Ⅱ」

ア 履修する場合は、初回授業に必ず出席し、履修登録期間に自身で履修登録を行う。

イ 履修対象者ではない場合は、履修登録画面で表示されない。

重要 履修パターン2～3における必修英語科目を振替履修登録時の注意

- ①クラス指定の「口語英語」「英語講読」を、「上級英語」「基礎英語」に振り替えて履修したい場合は、クラス指定の必修科目(基礎演習、文章表現、経済学A・B、初習外国語Ⅰ～Ⅳ、体育・スポーツ実習A・B)と曜日時限が重複しない時間帯のコマを選択すること。
- ②「上級英語」「基礎英語」の受講が認められない場合は、クラス英語を履修することになるため、受講が確定するまではできるだけ両方の授業に出席すること。
- ③希望する振替科目について、選抜試験不合格など履修できなかった場合は、履修登録期間に自身でクラス指定科目の履修登録を行うこと。
- ④選抜試験合格後は、振り替える予定の口語英語Ⅰ・Ⅱ、英語講読Ⅰ・Ⅱの仮参加は解除してよい。
- ⑤振替履修した科目の単位が未修得の場合、翌年度開講される商学部設置再履修クラスの授業を履修すること。

(3) 初習外国語(ドイツ語・フランス語・中国語・韓国語・スペイン語・ロシア語・日本語)

- ① 必修科目として週2コマを履修する。
- ② 2026 年度入学者は1～6組はドイツ語、7～13 組はフランス語、14～26 組は中国語、27～ 29 組は韓国語、30～33 組はスペイン語になる。日本語、ロシア語は商学部事務室(和泉)より通知を送る。
- ③ 初習外国語は、商学部事務室が履修登録を行う。
- ④ 日本語の履修は、留学生入試(海外指定校含む)入学者に限定されている。
- ⑤ 1年次には、学部間共通外国語科目との振替はできない。
- ⑥ スポーツ特別入試入学者は、ドイツ語・中国語の特別クラスも履修できるため、希望者は別途指示に従うこと。
- ⑦ 1年次の初習外国語の修得単位数が0～1の場合は、2年次における中級クラスの履修ができない。
- ⑧ 2年次終了までに初級〇〇語Ⅰ～Ⅳの単位を修得していない場合、3年次も和泉キャンパスで授業を受ける必要がある。
- ⑨ 入学試験の際、外国語科目でドイツ語またはフランス語を選択した学生が履修する特別語学科目を設定している。
これらの科目は、ドイツ語またはフランス語で受験しなかった学生でも、相当する語学力があれば履修することができるため、希望する学生は、Oh-o! Meiji のお知らせの案内に従うこと。

(4) 初習外国語プラスワン

- ① ドイツ語・フランス語・中国語・韓国語は、『プラスワン』科目が設置されている。
- ② 約 15 名の少人数制クラスで、実践的な外国語能力を養い、各国の社会事情・文化を学ぶ。
- ③ 単位(秋学期1単位)は卒業要件に算入され、新規履修制限単位数に含まれる。
- ④ 初習外国語プラスワンは、必修の初習外国語科目の代わりとして受講できない。
- ⑤ 履修登録は秋学期に行う。履修登録期間において、あらかじめ秋学期1単位分を差し引いて履修登録する必要はない。
- ⑥ 自身が履修する初習外国語と異なる言語のプラスワン科目を履修することもできるが、授業のレベルが高いため、ガイダンスなどで担当教員に尋ねること。
- ⑦ ガイダンス等の詳細は、Oh-o! Meiji で配信するお知らせを確認すること。

(5) 総合教育科目

- ① 3つの分野(文化と芸術、地域と社会、人間と自然)より構成。各分野最低4単位、卒業までに 24 単位以上の単位修得が必要。
- ② 24 単位の中には、総合学際演習の修得単位を含めることができる。
- ③ 日本事情の履修は留学生に限るものとし、修得単位は総合教育科目に含めることができる。
- ④ 総合教育科目は3、4年次に駿河台キャンパスでも開講されているが、1、2年次に和泉で履修することを推奨する。
- ⑤ 他の科目同様に春学期のみ、秋学期のみの履修が可能。
- ⑥ 総合教育科目は一部抽選科目がある。詳細は P11 の WEB 履修登録要領を見ること。

(6) 総合学際演習(2・3・4年)

- ① 2年次より始まるゼミ形式の授業。
- ② 必修科目ではない。総合教育科目となる。
- ③ ガイダンスおよび入室試験は、1年次秋学期に実施予定。
- ④ ガイダンス日程および選考スケジュールの詳細は、春学期末に Oh-o! Meiji で通知。
- ⑤ 翌年度における入室試験合格者の履修登録(ゼミ科目)は商学部事務室が行う。
- ⑥ 1度ゼミが決定した後は変更できず、3年間同一のゼミを履修することになる。
- ⑦ 成績評価は通年評価となるため、学年終了時に春学期、秋学期の評価が行われ、4単位(春学期2単位、秋学期2単位)が付与される。

(7) 体育・スポーツ実習 A・B

- ① 各種目の詳細は、学期冒頭に配信される教員の説明を確認すること。
- ② 体育・スポーツ実習 A・B は、必修科目であり、クラスごとに指定された曜日・時限で、「ア」「イ」「ウ」の3つのコースのうち1つのコースを選んで履修する。
- ③ 初回の授業前に Oh-o!Meiji アンケートでコースを選択する。
(1部のクラスは、「ア」「イ」「ウ」「エ」の4つのコースから1つを選択)
アンケート名:「体育・スポーツ実習 A・B クラス申込み」。回答期間:4月3日(金)10時から4日(土)12時
- ④ 希望者が多い場合は抽選を行う。

- ⑤ 初回授業の集合時間および場所は、「2026 年度 体育・スポーツ実習 A・B 一覧表」を確認すること。
(学生証受付時配布)プリントの紛失者は Oh-o! Meiji グループを確認すること。
- ⑥ 体育・スポーツ実習 A・B に関する連絡は、Oh-o! Meiji 等で通知する。
- ⑦ スポーツや運動を禁止または制限されている学生は、個人指導を中心とした特別なクラスを編成して授業を行うので、Oh-o! Meiji アンケート(件名: 体育スポーツ実習ABクラス申込)から申し込みを行うこと。原則、学期途中での変更は認めない。履修登録は学部側が行う。
- ⑧ 次の時限にも支障が生じないように着替えの時間も設けてある。
- ⑨ これまでに経験のないスポーツ種目でも経験は求めているので、安心して履修すること。
- ⑩ **コース選択を忘れた者は教員がコースを決定する。**
- ⑪ 選択スポーツ実習は、2年次配当科目のため、受講することはできない。

(8) 基本科目

- ① 卒業までに 16 単位を修得する必要がある。商学部便覧を確認し、3年次に進みたいコースを考えて、選択すること。
- ② 簿記学A・Bは必修科目ではないが、クラス指定がされているため、履修する際は自分のクラスの曜日・時限で受けること。ただし、中級クラス・上級クラスはクラス指定ではない。
- ③ 簿記学 A・B の上級クラス、中級クラスのレベルについては、新学期初頭に行う会計科目ガイダンスで確認すること。
- ④ 簿記学A・Bは他の科目同様に簿記学Aのみ、簿記学Bのみの履修もできる。
- ⑤ 簿記学A・Bは2年次においても履修することができる(2年次はクラス指定なし)。ただし、1年次にクラス指定の簿記学A・Bの単位を修得した者が、2年次に中級クラス、上級クラスを履修することはできない。
- ⑥ ビジネス・インサイトの履修希望者は、春学期学習指導期間に Oh-o! Meiji の「商学部1年生向けガイダンス」グループに掲載しているビジネス・インサイトガイダンスを必ず確認すること。また、抽選に当選後はキャンセルできないため申込時には注意すること。
- ⑦ 商学入門は1年生のみ履修できる。抽選はないため、希望者は履修登録期間に登録すること。
- ⑧ Essentials of Commerce A・B は抽選ではないため、希望者は履修登録期間に登録すること。英語で授業を行う科目である。
- ⑨ 基本科目は一部抽選科目がある。詳細は P11 の WEB 履修登録要領を見ること。

(9) 商学専門演習

- ① 2年次より始まるゼミ形式の授業。
- ② 必修科目ではない。商学専門演習(2年)は基本科目、商学専門演習(3年)(4年)は基幹科目となる。
- ③ 所属するコースにより単位算入先が異なる。詳細は P33「5.コース登録について」参照。
- ④ ガイダンスおよび入室試験は、1年次秋学期に実施予定。
- ⑤ ガイダンス日程および選考スケジュールの詳細は、春学期末に Oh-o! Meiji で通知する。
- ⑥ 翌年度における入室試験合格者の履修登録(ゼミ科目)は商学部事務室が行う。
- ⑦ 一度ゼミが決定した後は変更できず、3年間同一のゼミを履修することになる。
- ⑧ 成績評価は通年評価となるため、学年終了時に春学期、秋学期の評価が行われ、4単位(春学期2単位、秋学期2単位)が付与される。

(10) 基幹科目(駿河台キャンパス設置)

3年次配当科目のため、1・2年生は履修不可。

(11) 特別テーマ実践・研究・海外研修科目について

特別テーマ実践科目は春学期開講科目は春学期、秋学期開講科目は秋学期の初回授業で履修者を選考し、決定する。履修を希望する場合は、初回授業へ必ず出席すること。初回授業に参加できない場合には履修は認められない。

各科目についての詳細は、P90 以降を確認すること。

(12) その他学部共通科目について(全学共通総合講座・情報関係科目・学部間共通外国語・グローバル人材育成プログラム)

P95 を参照

(13) 他学部履修

- ① 商学部設置されていない、他学部の授業科目を履修することを他学部履修といい、在学中に 20 単位まで履修することができる。
- ② 他学部履修の履修単位は、各年次の履修制限単位数の中に含まれる。
- ③ 他学部が開講する全科目の履修が認められるわけではなく、履修登録画面上で表示された科目のみ履修が可能となる。
- ④ 申込は、履修登録期間内に教務システム「履修登録」で行う。
- ⑤ 他学部開講科目には抽選を行う科目がある。
- ⑥ 上記②の記載にかかわらず、海外留学を伴う他学部開講科目は、他学部履修の上限単位数(在学中 20 単位)を超えない場合に限り、各年次の履修制限単位数に含めずに履修できる。ただし、4年次については、秋学期開講科目の履修追加を認めない。また、主催学部が許可する場合は、履修登録および単位付与を伴わない形式で参加することができる。
- ⑦ 2年生以降で履修計画に余裕が出てきた場合に他学部科目を履修することを推奨する。
- ⑧ 副専攻プログラムについては Oh-o! Meiji グループを参照すること。なお、副専攻プログラムに係る、他学部科目の履修から単位修得は、通常他学部履修の扱いになる。

(14) フリーゾーン

基礎教育科目・必修外国語科目を除く科目群から各要件単位を超えて修得した科目をフリーゾーン(任意選択科目)とし、12 単位を卒業要件とする。

例)卒業までに、基本科目を 20 単位修得した場合、「基本科目の卒業までに必要な単位である 16 単位」を差し引いた 4 単位がフリーゾーンとして卒業要件に算入される。

(15) 資格課程関係科目

- ① 資格課程関係科目の履修者は、資格課程関係科目のうち学部設置科目から8単位までを卒業に必要な単位数に含めることができる。
- ② 卒業に必要な単位数に含める場合は履修制限単位の対象となる(春 19 単位・秋 19 単位)
- ③ 卒業要件単位として認められる科目は、「資格課程関係科目」(P55・P72 参照)のみである。
- ④ 8単位を超過した分については、卒業に必要な単位には含まれない。
- ⑤ 当該科目を履修するには、Oh-o! Meiji グループ「全学部共通ガイダンス」の資格課程ガイダンスを確認し、資格課程事務室で所定の手続きを行なうこと。
- ⑥ 卒業に必要な単位数に含める場合は、履修登録期間に「資格課程関係(卒単内)」と表記された科目を登録すること。登録期間外での変更はできないため、注意すること。

例:卒業に必要な単位数に含める場合 → 日本史概論(担当者名)／資格課程関係(卒単内)

卒業に必要な単位数に含めない場合 → 日本史概論(担当者名)／資格課程関係(卒単外)

(16) その他履修の注意事項

- ① 時間割に同一科目名が週に2コマ以上ある場合は、どちらか1コマを履修すること。
例:生命科学A・Bは、木4・木5に設置されているが、どちらかの時限を履修する。
定期試験は、履修している曜日・時間、あるいは試験時間割表で指定された日程で受験すること。
- ② 同一科目名で週に2コマ以上ある科目の A・B どちらも受講を希望する場合、曜日時限や担当教員が異なる場合でも受講が可能である。ただし、シラバスで授業内容は確認すること。
例:春学期 生命科学 A(木4) 秋学期 生命科学 B(木5)
- ③ 同じ科目名の A、または、B のみの受講も可能である。
例:春学期に生命科学 A のみを受講
- ④ 毎年時間割は変わるため、履修したい科目があれば、履修できる年度に履修すること。次年度に必修科目と重なる可能性がある。
- ⑤ 便覧に載っている1・2年次配当科目で、時間割に記載されていない科目は本年度未開講となる(例:宗教学)。
- ⑥ 経理研究所の学内講座と必修科目が重複している者は商学部事務室(和泉)に申し出ること。ただし、提携スクールの講座が重複している場合は、必修科目を優先すること。
- ⑦ 既に単位修得した科目は教員が異なっても再度履修はできない。
例:1年次に日本語表現論A(石出先生)の単位を修得した学生は2年次に日本語表現論A(片山先生)を履修することはできない。
- ⑧ 休学・留学に伴う履修登録について
春学期休学・留学予定(もしくは留学中)の場合の秋学期の履修登録は、秋学期履修修正期間に登録できな

い科目もあるので、必ず春学期履修期間に履修登録すること。

また、秋学期に休学・留学予定の学生についても、不測の事態に備え、必ず秋学期分の履修登録を行うこと。
休学・留学手続き完了後、該当学期の履修登録科目は事務室で削除する。

(17) 学生証交付時の書類について

- ① 4月3日(金)の学生証交付時に配布した書類を紛失した者は Oh-o ! Meiji グループを確認すること。

商学部で何を学びたいかを確認しながら、時間割を作成しましょう。

- ① 「基礎演習」や「文章表現」は商学部での学びの基礎となる科目である。
- ② 商学部での学びをもっと知りたいと思う場合は、「商学入門」を薦める。
- ③ 自分の学びたいことを確認しながら、秋学期に行われる演習室選択にも役立つ、基本科目、総合教育科目から履修したい科目を選ぶこと。
- ④ 大学の単位は、授業以外の事前学習、事後学習を考慮している。1日の時間の使い方についてもよく考え、自分にあった時間割を作成すること。
- ◎ 授業中の写真等の撮影について
授業中の写真等の撮影は、原則認められない。教室は、公共の空間であり、授業中の板書やパワーポイント等のスライドは、著作物に該当するものもある。

新入生向け履修チェックシート

履修エラーが生じた場合、期間内に商学部事務室(和泉)の窓口で修正する必要があります。窓口が混雑した場合、手続きに多大な時間を要することが予想されます。そのため、履修登録完了前に当シートで確認し、エラーを起こさずに履修登録を行ってください。

全員が確認する項目

- ☐ P9を見て、Oh-o! Meiji より自身の携帯端末のメールアドレスへの転送設定を行った。
- ☐ 商学部新入生アンケートを Oh-o! Meiji より回答した。
- ☐ 春学期だけではなく、秋学期分の履修登録を行った。
- ☐ 履修上限を超えていない(春 19 単位・秋 19 単位)。
- ☐ 英語の履修単位の合計が4単位である(春2単位・秋2単位)。
- ☐ 初習外国語の履修単位の合計が4単位である(春2単位・秋2単位)。

該当者のみが確認する項目

- ☐ 簿記学A・B(上級・中級を除く)を履修する学生は、春学期・秋学期ともに指定クラスのを履修登録している。
- ☐ 履修を希望する特別テーマ実践科目の曜日・時限にクラス指定の必修科目(文章表現、基礎演習、経済学A・B、体育・スポーツ実習A・B、初級〇〇語、日本語、ロシア語、英語講読I・II、口語英語 I・II)がない(振替履修している場合を除く)。
- ☐ 卒業に必要な単位として資格課程関係科目を履修登録する場合、教職または社会教育主事課程の履修料を支払っており、教務システムで「卒単内」と記載されている科目を登録している。

—2年生—

1. 履修上限単位について

- (1) 2年次での履修制限単位は、必修科目も含めて春学期 22 単位・秋学期 22 単位である。
- (2) 再履修する科目の単位は履修制限単位に含まれる。
- (3) 履修制限単位数に含まれない科目については、履修上限を超えて履修することはできる。

卒業要件内科目 (2023 年度以降入学)※1 春学期 22 単位・秋学期 22 単位 に含まれる科目	新規履修科目	① 商学部設置科目 ② 情報関係科目 ③ 全学共通総合講座 ④ 他学部履修科目(認められた科目のみ) ⑤ 学部間共通外国語科目(必修科目に振り替えて履修する場合) ⑥ 資格課程関係科目(資格課程履修者のみ登録可。8単位まで) ⑦ グローバル人材育成プログラム科目 ※2
卒業要件外科目 履修制限単位以外 に履修できる科目	再履修科目	上記①～⑦の科目で、前年度単位が未修得のため、再度履修する場合
	新規・再履修科目	① 学部間共通外国語科目(卒業要件外として履修する場合) ② 国際教育プログラム科目(他学部開講科目の場合)等 ③ 資格課程関係科目 (資格課程履修者のみ登録可。卒業要件外として履修する場合)

※1 2022 年度以前入学者の履修制限単位は入学年度の便覧を参照すること。

※2 2023 年度以降入学者の 2025 年度履修登録から取扱い変更

2. 科目履修に関する注意点について

※再履修については、P32「3. 再履修科目について」を確認すること。

(1) 既習外国語(英語)

必修科目として週2コマを履修する。履修パターンは、以下の3通りのみ。

なお、1年次の口語英語Ⅰ・Ⅱ、英語講読Ⅰ・Ⅱの単位を修得していない者は、必ず再履修クラスの履修登録を行うこと。

- ① 履修パターン1…クラス指定の「口語英語Ⅰ・Ⅱ」と「英語講読Ⅰ・Ⅱ」を履修する。自分のクラスで受ける基本的なパターンとなる。
- ② 履修パターン2…クラス指定の「口語英語」「英語講読」の代わりに「上級英語」を必修科目として履修する。
以下のa～cの3通りがある。

a「上級英語Ⅰ・Ⅱ」と「上級英語Ⅰ・Ⅱ」

b「上級英語Ⅰ・Ⅱ」と「口語英語Ⅰ・Ⅱ」

c「上級英語Ⅰ・Ⅱ」と「英語講読Ⅰ・Ⅱ」

ア 上級英語Ⅰ・Ⅱは、春学期・秋学期セットでの履修となるため、同一曜日・時限の同一教員の授業を履修する必要がある。

イ 上級英語は初回授業で選抜試験を行う。詳細は Oh-o! Meiji のグループを確認すること。

ウ 複数の上級英語を履修する場合は、各授業の選抜試験に合格する必要がある。

エ 合格者は、Oh-o! Meiji にて発表する。

オ 合格者は、自身で履修登録期間に履修登録を行うこと。

カ 選抜試験に合格した場合でも履修をとりやめることができる。

キ 上級英語の選抜試験に合格するまでは、クラス指定の「口語英語」「英語講読」を受講すること。

ク 秋学期は、上級英語の申し込みはできない。

ケ 1年次に申し込まなかった、履修しなかった場合も、2年次から履修することもできる。

コ 同一教員の授業を履修することもできる。1年次と2年次に同一教員の授業を履修することも可能。

- ③ 履修パターン3(「公募制特別入試(大学入学共通テスト利用の商業部門)入学者」、「スポーツ特別入試入学者」のみ)
…クラス指定の「口語英語」「英語講読」の代わりに「基礎英語」を必修科目として履修することができる。
以下のa～cの3通りがある。

a「基礎英語Ⅰ・Ⅱ」と「基礎英語Ⅰ・Ⅱ」

b「基礎英語Ⅰ・Ⅱ」と「口語英語Ⅰ・Ⅱ」

c「基礎英語Ⅰ・Ⅱ」と「英語講読Ⅰ・Ⅱ」

ア 履修する場合は、初回授業に必ず出席し、履修登録期間に自身で履修登録を行う。

イ 履修対象者ではない場合は、履修登録画面で表示されない。

重要 履修パターン2～3における必修英語科目を振替履修登録時の注意

- ① クラス指定の「口語英語」「英語講読」を、「上級英語」「基礎英語」に振り替えて履修したい場合は、クラス指定の必修科目（基礎演習、文章表現、経済学 A・B、初習外国語 I～IV、体育・スポーツ実習 A・B）と曜日時限が重複しない時間帯のコマを選択すること。
- ② 「上級英語」「基礎英語」の受講が認められない場合は、クラス英語を履修することになるため、受講が確定するまではできるだけ両方の授業に出席すること。
- ③ 希望する振替科目について、選抜試験不合格など履修できなかった場合は、履修登録期間に自身でクラス指定科目の履修登録を行うこと。
- ④ 選抜試験合格後は、振り替える予定の口語英語 I・II、英語講読 I・II の仮参加は解除してよい。
- ⑤ 振替履修した科目の単位が未修得の場合、翌年度開講される商学部設置再履修クラスの授業を履修すること。

(2) 初習外国語

- ① 1 年次配当の初習外国語（ドイツ語・フランス語・中国語・韓国語・スペイン語・ロシア語・日本語）の評価が F・T だった者は必ず再履修クラスの科目を履修すること（再履修に関するルールは P32「3. 再履修科目について」を参照）。
- ② 1 年次配当の初習外国語 4 単位中 2 単位以上修得していない者（修得単位数が 0～1 である者）は、2 年次配当の初習外国語（中級●●語 I～IV または日本語（2 年）I～IV）を履修することができない。2 年次には 1 年次配当の初習外国語を再履修することになり、2 年次配当の初習外国語科目は履修条件を満たした場合、次年度以降に履修することになる（駿河台キャンパスでも開講）。
- ③ ドイツ語、フランス語については、2 年次の履修の 4 単位のうち 2 単位に限り、学部間共通外国語の会話科目について、次のように振り替えることができる。履修登録方法の詳細は「(3) 学部間共通外国語の振替履修の手順」を参照。
「中級ドイツ語Ⅲ・Ⅳ」→「ドイツ語会話Ⅱ」または「ドイツ語会話Ⅲ」
「中級フランス語Ⅲ・Ⅳ」→「フランス語会話Ⅱ A・B」または「フランス語会話Ⅲ A・B」
なお、中国語（2021 年度以降入学）、韓国語、スペイン語、ロシア語、日本語は振替履修できない。
- ④ 中級ドイツ語Ⅲ・Ⅳ 及び 中級フランス語Ⅲ・Ⅳ の振替希望者は商学部事務室に事前に相談すること。

(3) 学部間共通外国語の振替履修の手順

- ① 学部間共通外国語振替履修を希望する場合、Oh-o! Meiji アンケートに回答する。3 月 23 日（月）～4 月 1 日（水）
- ② 履修登録期間に Oh-o! Meiji で通知する案内にしたがって、WEB 履修登録を行う。
- ③ その他注意点
 - ・ 学部間共通外国語を振替履修する場合の単位は、履修制限単位及び卒業要件単位に含まれる。
 - ・ 学部間共通外国語を履修する場合、和泉、駿河台、生田、中野のどのキャンパスでもよい。
 - ・ アンケート終了前に 4 月 1 日（水）に公開される学部間共通外国語シラバスを確認しておくこと。

(4) 総合教育科目

- ① 総合教育科目は各分野 4 単位ずつ修得し、合計で 24 単位を修得する必要がある。この総合教育科目は 3、4 年次に駿河台キャンパスでも開講されている。
- ② 総合教育科目は一部抽選科目がある。詳細は P11 の WEB 履修登録要領を見ること。

(5) 基本科目

- ① 卒業要件で 16 単位修得が必須となる基本科目は、原則和泉キャンパスで開講される。
- ② クラス指定はないため、希望する授業を履修すること。簿記学 A と簿記学 B の担当教員が異なっても問題ない。
- ③ 簿記学 A・B は他の科目同様に簿記学 A のみ、簿記学 B のみの履修もできる。
- ④ 簿記学 A・B は、1 年次に単位を修得している者は今年度履修できない。
- ⑤ 基本科目は一部抽選科目がある。詳細は P11 の WEB 履修登録要領を見ること。

(6) 総合学際演習・商学専門演習

- ① 商学部事務室が履修登録を行う。
- ② 成績評価については、通年評価とし、翌年の 3 月に春・秋学期ともに開示される。
- ③ 4 月募集がある場合は Oh-o! Meiji で指示する。ただし、すでに入室が決まっている者は受験できない。
- ④ 商学専門演習については、所属するコースにより単位算入先が異なる。詳細は P33「5. コース登録について」を参照すること。

(7) 特別テーマ実践・研究・海外研修科目について

特別テーマ実践科目は春学期開講科目は春学期、秋学期開講科目は秋学期の初回授業で履修者を選考し、決定する。履修を希望する場合は、初回授業へ必ず出席すること。初回授業に参加できない場合には履修は認められない。各科目についての詳細は、P90以降を確認すること。

(8) 他学部履修

- ① 商学部設置されていない、他学部の授業科目を履修することを他学部履修といい、在学中に20単位まで履修することができる。
- ② 他学部履修の履修単位は、各年次の履修制限単位数の中に含まれる。
- ③ 他学部が開講する全科目の履修が認められるわけではなく、履修登録画面上で表示された科目のみ履修が可能となる。
- ④ 申込は、履修登録期間内に教務システム「履修登録」で行う。
- ⑤ 他学部開講科目には抽選を行う科目がある。
- ⑥ 上記②の記載にかかわらず、海外留学を伴う他学部開講科目は、他学部履修の上限単位数(在学中20単位)を超えない場合に限り、各年次の履修制限単位数に含めずに履修できる。ただし、4年次については、秋学期開講科目の履修追加を認めない。また、主催学部が許可する場合は、履修登録および単位付与を伴わない形式で参加することができる。
- ⑦ 副専攻プログラムについては Oh-o! Meiji グループを参照すること。なお、副専攻プログラムに係る、他学部科目の履修から単位修得は、通常の他学部履修の扱いになる。

(9) 資格課程関係科目

- ① 資格課程関係科目の履修者は、資格課程関係科目のうち学部設置科目から8単位までを卒業に必要な単位数に含めることができる。(2017年度以降入学者のみ)
- ② 卒業に必要な単位数に含める場合は履修制限単位の対象となる(春22単位・秋22単位)
- ③ 卒業要件単位として認められる科目は、「資格課程関係科目」(P55・P72参照)のみである。
- ④ 8単位を超過した分については、卒業に必要な単位には含まれない。
- ⑤ 卒業に必要な単位数に含める場合は、履修登録期間に「資格課程関係(卒単内)」と表記された科目を登録すること。登録期間外での変更はできないため、注意すること。例: 卒業に必要な単位数に含める場合 → 日本史概論(担当者名)/資格課程関係(卒単内) 例: 卒業に必要な単位数に含めない場合 → 日本史概論(担当者名)/資格課程関係(卒単外)

(10) 学部共通科目について(全学共通総合講座・情報関係科目・学部間共通外国語・グローバル人材育成プログラム) P95を参照

(11) その他履修の注意事項

- ① 既に単位修得した科目は教員が異なっても再度履修はできない。
例: 1年次に日本語表現論A(石出先生)の単位を修得した者が2年次に日本語表現論A(片山先生)を履修することはできない。
- ② 「選択スポーツ実習」「選択集中スポーツ実習」は、他学部履修に含まれない。
- ③ 休学・留学に伴う履修登録について
春学期休学・留学予定(もしくは留学中)の場合の秋学期の履修登録は、秋学期履修修正期間に登録できない科目もあるので、必ず春学期履修期間で履修登録すること。
また、秋学期に休学・留学予定の学生についても、不測の事態に備え、必ず秋学期分の履修登録を行うこと。休学・留学手続き完了後、該当学期の履修登録科目は事務室で削除する。

3. 再履修科目について 重要

- (1) 卒業要件科目の再履修科目は2年次の履修制限単位(春学期 22 単位・秋学期 22 単位)に含む。
- (2) 再履修が必須となる科目は、次のとおり。語学の必修科目および体育・スポーツ実習A・B、基礎演習、文章表現、経済学A・B。履修登録をしない場合は、履修エラーとなる。
- (3) 1年次の必修科目の単位未修得者は、2年次で必ず再履修すること。
- (4) 1年次の評価が「T」または「F」だった科目は翌年以降、再履修することができる。複数の担当者がいる場合は担当者を変更して再履修してもよい。
- (5) 英語、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語、スペイン語、基礎演習、文章表現、体育・スポーツ実習を再履修する場合は、授業時間割表に「再履」と表記されている授業を履修すること。
- (6) ロシア語、日本語の再履修科目は、事務室で履修登録を行う。個別に授業の曜日・時限をお知らせするため、選択はできない。
- (7) 昨年度、必修の英語科目(口語英語・英語講読)を「上級英語、基礎英語」に振り替えて履修した者のうち、単位を修得できなかった者は今年度、口語英語・英語講読の再履修クラスを履修すること。
- (8) スポーツ特別入試入学者で昨年度、スポーツ語学(英語・ドイツ語・中国語)の履修者で単位を落とした者は商学部の再履修クラスを履修すること。あらかじめ、成績通知書を出し、自分が単位を取得できなかった科目の正式名称を把握した上で申し込みを行うこと。
- (9) 英語・ドイツ語・フランス語・中国語・韓国語・スペイン語・基礎演習・文章表現の再履修は、以下のとおり、WEB上で事前の申し込みの上、抽選を行う。詳細は P11 の WEB 履修登録要領を見ること。
抽選科目決定後の取り消しはできない。
- (10) 授業時間割表において、英語・ドイツ語・フランス語・中国語・韓国語・スペイン語の再履修クラスでは、同じ曜日・時限・担当者・教室で「口語英語 I」「英語講読 I」等のように複数の科目名が表記されているが、この授業を履修した場合は「口語英語 I」もしくは「英語講読 I」の履修となる。「口語英語 I」と「英語講読 I」の2科目分の単位を修得できるわけではないため、注意すること。
- (11) 経済学A・Bを再履修する際は、2年生授業時間割表に記載のある科目を履修登録期間に履修登録すること。1年次とは異なり、クラス指定はない。
- (12) 体育・スポーツ実習A・Bの単位未修得者は再履修クラスの体育・スポーツ実習A・Bの初回授業に必ず参加すること。初回の集合場所については、体育館掲示板で確認すること。
再履修科目は授業に必ず出席しなければならない。
科目名が同一であれば、1年次の春学期に履修して、単位を落とした科目を2年次の秋学期に再履修してもよい。
- (13) 必修の再履修科目は、ゼミよりも優先となるため、万が一、曜日時限が重複した場合は、再履修科目が優先となる。
- (14) 再履修科目は必修科目となるため、秋学期の履修修正期間において、追加、削除を含む履修修正はできない。

再履修科目の時間割表での表記および履修登録方法について

再履修科目名	授業時間割表での「組」欄の表記	履修登録方法	注意事項
基礎演習・文章表現 口語英語、英語講読	再履	事前申込・抽選	申込・抽選等の日程は「WEB履修登録要領」を確認。
初級ドイツ語、初級フランス語、初級中国語、初級韓国語、初級スペイン語			
経済学A・B	空欄	履修登録期間に登録	商学部事務室より別途連絡
体育・スポーツ実習A・B	再履		
ロシア語・日本語	空欄	学部事務室が登録	

4. 進級条件について

2年次の終わりまでに在学年数2年以上を経過し、次の要件を満たさなければ3年へ進級することができない。
協定留学または認定留学の期間は、在学年数に計上する。
入学年度によって、進級条件が異なるため、注意すること。

〔2021年度以降入学者〕

- (1) 基礎教育科目(基礎演習・文章表現・経済学A・B)4単位
- (2) 既習外国語(必修)3単位・初習外国語(必修)3単位
- (3) 体育・スポーツ実習A・B 2単位
- (4) 上記(1)～(3)を含め、卒業要件科目から合計 42 単位以上修得すること。

〔2020年度以前入学者〕

- (1) 基礎教育科目(基礎演習・文章表現・経済学A・B)4単位
- (2) 既習外国語(必修)4単位・初習外国語(必修)2単位 または既習外国語(必修)2単位・初習外国語(必修)4単位
- (3) 体育・スポーツ実習A・B 2単位
- (4) 上記(1)～(3)を含め、卒業要件科目から合計 42 単位以上修得すること。

5. コース登録について

2年次の秋学期頃に7つの専門コースから自分の希望のコースを選択する。詳細は Oh-o! Meiji より案内するが、商学専門演習履修者については選択したコースにより修得単位の算入先が異なるためコース選択は慎重に行うこと。商学専門演習は通年評価である。修得単位の卒業要件への算入は入学年度によって異なるため注意すること。

- (1) 2022年度以前入学者

商学専門演習(2年～4年)はすべて基幹科目群(48単位)に算入する。自コースには含まれない。

- (2) 2023年度以降入学者

商学専門演習(2年)は基本科目、商学専門演習(3年)・商学専門演習(4年)は自身のコースと教員の所属コースによって算入先が異なる。

2023年度以降入学者	
商学専門演習(2年)	基本科目群に算入
商学専門演習(3年)	演習担当教員が、自コース所属教員の場合、基幹科目群自コースに算入。
商学専門演習(4年)	演習担当教員が、他コース所属教員の場合、基幹科目群他コースに算入。

(例)海老名剛先生(アプライド・エコノミクスコース所属)商学専門演習を履修している学生の場合



商学部で何を深く学びたいかを確認しながら、時間割を作成しましょう。

- ① クラス指定の必修科目の曜日、時限を確認しましょう。必修科目を再履修しなければならない場合、再履修クラスの曜日、時限を確認してください。
- ② 入室試験で合格した演習科目の曜日、時限を確認しましょう。
- ③ 自分の学びたいことを確認しながら、秋学期に行われるコース選択にも役立つ、基本科目、総合教育科目から履修したい科目を選びましょう。その際、各科目の単位をどれだけ修得できたかを確認し、卒業要件を満たすようにしましょう。
- ④ 大学の単位は、授業以外の事前学習、事後学習を考慮したものです。1日の時間の使い方についてもよく考え、自分にあった時間割を作成しましょう。
- ⑤ 「特別テーマ実践科目」は、初回授業で科目担当教員が履修者を選考し、決定します。履修を希望する方は、初回授業へ必ず出席してください。
- ◎ 授業中の写真等の撮影について
授業中の写真等の撮影は、原則認められません。教室は、公共の空間であり、授業中の板書やパワーポイント等のスライドは、著作物に該当するものもあります。

2年生向け履修チェックシート

履修エラーが生じた場合、期間内に修正する必要があります。手続きに多大な時間を要することが予想されます。
そのため、履修登録完了前に当シートで確認し、エラーを起こさずに履修登録を行ってください。

全員が確認する項目

- ☐ P9を見て、Oh-o! Meiji より自身の携帯端末のメールアドレスへの転送設定を行った。
 - ☐ 春学期だけではなく、秋学期分の履修登録を行った。
 - ☐ 履修上限を超えていない(春 22 単位・秋 22 単位)。
 - ☐ 英語の履修単位の合計が4である(春2単位・秋2単位)。ただし、再履修がある者はこれに再履修分が加算される。
 - ☐ 初習外国語の履修単位の合計が4である(春2単位・秋2単位)。ただし、再履修がある者はこれに再履修分が加算される。
- ※1年次に初習外国語の取得単位数が0～1の者は再履修分のみの履修となる。

該当者のみが確認する項目

- ☐ 中級ドイツ語Ⅲ～Ⅳ、中級フランス語Ⅲ～Ⅳを選択クラスで履修登録する場合、学部間共通外国語科目(ドイツ語会話、フランス語会話)を振替による履修登録をしていない。
 - ☐ これまでに初習外国語(初級〇〇語Ⅰ～Ⅳ)の修得単位数が0～1である学生は「中級〇〇語Ⅰ～Ⅳ」を履修登録できない。
 - ☐ 1年次に不合格だった英語科目の再履修として、上級英語、基礎英語を履修登録していない。
- ※商学部時間割に掲載されている再履表記のある科目を履修する。

以 上

—3・4年生—

1. 履修制限単位について

卒業要件内科目 (2021 年度以降入学) 春学期 22 単位・秋学期 22 単位 履修制限単位 に含まれる科目 (2020 年度以前入学) 春学期 24 単位・秋学期 24 単位 履修制限単位 に含まれる科目	新規履修科目	① 商学部設置科目 ② 情報関係科目 ③ 全学共通総合講座 ④ 他学部履修科目(認められた科目のみ) ⑤ 学部間共通外国語科目(必修科目に振り替えて履修する場合) ⑥ 資格課程関係科目(資格課程履修者のみ登録可。8単位まで。ただし、2017 年度以降入学のみ。) ⑦ グローバル人材育成プログラム科目(2023 年度以降入学)*1
卒業要件外科目 履修制限単位以外 に履修できる科目	再履修科目	上記①～⑦の科目で、前年度単位が未修得のため、再度履修する場合
	新規・再履修科目	① 学部間共通外国語科目(卒業要件外として履修する場合)*2 ② グローバル人材育成プログラム科目(2022 年度以前入学)*2 ③ 国際教育プログラム基幹科目(他学部開講科目の場合)等 ④ 資格課程関係科目(資格課程履修者のみ登録可。卒業要件外として履修する場合) ⑤ 大学院商学研究科博士前期課程設置科目(4年次に限り 16 単位まで履修可) ⑥ 専門職大学院会計専門職研究科設置科目(最終学年次に限り 10 単位まで履修可)

(*1) 2025 年度から、2023 年度以降入学者のグローバル人材育成プログラムの単位取扱いを変更する。詳細は P95 を確認すること。

(*2) 2018～2022 年度入学者は、1 年生から3年生の間に卒業要件外として履修・修得した学部間共通外国語・グローバル人材育成プログラム科目を、フリーゾーンの単位として4単位までを上限に卒業要件に参入する申請を行うことができる。詳細は P95 を確認すること。

2. 科目履修に関する注意点

(1) 外国専門書講読について

3 年生については、外国専門書講読は商学部事務室が履修登録を行う。4 年生で履修する場合は、昨年度と同じ担当教員の外国専門書講読を自身で履修登録すること。春・秋学期各々3分の2以上出席しない場合、評価の対象とならないので留意すること。

① 2022 年度以前入学者

外国専門書講読(各コース)は必修科目である。必ず指定された、曜日・時限の授業を受けること。変更は認めない。

② 2023 年度以降入学者

外国専門書講読は基幹英語科目群の選択必修科目の一つである。指定された曜日・時限の変更は認めないが、外国専門書講読の代わりに、「Applied Commerce A・B」、もしくは英語で開講される基幹科目に変更することができる。詳細は、Oh-o! Meiji のガイダンスグループで確認すること。

(2) 商学専門演習について

商学専門演習は通年評価である。修得単位の卒業要件への算入は入学年度によって異なるため注意すること。

① 2022 年度以前入学者

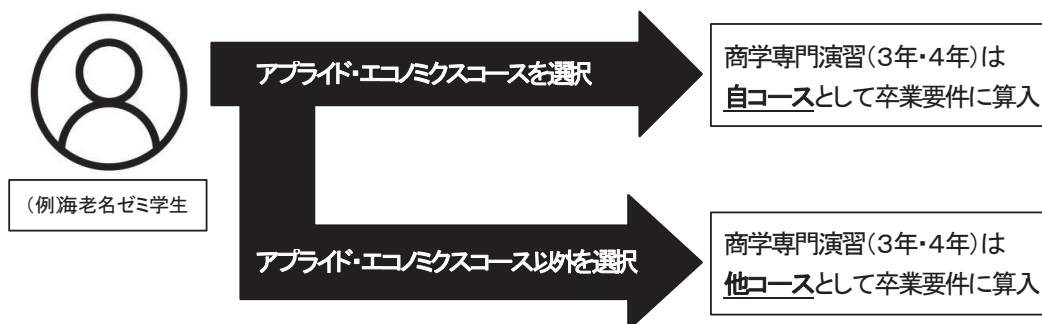
商学専門演習(2年～4年)はすべて基幹科目群(48 単位)に算入する。自コースには含まれない。

② 2023 年度以降入学者

商学専門演習(2年)は基本科目、商学専門演習(3年)・商学専門演習(4年)は自身のコースと教員の所属コースによって算入先が異なる。

2023 年度以降入学者	
商学専門演習(2年)	基本科目群に算入
商学専門演習(3年)	演習担当教員が、自コース所属教員の場合、基幹科目群自コースに算入。
商学専門演習(4年)	演習担当教員が、他コース所属教員の場合、基幹科目群他コースに算入。

(例)海老名剛先生(アプライド・エコノミクスコース所属)商学専門演習を履修している学生の場合



(3) 国際マーケティング論 A・Bについて

「国際マーケティング論A・B」はクラス指定がある選択科目である。クラス分けは以下の表を確認すること。

組	曜日時限・教員
3年・4年(1組～20組)	水曜1限:鈴木 仁里 先生
3年・4年(21組～33組)	木曜3限:深澤 琢也 先生

(4) 既習外国語と初習外国語の必修科目(再履修)について

- ① 初習外国語の初級外国語(1年次配当)の再履修科目は、和泉キャンパスで履修すること。既習外国語(1・2年次配当)及び初習外国語の中級外国語(2年次配当)の再履修科目は駿河台キャンパスで履修すること。ただし、ロシア語・日本語の選択者は、1年次・2年次配当のいずれも、再履修は和泉キャンパスで履修すること。ロシア語・日本語の再履修科目は、事務室で登録を行う。
- ② 中級韓国語(2年次配当)は、駿河台キャンパスで1科目のみ開講している。2科目以上の履修を希望する場合は、和泉キャンパスで不足分を履修する必要があるため、登録方法を商学部事務室へ相談すること。
- ③ 協定留学等で2年次に既習外国語と初習外国語を履修せず、3年次に進学した場合は、和泉キャンパスではなく、駿河台キャンパスで開講している再履修科目を履修すること。なお、1・2年次に「上級英語」「基礎英語」の単位を修得できなかった者は、修得できていない学年・学期の「口語英語」又は「英語講読」を再履修すること。

(5) 既習外国語と初習外国語の選択科目(3・4年次配当)について

- ① 既習外国語は「発展英語」(半期科目)を、春学期・秋学期の両方、または半期で履修することができる。また、いずれの学期も同時に複数の「発展英語」を履修することができる。
- ② 初習外国語は「上級ドイツ語」、「上級フランス語」、「上級中国語」、「上級韓国語」、「上級スペイン語」(それぞれ半期科目)を、春学期・秋学期の両方、または半期で履修することができる。また、いずれの学期も同じ科目が複数開講されている場合、同時に複数の「上級ドイツ語」、「上級フランス語」、「上級中国語」、「上級韓国語」、「上級スペイン語」を履修することができる。
- ③ 初習外国語について、さらに深く学ぼうとする学生のために、発展クラスを設置している。シラバスの「発展ドイツ語」、「発展フランス語」、「発展中国語」、「発展韓国語」をそれぞれ参照し、受講を希望するものは、初回の授業に必ず出席すること。発展クラスは、春学期・秋学期の両方、または半期で履修することができる。また、いずれの学期も同じ科目が複数開講されている場合、同時に複数の「発展ドイツ語」、「発展フランス語」、「発展中国語」、「発展韓国語」を履修することができる。

(6) 特別テーマ実践・研究・海外研修科目について

特別テーマ実践科目は春学期開講科目は春学期、秋学期開講科目は秋学期の初回授業で履修者を選考し、決定する。履修を希望する場合は、初回授業へ必ず出席すること。初回授業に参加できない場合には履修は認められない。
各科目についての詳細は、P90以降を確認すること。

(7) メディア授業科目について

科目名称の末尾に[M]が表示されている科目はメディア授業科目である。メディア授業科目は、在学時に60単位を超えない範囲で、卒業の要件として修得すべき単位数に参入できる。メディア授業科目には授業全てをオンラインで実施するフルオンデマンド型と、メディア授業と対面授業を組み合わせて実施するオンデマンド・対面併用型があるため、各科目のシラバスを確認すること。

(8) 他学部履修

- ① 商学部設置されていない、他学部の授業科目を履修することを他学部履修といい、在学中に 20 単位まで履修することができる。
- ② 他学部履修の履修単位は、各年次の履修制限単位数の中に含まれる。
- ③ 他学部が開講する全科目の履修が認められるわけではなく、履修登録画面上で表示された科目のみ履修が可能となる。
- ④ 申込は、履修登録期間内に教務システム「履修登録」で行う。
- ⑤ 他学部開講科目には抽選を行う科目がある。
- ⑥ 上記②の記載にかかわらず、海外留学を伴う他学部開講科目は、他学部履修の上限単位数(在学中 20 単位)を超えない場合に限り、各年次の履修制限単位数に含めずに履修できる。ただし、4 年次については、秋学期開講科目の履修追加を認めない。また、主催学部が許可する場合は、履修登録および単位付与を伴わない形式で参加することができる。
- ⑦ 副専攻プログラムについては Oh-o! Meiji グループを参照すること。なお、副専攻プログラムに係る、他学部科目の履修から単位修得は、通常他学部履修の扱いになる。

(9) 大学院商学研究科博士前期課程設置科目、専門職大学院会計専門職研究科設置科目について

大学院商学研究科博士前期課程設置科目、専門職大学院会計専門職研究科設置科目を履修する際は、所定の手続きを行うこと。なお、これらは商学部の卒業要件には含まれない(ただし、修得した単位はそれぞれに入學後、修了に必要な単位数に算入することができる)。

(10) 学部共通科目について(全学共通総合講座・情報関係科目・学部間共通外国語・グローバル人材育成プログラム)

P95 を参照

5. その他の注意事項

- ① 休学・留学に伴う履修登録について
春学期休学・留学予定(もしくは留学中)の場合の秋学期の履修登録は、秋学期履修修正期間に登録できない科目もあるので、必ず春学期履修期間で履修登録すること。
また、秋学期に休学・留学予定の学生についても、不測の事態に備え、必ず秋学期分の履修登録を行うこと。休学・留学手続き完了後、該当学期の履修登録科目は事務室で削除する。
- ② キャンパス間移動について
同じ日に他キャンパスで開講している科目を連続して履修する場合は、2 限と 3 限の連続に限る。それ以外の場合は、キャンパス間の移動時間を考慮し、1 コマ以上空けなければならない。

6. 卒業見込みについて

最終年次の前年度末までに、所定の在籍年数を満たし卒業要件科目から 92 単位以上を修得した者には、最終年次の 4 月上旬に卒業見込証明書の発行が可能となる(就職活動の際、必要となる場合がある)。

3 年次では、商学部で何を深く学びたいかを考えながら、時間割を作成しましょう。

- ① 指定された外国専門書講読の曜日、時限を確認しましょう。必修科目を再履修しなければならない場合、再履修クラスの曜日、時限を確認してください。
- ② 所属している演習科目の曜日、時限を確認しましょう。
- ③ 自分の選択したコースの基幹科目から履修したい科目を選びましょう。総合教育科目、基本科目などで、卒業要件を満たしていない場合には、こちらも履修しましょう。
- ④ 大学の単位は、授業以外の事前学習、事後学習を考慮したものです。1 日の時間の使い方についてもよく考え、自分にあつた時間割を作成しましょう。
- ⑤ 履修登録期間前に、事前に抽選等で履修者を決める科目もあるので、注意してください。

4 年次では、商学部の卒業要件を満たせるかを確認しながら、時間割を作成しましょう。

- ① 自分の選択したコースの基幹科目、他コースの基幹科目、総合教育科目、基本科目などで、卒業要件を満たしていない場合には、必ず余裕をもって履修しましょう。
- ② 4 年次には、卒業要件科目のうちから、最低 12 単位を修得しなければいけません。
- ③ 所属している演習科目の曜日、時限を確認しましょう。
- ④ 大学の単位は、授業以外の事前学習、事後学習を考慮したものです。1 日の時間の使い方についてもよく考え、自分にあつた時間割を作成しましょう。
- ⑤ 履修登録期間前に、事前に抽選等で履修者を決める科目もあるので、注意してください。

IV- I .

2023 年度以降カリキュラム 卒業要件と科目一覧

1. 卒業要件について(2023 年度以降入学者)

科目群			単位数		備考
基礎教育科目	基礎演習	必修	2	8	
	文章表現	必修	2		
	経済学A	必修	2		
	経済学B	必修	2		
外国語科目	既習外国語	必修	8		英語
		選択	フリーゾーン(任意選択科目)		
	初習外国語	必修	8		1か国語を選択
		選択	フリーゾーン(任意選択科目)		
総合教育科目	文化と芸術		4	24	総合教育科目の3分野から4単位以上を含め、合計24単位以上。留学生は「日本事情A～F」の8単位を含めることができる。
	地域と社会		4		
	人間と自然		4		
総合学際演習	総合学際演習				
保健体育科目		必修	2		「体育・スポーツ実習A・B」は必修科目
		選択	フリーゾーン(任意選択科目)		
基本科目			16		商学専門演習(2年)は基本科目
商学専門演習	商学専門演習 (3・4年)				<u>自コースのゼミに所属している場合には、 自コース科目(28単位)に含める</u>
基幹科目	自コース		28	48	自コース科目から28単位以上かつ、基幹英語科目から4単位以上を含め、48単位以上
	他コース				
	基幹英語科目		4		
応用展開科目			フリーゾーン(任意選択科目)12単位 ※基礎教育科目・必修外国語科目を除く科目群から各要件単位を超えて修得した単位はフリーゾーン(任意選択科目)となる。		
その他					
資格課程関係科目(8単位まで)					
他学部履修科目					
グローバル人材育成プログラム科目 (2025年度以降に修得した単位)					
合 計			126		

注意事項

- 卒業に必要な単位数は、126 単位以上とする。
- 各科目群の必要な単位数を、満たすこと。
 - 「文化と芸術」、「地域と社会」及び「人間と自然」の3分野からそれぞれ最低4単位ずつ、合計24単位以上を修得しなければならない。
 - 総合学際演習の修得単位は、総合教育科目の単位数に含めることができる。
 - 基本科目より16単位修得すること。商学専門演習(2年)も基本科目に算入する。
 - 基幹科目については、48単位のうち28単位以上は、自らが選択したコースの指定した科目を修得しなければならない。
 - 商学専門演習(3年)・商学専門演習(4年)は演習担当教員が、自コース所属教員の場合、基幹科目群「自コース」に算入する。演習担当教員が、他コース所属教員の場合は基幹科目群「他コース」に算入する。
 - 基幹英語科目については、原則、「外国専門書講読」、「Applied Commerce A・B」、「特別認定科目(基幹英語科目)」の中から4単位以上を修得すること。なお、事前に申請を行うことで英語で授業が行われる基幹科目を基幹英語科目とすることができる。Oh-o! Meiji のガイダンスグループで詳細を確認すること。
- 基礎教育科目・必修外国語科目を除く科目群から各要件単位を超えて修得した科目をフリーゾーン(任意選択科目)とし、12単位を卒業要件とする。
例)卒業までに、基本科目を20単位修得した場合、「基本科目の卒業までに必要な単位である16単位」を差し引いた4単位がフリーゾーンとして卒業要件に算入される。
- 4年次においては、最低12単位以上を修得しなければならない。この単位は新規履修・再履修の区別なく卒業要件科目のうちから修得すること。この条件が満たされない場合、たとえ他の卒業要件が全て満たされても卒業することができない。また、この条件で原級した者は、残りの単位を修得しなければならない。

2. 2023 年度以降入学者授業科目及び担当者一覧表

本科目一覧表は 2023 年度以降入学者用です。

2022 年度以前入学者においては、P58 の「2022 年度以前入学者授業科目及び担当者一覧表」を確認してください。

メディア授業科目については、Oh-o!Meiji システムで確認してください。科目名称の末尾に〔M〕が表示されている科目がメディア授業科目になります。また、対面授業科目でも、メディア授業を実施する科目がございますので、シラバスをご確認ください。メディア授業科目は、60 単位を超えない範囲で、卒業の要件として修得すべき単位数に算入することができます。

区分		配当年次	授業科目	単位数	担当者
基礎教育科目		1	基礎演習	2	別表Ⅰ
			文章表現	2	別表Ⅱ
			経済学A	2	海老名 剛
			経済学B	2	山田 知明
総合教育科目	文化と芸術	1・2	日本文化史A	2	清水 克行
			日本文化史B	2	清水 克行
			西洋文化史A	2	北田 葉子
			西洋文化史B	2	北田 葉子
			日本語表現論A	2	石出 靖雄
					片山 久留美
			日本語表現論B	2	石出 靖雄
					片山 久留美
			日本近代文学A	2	永井 善久
					西山 春文
			日本近代文学B	2	永井 善久
					西山 春文
			日本古典文学A	2	中村 成里
			日本古典文学B	2	中村 成里
			宗教学 A	2	開講せず
			宗教学 B	2	
		3・4	外国文学(西洋)A	2	開講せず
			外国文学(西洋)B	2	
			外国文学(東洋)A	2	開講せず
			外国文学(東洋)B	2	
			芸術(音楽)A	2	宮川 渉
			芸術(音楽)B	2	宮川 渉
			芸術(美術)A	2	新保 淳乃
			芸術(美術)B	2	新保 淳乃

区分		配 当 年 次	授業科目	単 位 数	担当者
総合 教育 科目	地域と社会	1 ・ 2	法学A	2	池田 武央
			法学B	2	池田 武央
			アジア史A	2	鳥居 高
			アジア史B	2	鳥居 高
			地理学A	2	中川 秀一
			地理学B	2	中川 秀一
			社会学A	2	木村 至聖
			社会学B	2	木村 至聖
			社会思想史A	2	清水 明美
			社会思想史B	2	清水 明美
		3 ・ 4	日本思想史A	2	開講せず
			日本思想史B	2	
			政治学A	2	三森 ちかし
			政治学B	2	三森 ちかし
			人類学A	2	河野 正治
			人類学B	2	河野 正治
	人間と自然	1 ・ 2	哲学A	2	清水 真木
			哲学B	2	清水 真木
			自然科学概論A	2	森永 由紀
			自然科学概論B	2	亀山 浩文
			生命科学A	2	浅賀 宏昭
			生命科学B	2	浅賀 宏昭
			線型数学A	2	鴨井 祐二
			線型数学B	2	鴨井 祐二
			解析数学A	2	鴨井 祐二
			解析数学B	2	鴨井 祐二
			化学A	2	久富木 志郎
			化学B	2	久富木 志郎
			言語学A	2	吉田 浩美
			言語学B	2	吉田 浩美
			論理学A	2	金子 裕介
			論理学B	2	金子 裕介
			心理学A	2	佐々木 美加
			心理学B	2	佐々木 美加
		3 ・ 4	物理学A	2	洞口 拓磨
			物理学B	2	洞口 拓磨
			環境科学A	2	森永 由紀
			環境科学B	2	工藤 泰子

区分			配当年次	授業科目	単位数	担当者
外国人留学生のための科目			1・2	日本事情A	2	兼子 歩
				日本事情B	2	開講せず
				日本事情C	2	
				日本事情D	2	
				日本事情E	2	森永 由紀
総合学際演習			2	総合学際演習	2	演習室案内、Oh-o!Meiji 公開シラバス参照
			3		2	
			4		2	
			2	特別テーマ演習科目(総合教育科目)A	2	開講せず
				特別テーマ演習科目(総合教育科目)B	2	
			3・4	特別テーマ演習科目(総合教育科目)C	2	
				特別テーマ演習科目(総合教育科目)D	2	
			3	卒論指導科目(総合教育科目)A	2	適宜開講
				卒論指導科目(総合教育科目)B	2	
			1~4	特別認定科目(総合教育科目)	2	
外国語科目	既習外国語	必修	1・2	口語英語Ⅰ	1	別表Ⅲ-①
				口語英語Ⅱ	1	
				英語講読Ⅰ	1	
				英語講読Ⅱ	1	
				基礎英語Ⅰ	1	井出 新
						石黒 太郎
						瀧口 美香
						岡田 優子
				基礎英語Ⅱ	1	井出 新
						石黒 太郎
						瀧口 美香
						岡田 優子
				上級英語Ⅰ	1	石黒 太郎
						海田 皓介
						加藤 健太
						小宮 彩加
						今野 史昭
						ジェームズ, アンドリュー S.
						高橋 三和子
						中島 渉
						ルブレクト, ブライアン G.
				上級英語Ⅱ	1	石黒 太郎
						海田 皓介
						加藤 健太
						小宮 彩加
						今野 史昭
						ジェームズ, アンドリュー S.
						高橋 三和子
						中島 渉
						ルブレクト, ブライアン G.
		選択	3・4	発展英語	1	ルブレクト, ブライアン G.
					1	佐藤 寛子

区分			配 当 年 次	授業科目	単 位 数	担当者
外国語科目	初習外国語	必修	1	初級ドイツ語Ⅰ	1	別表Ⅲ-②
				初級ドイツ語Ⅱ	1	
				初級ドイツ語Ⅲ	1	
				初級ドイツ語Ⅳ	1	
			2	中級ドイツ語Ⅰ	1	別表Ⅲ-②
				中級ドイツ語Ⅱ	1	
				中級ドイツ語Ⅲ	1	
				中級ドイツ語Ⅳ	1	
			1・2	特別ドイツ語Ⅰ	1	シラバス等は別途指示する
				特別ドイツ語Ⅱ	1	
				特別ドイツ語Ⅲ	1	
				特別ドイツ語Ⅳ	1	
			1	初級フランス語Ⅰ	1	別表Ⅲ-③
				初級フランス語Ⅱ	1	
				初級フランス語Ⅲ	1	
				初級フランス語Ⅳ	1	
			2	中級フランス語Ⅰ	1	別表Ⅲ-③
				中級フランス語Ⅱ	1	
				中級フランス語Ⅲ	1	
				中級フランス語Ⅳ	1	
			1・2	特別フランス語Ⅰ	1	シラバス等は別途指示する
				特別フランス語Ⅱ	1	
				特別フランス語Ⅲ	1	
				特別フランス語Ⅳ	1	
			1	初級中国語Ⅰ	1	別表Ⅲ-④
				初級中国語Ⅱ	1	
				初級中国語Ⅲ	1	
				初級中国語Ⅳ	1	
			2	中級中国語Ⅰ	1	別表Ⅲ-④
				中級中国語Ⅱ	1	
				中級中国語Ⅲ	1	
				中級中国語Ⅳ	1	
			1	初級韓国語Ⅰ	1	別表Ⅲ-⑤
				初級韓国語Ⅱ	1	
				初級韓国語Ⅲ	1	
				初級韓国語Ⅳ	1	
			2	中級韓国語Ⅰ	1	別表Ⅲ-⑤
				中級韓国語Ⅱ	1	
				中級韓国語Ⅲ	1	
				中級韓国語Ⅳ	1	

区分			配 当 年 次	授業科目	単 位 数	担当者
外国語科目	初習外国語	必修	1	初級スペイン語Ⅰ	1	別表Ⅲ-⑥
				初級スペイン語Ⅱ	1	
				初級スペイン語Ⅲ	1	
				初級スペイン語Ⅳ	1	
			2	中級スペイン語Ⅰ	1	別表Ⅲ-⑥
				中級スペイン語Ⅱ	1	
				中級スペイン語Ⅲ	1	
				中級スペイン語Ⅳ	1	
			1	初級ロシア語Ⅰ	1	シラバス等は別途指示する
				初級ロシア語Ⅱ	1	
				初級ロシア語Ⅲ	1	
				初級ロシア語Ⅳ	1	
			2	中級ロシア語Ⅰ	1	シラバス等は別途指示する
				中級ロシア語Ⅱ	1	
				中級ロシア語Ⅲ	1	
				中級ロシア語Ⅳ	1	
			1・2	日本語 ※外国人留学生のみ履修可	1	日本語シラバス参照
		選択	1	初級ドイツ語プラスワン	1	渡辺 徳美
			2	中級ドイツ語プラスワン	1	渡辺 徳美
			3・4	上級ドイツ語	1	レンドラー ローマン ドミニク
			4	発展ドイツ語	1	ゲスナー ゲジーネ
			1	初級フランス語プラスワン	1	富塚 真理子
			2	中級フランス語プラスワン	1	高山 典子
			3・4	上級フランス語	1	松原 陽子
			4	発展フランス語	1	安原 伸一朗
			1	初級中国語プラスワン	1	葉 紅
			2	中級中国語プラスワン	1	葉 紅
			3・4	上級中国語	1	水谷 尚子 江田 いづみ
			4	発展中国語	1	石井 知章
			1	初級韓国語プラスワン	1	高 成鳳
			2	中級韓国語プラスワン	1	李 興淑
			3・4	上級韓国語	1	高 成鳳
			4	発展韓国語	1	桔川 純子
			2	初級スペイン語プラスワン	1	開講せず
			2	中級スペイン語プラスワン	1	
			3・4	上級スペイン語	1	松尾 俊輔
			4	発展スペイン語	1	開講せず
保健体育科目		必修	1	体育・スポーツ実習 A	1	別表Ⅲ-⑦、Oh-o!Meiji 公開シラバスおよび選択体育実技パンフレットシラバス参照
				体育・スポーツ実習 B	1	
		選択	2	選択スポーツ実習	1	
			2～4	選択集中スポーツ実習	1	
			1・2	スポーツとグローバル化	2	澤井 和彦
			2	スポーツと健康	2	阿部 巧

区分	配当年次	授業科目	単位数	担当者
基本科目	1・2	ミクロ経済学	2	阿武 秀和
		マクロ経済学	2	賈 執孝
		理論経済学A	2	吉岡 努
		理論経済学B	2	吉岡 努
		経済史A (*1)	2	井上 達樹
		経済史B (*2)	2	井上 達樹
		商業総論A	2	竹村 正明
			2	庄司 真人
		商業総論B	2	竹村 正明
			2	庄司 真人
		経営学総論A	2	會澤 綾子
			2	水村 典弘
		経営学総論B	2	會澤 綾子
			2	水村 典弘
		簿記学A	2	神田 良介
			2	渡邊 雅雄
			2	葛 暁鵬
			2	吉沢 壮二郎
			2	渡邊 智
		簿記学B	2	神田 良介
			2	渡邊 雅雄
			2	葛 暁鵬
			2	吉沢 壮二郎
			2	渡邊 智
		会計学総論A	2	梅原 秀継
		会計学総論B	2	前田 陽
		統計学A	2	小林 弦矢
		統計学B	2	小林 弦矢
		金融総論A	2	小原 英隆
		金融総論B	2	小原 英隆
		貿易総論A	2	大津 健登
		貿易総論B	2	大津 健登
	1	ビジネス・インサイト	2	高野 公三子
				松尾 隆策
				山崎 京子
				齋藤 美和子
	1	商学入門	2	畑農 鋭矢
	1	商学研究入門	2	王 志
	1~4	Essentials of Commerce A	2	山崎 京子
		Essentials of Commerce B	2	山崎 京子
	2	特別テーマ演習科目(基本科目)A	2	開講せず
		特別テーマ演習科目(基本科目)B	2	
	1~4	特別認定科目(基本科目)	2	
	2	商学専門演習(2年)	2	演習室案内、Oh-o!Meiji 公開シラバス参照

区分		配 当 年 次	授業科目	単 位 数	担 当 者
基 幹 科 目	アプライド・エコノミ クスコース	3 ・ 4	経済政策論A	2	山田 知明
			経済政策論B	2	山田 知明
			公共経済学	2	畑農 鋭矢
			財政学	2	畑農 鋭矢
			中小企業論A	2	樋渡 雅幸
			中小企業論B	2	樋渡 雅幸
			産業組織論A	2	海老名 剛
			産業組織論B	2	海老名 剛
			国際経済学A	2	高浜 光信
			国際経済学B	2	高浜 光信
			日本経済論A	2	開講せず
			日本経済論B	2	
			環境経済学A	2	赤石 秀之
			環境経済学B	2	赤石 秀之
			計量経済学A	2	水野 勝之
			計量経済学B	2	水野 勝之
			ゲーム理論 A	2	阿武 秀和
			ゲーム理論 B	2	阿武 秀和
			金融論A	2	小原 英隆
				2	土屋 陽一
			金融論B	2	小原 英隆
				2	土屋 陽一
			国際金融論A	2	太田 壘
			国際金融論B	2	太田 壘
			貿易論A	2	所 康弘
			貿易論B	2	所 康弘
			世界経済論A	2	小林 尚朗
			世界経済論B	2	小林 尚朗
			労使関係論A	2	久保 隆光
			労使関係論B	2	久保 隆光
			企業論 (*15)	2	會澤 綾子
			日本経営史 (*16)	2	円城寺 敬浩
			公益事業論A	2	大塚 良治
			公益事業論B	2	大塚 良治
			経営情報システム論A	2	村田 潔
			経営情報システム論B	2	村田 潔
			企業と環境問題	2	森永 由紀
			中国政治経済論	2	村上 太輝夫
			東南アジア政治経済論	2	鳥居 高
			産業立地論	2	中川 秀一
			経済予測入門A (*17)	2	蟹澤 啓輔
			経済予測入門B (*18)	2	蟹澤 啓輔

区分		配 当 年 次	授業科目	単 位 数	担当者
基 幹 科 目	マーケティングコース	3 ・ 4	商業経営論A	2	菊池 一夫
			商業経営論B	2	菊池 一夫
			マーケティング管理論A	2	加藤 拓巳
			マーケティング管理論B	2	加藤 拓巳
			市場調査論A	2	福田 康典
			市場調査論B	2	福田 康典
			広告論A (*3)	2	竹内 亮介
			広告論B (*4)	2	竹内 亮介
			インダストリアルマーケティング論A (*5)	2	中 麻弥美
			インダストリアルマーケティング論B (*6)	2	中 麻弥美
			商品学A	2	高橋 昭夫
				2	上原 義子
			商品学B	2	高橋 昭夫
				2	上原 義子
			流通史A (*7)	2	若林 幸男
			流通史B (*8)	2	若林 幸男
			消費者行動論A (*9)	2	佐藤 平国
			消費者行動論B (*10)	2	佐藤 平国
			マーケティング企画A	2	高橋 昭夫
				2	福田 康典
				2	袁 琳
				2	佐藤 敏久
				2	劉 亜水
			マーケティング企画B	2	高橋 昭夫
				2	福田 康典
				2	袁 琳
				2	佐藤 敏久
				2	劉 亜水
			競争戦略論A	2	山崎 喜代宏
			競争戦略論B	2	山崎 喜代宏
			交通論A	2	藤井 秀登
			交通論B	2	藤井 秀登
			物的流通論A	2	水谷 淳
			物的流通論B	2	水谷 淳
			国際交通論A	2	町田 一兵
			国際交通論B	2	町田 一兵
			都市・地域交通論A	2	恩田 睦
			都市・地域交通論B	2	恩田 睦
			公益事業論A	2	大塚 良治
			公益事業論B	2	大塚 良治
			観光事業論A	2	藤井 秀登
			観光事業論B	2	藤井 秀登
			産業組織論A	2	海老名 剛
			産業組織論B	2	海老名 剛
			情報管理論A	2	山下 洋史
			情報管理論B	2	山下 洋史
			国際マーケティング論A	2	鈴木 仁里
				2	深澤 琢也
			国際マーケティング論B	2	鈴木 仁里
				2	深澤 琢也
			流通システム論A	2	原 頼利
			流通システム論B	2	原 頼利
			クリエイティブ・マーケティング論A	2	水野 誠
			クリエイティブ・マーケティング論B	2	水野 誠

区分		配 当 年 次	授業科目	単 位 数	担当者
基 幹 科 目	ファイナンス&イン シュアランスコース	3 ・ 4	金融論A	2	小原 英隆
				2	土屋 陽一
			金融論B	2	小原 英隆
				2	土屋 陽一
			コーポレート・ファイナンスA	2	開講せず
			コーポレート・ファイナンスB	2	
			金融機関論A	2	伊藤 隆康
			金融機関論B	2	伊藤 隆康
			国際金融論A	2	太田 壘
			国際金融論B	2	太田 壘
			金融取引論A	2	萩原 統宏
			金融取引論B	2	萩原 統宏
			証券市場論A	2	野田 顕彦
			証券市場論B	2	野田 顕彦
			機関投資家論A	2	三和 裕美子
			機関投資家論B	2	三和 裕美子
			保険学A	2	中林 真理子
			保険学B	2	中林 真理子
			損害保険論A	2	藤井 陽一朗
			損害保険論B	2	藤井 陽一朗
			生命保険論	2	内藤 和美
			社会保障論A	2	畔上 秀人
			社会保障論B	2	畔上 秀人
			保険リスクマネジメント論A	2	浅井 義裕
			保険リスクマネジメント論B	2	浅井 義裕
			ゲーム理論 A	2	阿武 秀和
			ゲーム理論 B	2	阿武 秀和
			会計情報論A	2	名越 洋子
			会計情報論B	2	名越 洋子
			ベンチャー・ファイナンスA (*19)	2	姜 理恵
			ベンチャー・ファイナンスB (*20)	2	姜 理恵

区分		配 当 年 次	授業科目	単 位 数	担当者
基 幹 科 目	グローバル・ビジネスコース	3 ・ 4	貿易論A	2	所 康弘
			貿易論B	2	所 康弘
			国際マーケティング論A	2	鈴木 仁里
				2	深澤 琢也
			国際マーケティング論B	2	鈴木 仁里
				2	深澤 琢也
			貿易商務論A	2	大津 健登
			貿易商務論B	2	大津 健登
			貿易政策論A	2	深澤 光樹
			貿易政策論B	2	深澤 光樹
			ビジネス英語A	2	中谷 安男
			ビジネス英語B	2	中谷 安男
			バーバル・ビジネス英語A	2	塩澤 恵理
			バーバル・ビジネス英語B	2	塩澤 恵理
			国際ビジネス交渉論A	2	蒙 萌
			国際ビジネス交渉論B	2	蒙 萌
			北米地域市場論	2	朝比奈 剛
			欧州地域市場論	2	道満 治彦
			中南米地域市場論	2	所 康弘
			アジア・太平洋地域市場論	2	朱 永浩
			世界経済論A	2	小林 尚朗
			世界経済論B	2	小林 尚朗
			国際経済学A	2	高浜 光信
			国際経済学B	2	高浜 光信
			国際金融論A	2	太田 壘
			国際金融論B	2	太田 壘
			国際交通論A	2	町田 一兵
			国際交通論B	2	町田 一兵
			物的流通論A	2	水谷 淳
			物的流通論B	2	水谷 淳
			国際経営論A	2	内堀 敬則
				2	鷺見 淳
			国際経営論B	2	内堀 敬則
				2	鷺見 淳

区分		配 当 年 次	授業科目	単 位 数	担 当 者
基 幹 科 目	マ ネ ジ メ ン ト コ ー ス	3 ・ 4	経営戦略論A	2	西 剛広
				2	近藤 光
			経営戦略論B	2	西 剛広
				2	近藤 光
			生産管理論A	2	富野 貴弘
			生産管理論B	2	富野 貴弘
			情報管理論A	2	山下 洋史
			情報管理論B	2	山下 洋史
			経営情報システム論A	2	村田 潔
			経営情報システム論B	2	村田 潔
			経営組織論 (*11)	2	佐藤 香織
			経営労務論 (*12)	2	佐藤 香織
			労使関係論A	2	久保 隆光
			労使関係論B	2	久保 隆光
			経営管理論 (*13)	2	會澤 綾子
			産業心理学 (*14)	2	東海 詩帆
			経営哲学	2	出見世 信之
			経営倫理	2	水村 典弘
			企業論 (*15)	2	會澤 綾子
			日本経営史 (*16)	2	円城寺 敬浩
			国際経営論A	2	内堀 敬則
				2	鷺見 淳
			国際経営論B	2	内堀 敬則
				2	鷺見 淳
			ゲーム理論 A	2	阿武 秀和
			ゲーム理論 B	2	阿武 秀和
			保険リスクマネジメント論A	2	浅井 義裕
			保険リスクマネジメント論B	2	浅井 義裕
			企業評価論A	2	奈良 沙織
			企業評価論B	2	奈良 沙織
			企業と倫理A	2	出見世 信之
			企業と倫理B	2	金子 裕介
			ベンチャービジネス論	2	久米 信行
			クリエイティブ・マーケティング論A	2	水野 誠
			クリエイティブ・マーケティング論B	2	水野 誠
			ファッション・ビジネス論A	2	小野瀬 慶子
			ファッション・ビジネス論B	2	小野瀬 慶子

区分		配 当 年 次	授業科目	単 位 数	担当者
基 幹 科 目	アカウンティングコ ース	3 ・ 4	財務会計論A	2	姚 俊
			財務会計論B	2	島田 佳憲
			原価計算論A	2	千葉 修身
			原価計算論B	2	千葉 修身
			意思決定会計論A	2	前田 陽
			意思決定会計論B	2	前田 陽
			業績管理会計論A	2	王 志
			業績管理会計論B	2	王 志
			監査論A	2	加藤 達彦
			監査論B	2	加藤 達彦
			経営分析論A	2	王 志
			経営分析論B	2	王 志
			税務会計論A	2	神田 良介
			税務会計論B	2	神田 良介
			国際会計論A	2	山本 昌弘
			国際会計論B	2	山本 昌弘
			会計情報論A	2	名越 洋子
			会計情報論B	2	名越 洋子
			企業評価論A	2	奈良 沙織
			企業評価論B	2	奈良 沙織
			企業法A	2	秋坂 朝則
			企業法B	2	秋坂 朝則
			租税法A	2	松原 有里
			租税法B	2	松原 有里
			コーポレート・ファイナンスA	2	開講せず
			コーポレート・ファイナンスB	2	
			金融取引論A	2	萩原 統宏
			金融取引論B	2	萩原 統宏
			実践会計論A	2	山口 不二夫
			実践会計論B	2	富田 竜一

区分		配 当 年 次	授業科目	単 位 数	担 当 者
基 幹 科 目	クリエイティブ・ビジネスコース	3 ・ 4	異文化間コミュニケーション論	2	加藤 健太
			バイオテクノロジーとバイオビジネス	2	浅賀 宏昭
			企業と倫理A	2	出見世 信之
			企業と倫理B	2	金子 裕介
			企業と環境問題	2	森永 由紀
			メディアとリテラシー	2	滝口 直樹
			中国政治経済論	2	村上 太輝夫
			東南アジア政治経済論	2	鳥居 高
			スポーツビジネス論	2	澤井 和彦
			レジャービジネス論	2	野澤 智行
			産業立地論	2	中川 秀一
			経済予測入門A (*17)	2	蟹澤 啓輔
			経済予測入門B (*18)	2	蟹澤 啓輔
			流通システム論A	2	原 頼利
			流通システム論B	2	原 頼利
			ベンチャー・ファイナンスA (*19)	2	姜 理恵
			ベンチャー・ファイナンスB (*20)	2	姜 理恵
			e-ビジネスA	2	上原 衛
			e-ビジネスB	2	上原 衛
			ビジネス法務A	2	片山 史英
			ビジネス法務B	2	中川 達也
			ベンチャービジネス論	2	久米 信行
			実践会計論A	2	山口 不二夫
			実践会計論B	2	富田 竜一
			クリエイティブ・マーケティング論A	2	水野 誠
			クリエイティブ・マーケティング論B	2	水野 誠
			ファッション・ビジネス論A	2	小野瀬 慶子
			ファッション・ビジネス論B	2	小野瀬 慶子
			消費者行動論A (*9)	2	佐藤 平国
			消費者行動論B (*10)	2	佐藤 平国
			ビジネス英語A	2	中谷 安男
			ビジネス英語B	2	中谷 安男
			経営戦略論A	2	西 剛広
				2	近藤 光
			経営戦略論B	2	西 剛広
				2	近藤 光
			企業評価論A	2	奈良 沙織
			企業評価論B	2	奈良 沙織
	基幹英語科目	3	外国専門書講読	2	別表Ⅳ
		3 ・ 4	Applied Commerce A	2	臼井 哲也
			Applied Commerce B	2	臼井 哲也
		1~4	特別認定科目(基幹英語科目)	2	
	商学専門演習	3 ・ 4	商学専門演習	2	演習室案内、Oh-o!Meiji 公開シラバス参照 ※単位取扱いには P35 参照
				2	
		3・4	特別テーマ演習科目(基幹科目)C	2	開講せず
			特別テーマ演習科目(基幹科目)D	2	
		3	卒論指導科目C	2	開講せず
			卒論指導科目D	2	
	特別認定科目(基幹科目)	1~4	特別認定科目(基幹科目)	2	

区分	配 当 年 次	授業科目	単 位 数	担当者
応用展開科目	1 5 4	総合講座A	2	学部間共通総合講座シラ バス参照
		総合講座B	2	
		総合講座C	2	
		総合講座D	2	
	1 ・ 2	会計特殊講義A	2	吉川 信將
		会計特殊講義B	2	小松 義明
	1 5 4	特別テーマ実践科目A	2	Oh-o!Meiji 公開シラバス参照
		特別テーマ実践科目B	2	
		特別テーマ実践科目C	2	
		特別テーマ実践科目D	2	
	1 5 4	特別テーマ研究科目A	2	Oh-o!Meiji 公開シラバス参照
		特別テーマ研究科目B	2	
		特別テーマ研究科目C	2	
		特別テーマ研究科目D	2	
		特別テーマ研究科目 E	2	開講せず
		特別テーマ研究科目 F	2	
	1 5 4	特別テーマ海外研修科目A	2	開講せず
		特別テーマ海外研修科目B	2	Oh-o!Meiji 公開シラバス参照
		特別テーマ海外研修科目C	2	
		特別テーマ海外研修科目D	2	開講せず
	1 5 4	地域活性化システム論A	2	松尾 隆策
		地域活性化システム論B	2	樋渡 雅幸
	3 ・ 4	外国文化・言語特殊講義A	2	開講せず
		外国文化・言語特殊講義B	2	
	3	ジョブ・インターンシップ	2	開講せず
	上記以外の応用展開科目は今年度は開講せず			

区分	配 当 年 次	授業科目	単 位 数	担当者
その他	1 ・ 2	憲法A	2	江藤 英樹
		憲法B	2	江藤 英樹
	3 ・ 4	民法A	2	戸田 知行
		民法B	2	戸田 知行
		商法A	2	陳 亮
		商法B	2	陳 亮
		労働法A	2	小林 大祐
		労働法B	2	小林 大祐
	1 ・ 2 ・ 3 ・ 4 (2023・2024年度入学者)	ICT エレメンタリー	2	情報関係科目シラバス参照 ※2024 年度以前入学者と 2025 年度入学者で履修で きる科目が異なります。 詳細はシラバスで確認して ください。
		ICT ベーシック I	2	
		ICT ベーシック II	2	
		ICT 統計解析 I	2	
		ICT 統計解析 II	2	
		ICT データベース I	2	
		ICT データベース II	2	
		ICT メディア編集 I	2	
		ICT メディア編集 II	2	
		ICT アプリ開発 I	2	
		ICT アプリ開発 II	2	
		ICT コンテンツデザイン I	2	
		ICT コンテンツデザイン II	2	
		ICT 総合実践 I	2	
		ICT 総合実践 II	2	
	1 ・ 2 ・ 3 ・ 4 (2025年度入学者)	ICT ベーシック	2	
		ICT 統計解析入門	2	
		ICT 統計解析応用	2	
		ICT データベース入門	2	
		ICT データベース応用	2	
		ICT 画像編集入門	2	
		ICT 画像編集応用	2	
		ICT 動画編集入門	2	
		ICT 動画編集応用	2	
		ICT 音楽編集入門	2	
		ICT 音楽編集応用	2	
		ICT プログラミング入門	2	
		ICT プログラミング応用	2	
		ICTWeb ページ作成	2	
		ICTe ラーニングデザイン入門	2	
		ICTe ラーニングデザイン応用	2	
		ICT プレゼンテーション	2	

区分	配 当 年 次	授業科目	単 位 数	担当者
資格課程科目	1 5 4	日本史概論	2	資格課程関係科目シラバス参照 ※資格課程対象者のみ履修可 ※2017 年度以降入学者で資格課程履修者は、8 単位まで卒業要件に含めることができる。
		東洋史概論	2	
		西洋史概論	2	
		人文地理学概論	2	
		自然地理学概論	2	
		地誌学概論	2	
		法律学概論	2	
		政治学概論	2	
		哲学概論	2	
		倫理学概論	2	
		職業指導	2	
グローバル人材育成プログラム	グローバル人材育成プログラムシラバス参照 ※卒業要件単位に含めることができる(フリーゾーン)P95 参照			
学部間共通外国語科目	学部間共通外国語シラバス参照 ※卒業要件に含まれない			
大学院 商学研究科 設置科目	4		大学院シラバス参照 ※卒業要件に含まれない	
専門職大学院 会計専門職研究科 設置科目	4		専門職大学院シラバス参照 ※卒業要件に含まれない	

Ⅳ－Ⅱ． 2022 年度以前カリキュラム 卒業要件と科目一覧

1.卒業要件(2022 年度以前入学者)

科目群			単位数		備考
基礎教育科目	基礎演習	必修	2	8	
	文章表現	必修	2		
	経済学A	必修	2		
	経済学B	必修	2		
外国語科目	既習外国語	必修	8		英語
		選択	フリーゾーン(任意選択科目)		
	初習外国語	必修	8		1カ国語を選択
		選択	フリーゾーン(任意選択科目)		
総合教育科目	文化と芸術		4	24	総合教育科目の3分野から4単位以上を含め、総合教育科目と総合学際演習から合計 24単位以上。留学生は「日本事情A ～ F」のうち8単位を含めることができる
	地域と社会		4		
	人間と自然		4		
総合学際演習	総合学際演習				
保健体育科目		必修	2		「体育・スポーツ実習A・B」は必修科目
		選択	フリーゾーン(任意選択科目)		
基本科目			16		
基幹科目	自コース科目		28	48	自コースの「外国専門書講読(春・秋)4単位を含め28単位以上かつ、自コース科目・他コース科目・商学専門演習を合わせて48単位以上
	他コース科目				
商学専門演習	商学専門演習				
応用展開科目			フリーゾーン(任意選択科目)20単位 ※基礎教育科目・必修語学を除く科目群から各要件単位を超えて修得した単位はフリーゾーン(任意選択科目)となる。		
その他					
資格課程関係科目 (8単位まで※2017年度以降入学者のみ)					
他学部履修科目					
学部間共通外国語 国際協力人材育成プログラム 日本ASEAN相互理解プログラム グローバル人材育成プログラム (4単位まで※2018年度以降入学者のみ)					
合 計			134		

注意事項

- 卒業に必要な単位数は、134 単位以上とする。
- 各科目群の必要な単位数を、満たすこと。
 - 「文化と芸術」、「地域と社会」及び「人間と自然」の 3 分野からそれぞれ最低 4 単位ずつ、合計 24 単位以上を修得しなければならない。
 - 総合学際演習の修得単位は、総合教育科目の単位数に含めることができる。
 - 基幹科目は、選択したコース科目のうちから、各コースの外国専門書講読(必修、春学期・秋学期各2単位の計4単位)を含め 28 単位以上と、自コース科目・他コース科目・商学専門演習の単位を合わせて、48 単位以上を修得しなければならない。なお、入学年度によって自コース科目が一部異なるので、注意すること。自コースの基幹科目は、P64 以降の授業科目を参照すること。
- 基礎教育科目・必修外国語科目を除く科目群から各要件単位を超えて修得した科目をフリーゾーン(任意選択科目)とし、20 単位を卒業要件とする。
例)卒業までに、基本科目を 20 単位修得した場合、「基本科目の卒業までに必要な単位である 16 単位」を差し引いた 4 単位がフリーゾーンとして卒業要件に算入される
- 4 年次においては、最低 12 単位以上を修得しなければならない。この単位は新規履修・再履修の区別なく卒業要件科目のうちから修得すること。この条件が満たされない場合、たとえ他の卒業要件が全て満たされても卒業することができない。また、この条件で原級した者は、残りの単位を修得しなければならない。

2. 2022 年度以前入学者授業科目及び担当者一覧表

入学年度のカリキュラムにより履修できない科目や、一部科目名称、単位数が異なる場合があります（＊印）。
2021 年度以前入学者においては、以下の一覧表とともに、P74 の「科目名対照表（2021 年度以前入学者用）」および別途配布する時間割表を確認してください。

メディア授業科目については、Oh-o!Meiji システムで確認してください。科目名称の末尾に〔M〕が表示されている科目がメディア授業科目になります。また、対面授業科目でも、メディア授業を実施する科目がございますので、シラバスをご確認ください。メディア授業科目は、60 単位を超えない範囲で、卒業の要件として修得すべき単位数に算入することができます。

区分	配当年次	授業科目	単位数	担当者
基礎教育科目	1	基礎演習	2	別表Ⅰ
		文章表現	2	別表Ⅱ
		経済学A	2	海老名 剛
		経済学B	2	山田 知明
総合教育科目	文化と芸術 1・2	日本文化史A	2	清水 克行
		日本文化史B	2	清水 克行
		西洋文化史A	2	北田 葉子
		西洋文化史B	2	北田 葉子
		日本語表現論A	2	石出 靖雄
				片山 久留美
		日本語表現論B	2	石出 靖雄
				片山 久留美
		日本近代文学A	2	永井 善久
				西山 春文
		日本近代文学B	2	永井 善久
				西山 春文
		日本古典文学A	2	中村 成里
		日本古典文学B	2	中村 成里
		宗教学 A	2	開講せず
		宗教学 B	2	
	3・4	外国文学(西洋)A	2	開講せず
		外国文学(西洋)B	2	
		外国文学(東洋)A	2	開講せず
		外国文学(東洋)B	2	
		芸術(音楽)A	2	宮川 渉
		芸術(音楽)B	2	宮川 渉
		芸術(美術)A	2	新保 淳乃
		芸術(美術)B	2	新保 淳乃

区分		配 当 年 次	授業科目	単 位 数	担当者
総合 教 育 科 目	地域と社会	1 ・ 2	法学A	2	池田 武央
			法学B	2	池田 武央
			アジア史A	2	鳥居 高
			アジア史B	2	鳥居 高
			地理学A	2	中川 秀一
			地理学B	2	中川 秀一
			社会学A	2	木村 至聖
			社会学B	2	木村 至聖
			社会思想史A	2	清水 明美
			社会思想史B	2	清水 明美
		3 ・ 4	日本思想史A	2	開講せず
			日本思想史B	2	
			政治学A	2	三森 ちかし
			政治学B	2	三森 ちかし
			人類学A	2	河野 正治
			人類学B	2	河野 正治
	人間と自然	1 ・ 2	哲学A	2	清水 真木
			哲学B	2	清水 真木
			自然科学概論A	2	森永 由紀
			自然科学概論B	2	亀山 浩文
			生命科学A	2	浅賀 宏昭
			生命科学B	2	浅賀 宏昭
			線型数学A	2	鴨井 祐二
			線型数学B	2	鴨井 祐二
			解析数学A	2	鴨井 祐二
			解析数学B	2	鴨井 祐二
			化学A	2	久富木 志郎
			化学B	2	久富木 志郎
			言語学A	2	吉田 浩美
			言語学B	2	吉田 浩美
			論理学A	2	金子 裕介
			論理学B	2	金子 裕介
			心理学A	2	佐々木 美加
			心理学B	2	佐々木 美加
		3 ・ 4	物理学A	2	洞口 拓磨
			物理学B	2	洞口 拓磨
			環境科学A	2	森永 由紀
			環境科学B	2	工藤 泰子

区分			配当年次	授業科目	単位数	担当者
外国人留学生のための科目			1・2	日本事情A	2	兼子 歩
				日本事情B	2	開講せず
				日本事情C	2	
				日本事情D	2	
				日本事情E	2	森永 由紀
総合学際演習			2	総合学際演習	2	演習室案内、Oh-o!Meiji 公開シラバス参照
			3		2	
			4		2	
外国語科目	既習外国語	必修	1・2	口語英語Ⅰ	1	別表Ⅲ-①
				口語英語Ⅱ	1	
				英語講読Ⅰ	1	
				英語講読Ⅱ	1	
				基礎英語Ⅰ	1	井出 新
						石黒 太郎
						瀧口 美香
						岡田 優子
				基礎英語Ⅱ	1	井出 新
						石黒 太郎
						瀧口 美香
						岡田 優子
				上級英語Ⅰ	1	石黒 太郎
						海田 皓介
						加藤 健太
						小宮 彩加
						今野 史昭
						ジェームズ, アンドリュー S.
						高橋 三和子
						中島 渉
				上級英語Ⅱ	1	ルブレクト, ブライアン G.
						石黒 太郎
						海田 皓介
						加藤 健太
						小宮 彩加
						今野 史昭
						ジェームズ, アンドリュー S.
						高橋 三和子
						中島 渉
						ルブレクト, ブライアン G.
	選択	3・4		発展英語	1	ルブレクト, ブライアン G.
					1	佐藤 寛子

区分			配 当 年 次	授業科目	単 位 数	担当者
外国語科目	初習外国語	必修	1	初級ドイツ語Ⅰ	1	別表Ⅲ-②
				初級ドイツ語Ⅱ	1	
				初級ドイツ語Ⅲ	1	
				初級ドイツ語Ⅳ	1	
			2	中級ドイツ語Ⅰ	1	別表Ⅲ-②
				中級ドイツ語Ⅱ	1	
				中級ドイツ語Ⅲ	1	
				中級ドイツ語Ⅳ	1	
			1・2	特別ドイツ語Ⅰ	1	シラバス等は別途指示する
				特別ドイツ語Ⅱ	1	
				特別ドイツ語Ⅲ	1	
				特別ドイツ語Ⅳ	1	
			1	初級フランス語Ⅰ	1	別表Ⅲ-③
				初級フランス語Ⅱ	1	
				初級フランス語Ⅲ	1	
				初級フランス語Ⅳ	1	
			2	中級フランス語Ⅰ	1	別表Ⅲ-③
				中級フランス語Ⅱ	1	
				中級フランス語Ⅲ	1	
				中級フランス語Ⅳ	1	
			1・2	特別フランス語Ⅰ	1	シラバス等は別途指示する
				特別フランス語Ⅱ	1	
				特別フランス語Ⅲ	1	
				特別フランス語Ⅳ	1	
			1	初級中国語Ⅰ	1	別表Ⅲ-④
				初級中国語Ⅱ	1	
				初級中国語Ⅲ	1	
				初級中国語Ⅳ	1	
			2	中級中国語Ⅰ	1	別表Ⅲ-④
				中級中国語Ⅱ	1	
				中級中国語Ⅲ	1	
				中級中国語Ⅳ	1	
			1	初級韓国語Ⅰ	1	別表Ⅲ-⑤
				初級韓国語Ⅱ	1	
				初級韓国語Ⅲ	1	
				初級韓国語Ⅳ	1	
			2	中級韓国語Ⅰ	1	別表Ⅲ-⑤
				中級韓国語Ⅱ	1	
				中級韓国語Ⅲ	1	
				中級韓国語Ⅳ	1	

区分			配 当 年 次	授業科目	単 位 数	担当者
外国語科目	初習外国語	必修	1	初級スペイン語Ⅰ	1	別表Ⅲ-⑥
				初級スペイン語Ⅱ	1	
				初級スペイン語Ⅲ	1	
				初級スペイン語Ⅳ	1	
			2	中級スペイン語Ⅰ	1	別表Ⅲ-⑥
				中級スペイン語Ⅱ	1	
				中級スペイン語Ⅲ	1	
				中級スペイン語Ⅳ	1	
			1	初級ロシア語Ⅰ	1	シラバス等は別途指示する
				初級ロシア語Ⅱ	1	
				初級ロシア語Ⅲ	1	
				初級ロシア語Ⅳ	1	
			2	中級ロシア語Ⅰ	1	シラバス等は別途指示する
				中級ロシア語Ⅱ	1	
				中級ロシア語Ⅲ	1	
				中級ロシア語Ⅳ	1	
			1・2	日本語 ※外国人留学生のみ履修可	1	日本語シラバス参照
		選択	1	初級ドイツ語プラスワン	1	渡辺 徳美
			2	中級ドイツ語プラスワン	1	渡辺 徳美
			3・4	上級ドイツ語	1	レンドラー ローマン ドミニク
			4	発展ドイツ語	1	ゲスナー ゲジーネ
			1	初級フランス語プラスワン	1	富塚 真理子
			2	中級フランス語プラスワン	1	高山 典子
			3・4	上級フランス語	1	松原 陽子
			4	発展フランス語	1	安原 伸一朗
			1	初級中国語プラスワン	1	葉 紅
			2	中級中国語プラスワン	1	葉 紅
			3・4	上級中国語	1	水谷 尚子 江田 いづみ
			4	発展中国語	1	石井 知章
			1	初級韓国語プラスワン	1	高 成鳳
			2	中級韓国語プラスワン	1	李 興淑
			3・4	上級韓国語	1	高 成鳳
			4	発展韓国語	1	桔川 純子
			2	初級スペイン語プラスワン	1	開講せず
			2	中級スペイン語プラスワン	1	
			3・4	上級スペイン語	1	松尾 俊輔
			4	発展スペイン語	1	開講せず
保健体育科目		必修	1	体育・スポーツ実習 A	1	別表Ⅲ-⑦、Oh-o!Meiji 公開シラバスおよび選択体育実技パンフレットシラバス参照
				体育・スポーツ実習 B	1	
		選択	2	選択スポーツ実習	1	
			2～4	選択集中スポーツ実習	1	
			1・2	スポーツとグローバル化	2	澤井 和彦
			2	スポーツと健康	2	阿部 巧

区分	配 当 年 次	授業科目	単 位 数	担当者
基本科目	1 ・ 2	ミクロ経済学	2	阿武 秀和
		マクロ経済学	2	賈 執孝
		理論経済学A	2	吉岡 努
		理論経済学B	2	吉岡 努
		経済史A (*1)	2	井上 達樹
		経済史B (*2)	2	井上 達樹
		商業総論A	2	竹村 正明
			2	庄司 真人
		商業総論B	2	竹村 正明
			2	庄司 真人
		経営学総論A	2	會澤 綾子
			2	水村 典弘
		経営学総論B	2	會澤 綾子
			2	水村 典弘
		簿記学A	2	神田 良介
			2	渡邊 雅雄
			2	葛 暁鵬
			2	吉沢 壮二郎
			2	渡邊 智
		簿記学B	2	神田 良介
			2	渡邊 雅雄
			2	葛 暁鵬
			2	吉沢 壮二郎
			2	渡邊 智
		会計学総論A	2	梅原 秀継
		会計学総論B	2	前田 陽
		統計学A	2	小林 弦矢
		統計学B	2	小林 弦矢
		金融総論A	2	小原 英隆
		金融総論B	2	小原 英隆
		貿易総論A	2	大津 健登
		貿易総論B	2	大津 健登

区分		配 当 年 次	授業科目	単 位 数	担 当 者
基 幹 科 目	アプライド・エコノミ クスコース	3 ・ 4	経済政策論A	2	山田 知明
			経済政策論B	2	山田 知明
			公共経済学	2	畑農 鋭矢
			財政学	2	畑農 鋭矢
			中小企業論A	2	樋渡 雅幸
			中小企業論B	2	樋渡 雅幸
			産業組織論A	2	海老名 剛
			産業組織論B	2	海老名 剛
			国際経済学A	2	高浜 光信
			国際経済学B	2	高浜 光信
			日本経済論A	2	開講せず
			日本経済論B	2	
			環境経済学A	2	赤石 秀之
			環境経済学B	2	赤石 秀之
			計量経済学A	2	水野 勝之
			計量経済学B	2	水野 勝之
			金融論A	2	小原 英隆
				2	土屋 陽一
			金融論B	2	小原 英隆
				2	土屋 陽一
			国際金融論A	2	太田 壘
			国際金融論B	2	太田 壘
			貿易論A	2	所 康弘
			貿易論B	2	所 康弘
			世界経済論A	2	小林 尚朗
			世界経済論B	2	小林 尚朗
			労使関係論A	2	久保 隆光
			労使関係論B	2	久保 隆光
			企業論 (*15)	2	會澤 綾子
			日本経営史 (*16)	2	円城寺 敬浩
			公益事業論A	2	大塚 良治
			公益事業論B	2	大塚 良治
			経営情報システム論A	2	村田 潔
			経営情報システム論B	2	村田 潔
			企業と環境問題	2	森永 由紀
			中国政治経済論	2	村上 太輝夫
			東南アジア政治経済論	2	鳥居 高
			産業立地論	2	中川 秀一
			経済予測入門A (*17)	2	蟹澤 啓輔
			経済予測入門B (*18)	2	蟹澤 啓輔
		3	外国専門書講読	2	別表Ⅳ

区分		配 当 年 次	授 業 科 目	単 位 数	担 当 者
基 幹 科 目	マ ー ケ ー テ ィ ン グ コ ー ス	3 ・ 4	商業経営論A	2	菊池 一夫
			商業経営論B	2	菊池 一夫
			マーケティング管理論A	2	加藤 拓巳
			マーケティング管理論B	2	加藤 拓巳
			市場調査論A	2	福田 康典
			市場調査論B	2	福田 康典
			広告論A (*3)	2	竹内 亮介
			広告論B (*4)	2	竹内 亮介
			インダストリアルマーケティング論A (*5)	2	中 麻弥美
			インダストリアルマーケティング論B (*6)	2	中 麻弥美
			商品学A	2	高橋 昭夫
				2	上原 義子
			商品学B	2	高橋 昭夫
				2	上原 義子
			流通史A (*7)	2	若林 幸男
			流通史B (*8)	2	若林 幸男
			消費者行動論A (*9)	2	佐藤 平国
			消費者行動論B (*10)	2	佐藤 平国
			マーケティング企画A	2	高橋 昭夫
				2	福田 康典
				2	袁 琳
				2	佐藤 敏久
				2	劉 亜氷
			マーケティング企画B	2	高橋 昭夫
				2	福田 康典
				2	袁 琳
				2	佐藤 敏久
				2	劉 亜氷
			交通論A	2	藤井 秀登
			交通論B	2	藤井 秀登
			物的流通論A	2	水谷 淳
			物的流通論B	2	水谷 淳
			国際交通論A	2	町田 一兵
			国際交通論B	2	町田 一兵
			都市・地域交通論A	2	恩田 睦
			都市・地域交通論B	2	恩田 睦
			公益事業論A	2	大塚 良治
			公益事業論B	2	大塚 良治
			観光事業論A	2	藤井 秀登
			観光事業論B	2	藤井 秀登
			産業組織論A	2	海老名 剛
			産業組織論B	2	海老名 剛
			情報管理論A	2	山下 洋史
			情報管理論B	2	山下 洋史
			国際マーケティング論A	2	鈴木 仁里
				2	深澤 琢也
			国際マーケティング論B	2	鈴木 仁里
				2	深澤 琢也
			流通システム論A	2	原 頼利
			流通システム論B	2	原 頼利
			クリエイティブ・マーケティング論A	2	水野 誠
			クリエイティブ・マーケティング論B	2	水野 誠
		3	外国専門書講読	2	別表Ⅳ

区分		配 当 年 次	授業科目	単 位 数	担当者
基 幹 科 目	ファイナンス&イン シュアランスコース	3 ・ 4	金融論A	2	小原 英隆
				2	土屋 陽一
			金融論B	2	小原 英隆
				2	土屋 陽一
			コーポレート・ファイナンスA	2	開講せず
			コーポレート・ファイナンスB	2	
			金融機関論A	2	伊藤 隆康
			金融機関論B	2	伊藤 隆康
			国際金融論A	2	太田 壘
			国際金融論B	2	太田 壘
			金融取引論A	2	萩原 統宏
			金融取引論B	2	萩原 統宏
			証券市場論A	2	野田 顕彦
			証券市場論B	2	野田 顕彦
			機関投資家論A	2	三和 裕美子
			機関投資家論B	2	三和 裕美子
			保険学A	2	中林 真理子
			保険学B	2	中林 真理子
			損害保険論A	2	藤井 陽一朗
			損害保険論B	2	藤井 陽一朗
			生命保険論	2	内藤 和美
			社会保障論A	2	畔上 秀人
			社会保障論B	2	畔上 秀人
			保険リスクマネジメント論A	2	浅井 義裕
			保険リスクマネジメント論B	2	浅井 義裕
			会計情報論A	2	名越 洋子
			会計情報論B	2	名越 洋子
			ベンチャー・ファイナンスA (*19)	2	姜 理恵
			ベンチャー・ファイナンスB (*20)	2	姜 理恵
		3	外国専門書講読	2	別表Ⅳ

区分		配 当 年 次	授業科目	単 位 数	担当者
基 幹 科 目	グローバル・ビジネスコース	3 ・ 4	貿易論A	2	所 康弘
			貿易論B	2	所 康弘
			国際マーケティング論A	2	鈴木 仁里
				2	深澤 琢也
			国際マーケティング論B	2	鈴木 仁里
				2	深澤 琢也
			貿易商務論A	2	大津 健登
			貿易商務論B	2	大津 健登
			貿易政策論A	2	深澤 光樹
			貿易政策論B	2	深澤 光樹
			ビジネス英語A	2	中谷 安男
			ビジネス英語B	2	中谷 安男
			バーバル・ビジネス英語A	2	塩澤 恵理
			バーバル・ビジネス英語B	2	塩澤 恵理
			国際ビジネス交渉論A	2	蒙 萌
			国際ビジネス交渉論B	2	蒙 萌
			北米地域市場論	2	朝比奈 剛
			欧州地域市場論	2	道満 治彦
			中南米地域市場論	2	所 康弘
			アジア・太平洋地域市場論	2	朱 永浩
			世界経済論A	2	小林 尚朗
			世界経済論B	2	小林 尚朗
			国際経済学A	2	高浜 光信
			国際経済学B	2	高浜 光信
			国際金融論A	2	太田 壘
			国際金融論B	2	太田 壘
			国際交通論A	2	町田 一兵
			国際交通論B	2	町田 一兵
			物的流通論A	2	水谷 淳
			物的流通論B	2	水谷 淳
			国際経営論A	2	内堀 敬則
				2	鷺見 淳
			国際経営論B	2	内堀 敬則
				2	鷺見 淳
		3	外国専門書講読	2	別表Ⅳ

区分		配 当 年 次	授業科目	単 位 数	担 当 者
基 幹 科 目	マネジメントコース	3 ・ 4	経営戦略論A	2	西 剛広
				2	近藤 光
			経営戦略論B	2	西 剛広
				2	近藤 光
			生産管理論A	2	富野 貴弘
			生産管理論B	2	富野 貴弘
			情報管理論A	2	山下 洋史
			情報管理論B	2	山下 洋史
			経営情報システム論A	2	村田 潔
			経営情報システム論B	2	村田 潔
			経営組織論 (*11)	2	佐藤 香織
			経営労務論 (*12)	2	佐藤 香織
			労使関係論A	2	久保 隆光
			労使関係論B	2	久保 隆光
			経営管理論 (*13)	2	會澤 綾子
			産業心理学 (*14)	2	東海 詩帆
			経営哲学	2	出見世 信之
			経営倫理	2	水村 典弘
			企業論 (*15)	2	會澤 綾子
			日本経営史 (*16)	2	円城寺 敬浩
			国際経営論A	2	内堀 敬則
				2	鷺見 淳
			国際経営論B	2	内堀 敬則
				2	鷺見 淳
			保険リスクマネジメント論A	2	浅井 義裕
			保険リスクマネジメント論B	2	浅井 義裕
			企業評価論A	2	奈良 沙織
			企業評価論B	2	奈良 沙織
			企業と倫理A	2	出見世 信之
			企業と倫理B	2	金子 裕介
			ベンチャービジネス論	2	久米 信行
			クリエイティブ・マーケティング論A	2	水野 誠
			クリエイティブ・マーケティング論B	2	水野 誠
			ファッション・ビジネス論A	2	小野瀬 慶子
			ファッション・ビジネス論B	2	小野瀬 慶子
		3	外国専門書講読	2	別表Ⅳ

区分		配 当 年 次	授業科目	単 位 数	担当者
基 幹 科 目	アカウンティングコ ース	3 ・ 4	財務会計論A	2	姚 俊
			財務会計論B	2	島田 佳憲
			原価計算論A	2	千葉 修身
			原価計算論B	2	千葉 修身
			意思決定会計論A	2	前田 陽
			意思決定会計論B	2	前田 陽
			業績管理会計論A	2	王 志
			業績管理会計論B	2	王 志
			監査論A	2	加藤 達彦
			監査論B	2	加藤 達彦
			経営分析論A	2	王 志
			経営分析論B	2	王 志
			税務会計論A	2	神田 良介
			税務会計論B	2	神田 良介
			国際会計論A	2	山本 昌弘
			国際会計論B	2	山本 昌弘
			会計情報論A	2	名越 洋子
			会計情報論B	2	名越 洋子
			企業評価論A	2	奈良 沙織
			企業評価論B	2	奈良 沙織
			企業法A	2	秋坂 朝則
			企業法B	2	秋坂 朝則
			租税法A	2	松原 有里
			租税法B	2	松原 有里
			コーポレート・ファイナンスA	2	開講せず
			コーポレート・ファイナンスB	2	
			金融取引論A	2	萩原 統宏
			金融取引論B	2	萩原 統宏
			実践会計論A	2	山口 不二夫
			実践会計論B	2	富田 竜一
		3	外国専門書講読	2	別表Ⅳ

区分		配当年次	授業科目	単位数	担当者
基幹科目	クリエイティブ・ビジネスコース	3・4	異文化間コミュニケーション論	2	加藤 健太
			バイオテクノロジーとバイオビジネス	2	浅賀 宏昭
			企業と倫理A	2	出見世 信之
			企業と倫理B	2	金子 裕介
			企業と環境問題	2	森永 由紀
			メディアとリテラシー	2	滝口 直樹
			中国政治経済論	2	村上 太輝夫
			東南アジア政治経済論	2	鳥居 高
			スポーツビジネス論	2	澤井 和彦
			レジャービジネス論	2	野澤 智行
			産業立地論	2	中川 秀一
			経済予測入門A (*17)	2	蟹澤 啓輔
			経済予測入門B (*18)	2	蟹澤 啓輔
			流通システム論A	2	原 頼利
			流通システム論B	2	原 頼利
			ベンチャー・ファイナンスA (*19)	2	姜 理恵
			ベンチャー・ファイナンスB (*20)	2	姜 理恵
			e-ビジネスA	2	上原 衛
			e-ビジネスB	2	上原 衛
			ビジネス法務A	2	片山 史英
			ビジネス法務B	2	中川 達也
			ベンチャービジネス論	2	久米 信行
			実践会計論A	2	山口 不二夫
			実践会計論B	2	富田 竜一
			クリエイティブ・マーケティング論A	2	水野 誠
			クリエイティブ・マーケティング論B	2	水野 誠
			ファッション・ビジネス論A	2	小野瀬 慶子
			ファッション・ビジネス論B	2	小野瀬 慶子
			消費者行動論A (*9)	2	佐藤 平国
			消費者行動論B (*10)	2	佐藤 平国
			ビジネス英語A	2	中谷 安男
			ビジネス英語B	2	中谷 安男
			経営戦略論A	2	西 剛広
				2	近藤 光
			経営戦略論B	2	西 剛広
				2	近藤 光
			企業評価論A	2	奈良 沙織
			企業評価論B	2	奈良 沙織
	商学専門演習	3	外国専門書講読	2	別表Ⅳ
		2	商学専門演習	2	演習室案内、Oh-o!Meiji 公開シラバス参照 ※単位取扱いは P35 参照
		3		2	
		4		2	

区分	配 当 年 次	授業科目	単 位 数	担当者
応用展開科目	1	総合講座(商学入門)	2	畑農 鋭矢
	1・2	総合講座(商学研究入門)	2	王 志
	1	総合講座A(フューチャースキル講座)	2	高野 公三子
			2	松尾 隆策
			2	山崎 京子
			2	齋藤 美和子
	1 5 4	総合講座A	2	学部間共通総合講座シラ バス参照
		総合講座B	2	
		総合講座C	2	
		総合講座D	2	
	1 2	会計特殊講義A	2	吉川 信将
		会計特殊講義B	2	小松 義明
	1 5 4	Essentials of Commerce A	2	山崎 京子
		Essentials of Commerce B	2	山崎 京子
	3 4	Applied Commerce A	2	臼井 哲也
		Applied Commerce B	2	臼井 哲也
	1 5 4	特別テーマ実践科目A	2	Oh-o!Meiji 公開シラバス参照
		特別テーマ実践科目B	2	
		特別テーマ実践科目C	2	
		特別テーマ実践科目D	2	
	1 5 4	特別テーマ研究科目A	2	Oh-o!Meiji 公開シラバス参照
		特別テーマ研究科目B	2	
		特別テーマ研究科目C	2	
		特別テーマ研究科目D	2	
		特別テーマ研究科目E	2	開講せず
		特別テーマ研究科目F	2	
	1 5 4	特別テーマ海外研修科目A	2	開講せず
		特別テーマ海外研修科目B	2	Oh-o!Meiji 公開シラバス参照
		特別テーマ海外研修科目C	2	
		特別テーマ海外研修科目D	2	開講せず
	1 5 4	地域活性化システム論A	2	松尾 隆策
		地域活性化システム論B	2	樋渡 雅幸
	3 4	外国文化・言語特殊講義A	2	開講せず
		外国文化・言語特殊講義B	2	
	3	ジョブ・インターンシップ	2	開講せず
	上記以外の応用展開科目は今年度は開講せず			

区分	配当年次	授業科目	単位数	担当者
その他	1・2	憲法A	2	江藤 英樹
		憲法B	2	江藤 英樹
	3・4	民法A	2	戸田 知行
		民法B	2	戸田 知行
		商法A	2	陳 亮
		商法B	2	陳 亮
		労働法A	2	小林 大祐
		労働法B	2	小林 大祐
	1 5 4	ICT エレメンタリー	2	情報関係科目シラバス参照
		ICT ベーシックⅠ	2	
		ICT ベーシックⅡ	2	
		ICT 統計解析Ⅰ	2	
		ICT 統計解析Ⅱ	2	
		ICT データベースⅠ	2	
		ICT データベースⅡ	2	
		ICT メディア編集Ⅰ	2	
		ICT メディア編集Ⅱ	2	
		ICT アプリ開発Ⅰ	2	
		ICT アプリ開発Ⅱ	2	
		ICT コンテンツデザインⅠ	2	
		ICT コンテンツデザインⅡ	2	
		ICT 総合実践Ⅰ	2	
		ICT 総合実践Ⅱ	2	
資格課程科目	1 5 4	日本史概論	2	資格課程関係科目シラバス参照 ※資格課程対象者のみ履修可 ※2017 年度以降入学者で資格課程履修者は、8 単位まで卒業要件に含めることができる。
		東洋史概論	2	
		西洋史概論	2	
		人文地理学概論	2	
		自然地理学概論	2	
		地誌学概論	2	
		法律学概論	2	
		政治学概論	2	
		哲学概論	2	
		倫理学概論	2	
		職業指導	2	
グローバル人材育成プログラム	グローバル人材育成プログラムシラバス参照 ※修得単位数の取扱いは P95 参照			
学部間共通外国語科目	学部間共通外国語シラバス参照 ※修得単位数の取扱いは P95 参照			
大学院 商学研究科 設置科目	4		大学院シラバス参照 ※卒業要件に含まれない	
専門職大学院 会計専門職研究科 設置科目	4		専門職大学院シラバス参照 ※卒業要件に含まれない	

V. 全学年共通事項

科目名対照表(2021 年度以前入学者用)

2021 年度以前入学者は P58～72 と科目名や単位数等が異なっている場合があります。以下に入学年度のカリキュラムに応じた科目名や単位数を掲載します。該当の入学年度を確認して履修してください。

	2022年度以降入学者(P63～70の科目名)	2021年度入学者	2020年度以前入学者
*1	経済史A	欧米経済史	
*2	経済史B	アジア経済史	
*3	広告論A(2単位)	同左	広告論(4単位)
*4	広告論B(2単位)	同左	
*5	インダストリアルマーケティング論A (2単位)	同左	インダストリアルマ ーケティング論 (4単位)
*6	インダストリアルマーケティング論B (2単位)	同左	
*7	流通史A(2単位)	同左	流通史(4単位)
*8	流通史B(2単位)	同左	
*9	消費者行動論A(2単位)	同左	消費者行動論 (4単位)
*10	消費者行動論B(2単位)	同左	
*11	経営組織論	同左	経営労務論A
*12	経営労務論	同左	経営労務論B
*13	経営管理論	産業心理学A	
*14	産業心理学	産業心理学B	
*15	企業論	日本経営史A	
*16	日本経営史	日本経営史B	
*17	経済予測入門A(2単位)	同左	経済予測入門 (4単位)
*18	経済予測入門B(2単位)	同左	
*19	ベンチャー・ファイナンスA(2単位)	同左	ベンチャー・ファイナンス (4単位)
*20	ベンチャー・ファイナンスB(2単位)	同左	

必修科目担当予定者一覧表

別表Ⅰ

基礎演習担当者
阿武 秀和
石井 知章
石出 靖雄
伊藤 隆康
加藤 健太
北田 葉子
木村 至聖
姜 瑩
黒崎 典子
小林 弦矢
清水 真木
土屋 陽一
永井 善久
中村 成里
西山 春文
野田 顕彦
ハディ ハーニ
深澤 光樹
藤井 陽一朗
前田 陽
安原 伸一朗
山崎 京子
渡辺 徳美
洞口 拓磨
葛 暁鵬
李 雨テイ
呉 東錫
竹内 久美子
余 漢燮

別表Ⅱ

文章表現担当者
石出 靖雄
永井 善久
中村 成里
西山 春文
岡田 博子
唐澤 聖月
川島 みどり
武田 比呂男
長沼 英二
成田 大知
西谷 尚徳
野本 聡
羽矢 みずき
深津 謙一郎
柳澤 幹夫

英語担当予定者
別表Ⅲ-①

一 年	組		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	口語英語Ⅰ・Ⅱ	担当者	佐藤 寛子	大和久 悌一郎	杉本 文四郎	横田 保恵	トウ エン	加藤 匠	高松 麻里	伊藤 健一郎	の・フアリア	倉光 紀子	中川 千帆	長谷川 秀子	藤原 雅子	田中 茂彦	岡部 了也	高山 真梨子	本間 裕子
	英語講読Ⅰ・Ⅱ	担当者	北沢 格	山本 真司	熊谷 順子	岩本 和良	伊藤 左千夫	佐藤 寛子	加藤 匠	柏原 俊樹	内田 大貴	高橋 三和子	中島 渉	伊藤 健一郎	トウ エン	横田 保恵	小川 真理	高松 麻里	大和久 悌一郎
	組		18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	
	口語英語Ⅰ・Ⅱ	担当者	海田 皓介	江頭 浩樹	小川 真理	鷺尾 郁	濱田 啓志	伊藤 左千夫	岩本 和良	山本 真司	柏原 俊樹	北沢 格	熊谷 順子	トウ エン	田中 茂彦	加藤 匠	内田 大貴	中川 千帆	
二 年	英語講読Ⅰ・Ⅱ	担当者	江頭 浩樹	杉本 文四郎	藤原 雅子	中川 千帆	長谷川 秀子	松田 隆美	内田 大貴	済藤 葵	渡辺 賢一郎	佐藤 寛子	野地 薫	青木 敬子	花田 太平	野田 恵子	小泉 勇人	式町 真紀子	
	組		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	口語英語Ⅰ・Ⅱ	担当者	野地 薫	佐藤 寛子	渡辺 賢一郎	式町 真紀子	野田 恵子	青木 敬子	済藤 葵	小泉 勇人	♪ジエームズ	中川 千帆	トウ エン	三井 淳子	高松 麻里	鷺尾 郁	田中 茂彦	池田 しおり	濱田 啓志
	英語講読Ⅰ・Ⅱ	担当者	三井 淳子	高松 麻里	田中 茂彦	鷺尾 郁	濱田 啓志	中川 千帆	池田 しおり	伊藤 左千夫	岩本 和良	今野 史昭	鷺尾 郁	小峰 祥子	倉光 紀子	杉本 文四郎	内田 大貴	狩野 郁子	長谷川 秀子
	組		18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	
	口語英語Ⅰ・Ⅱ	担当者	清水 由布紀	玉川 明日美	堤 龍一郎	吉田 えりか	山下 理恵子	小峰 祥子	倉光 紀子	狩野 郁子	の・フアリア	久木田 直江	佐藤 寛子	野田 恵子	本間 裕子	田中 茂彦	蒔田 裕美	近野 幹結	
	英語講読Ⅰ・Ⅱ	担当者	松田 隆美	トウ エン	本間 裕子	山下 理恵子	田中 茂彦	近野 幹結	横田 保恵	蒔田 裕美	久木田 直江	野田 恵子	瀧口 美香	平野井 ちえ子	玉川 明日美	岡田 優子	トウ エン	清水 由布紀	

和泉(再履修)科目

石黒 太郎
海田 皓介
高橋 三和子
瀧口 美香

駿河台(再履修)科目

石井 英津子
瀧口 美香
本間 裕子

**ドイツ語担当予定者
別表Ⅲ-②**

一 年	組		1	2	3	4	5	6
	初級ドイツ語 Ⅰ・Ⅱ	担当者	長田 浩	長田 浩	渡辺 徳美	小松 真帆	広沢 絵里子	羽田野 まち子
	初級ドイツ語 Ⅲ・Ⅳ	担当者	ローマンロ レンドラー・	ローマンロ レンドラー・	シックハウス・ トビアス	シックハウス・ トビアス	オストヴァルト・ イエンス	オストヴァルト・ イエンス
二 年	組		1	2	3	4	5	6
	中級ドイツ語 Ⅰ・Ⅱ	担当者	渡辺 幸子	渡辺 幸子	羽田野 まち子	羽田野 まち子	出縄 祐介	出縄 祐介
	中級ドイツ語Ⅲ・Ⅳ (テーマ別選択)	内容	コミュニケーション ドイツ語	コミュニケーション ドイツ語	独検対策	時事ドイツ語	ドイツ文化講読	オーストリア 文化講読
		担当者	オストヴァルト・ イエンス	シックハウス トビアス	渡辺 徳美	広沢 絵里子	大類 京子	小松 真帆

和泉(再履修)科目

小松 真帆
出縄 祐介
渡辺 幸子

駿河台(再履修)科目

小松 真帆
出縄 祐介
大類 京子

フランス語担当予定者
別表Ⅲ-③

一 年	組		7	8	9	10	11	12	13
	初級フランス語 Ⅰ・Ⅱ	担当者	明石 伸子	森 真太郎	安原 伸一朗	森 真太郎	高山 典子	浅間 哲平	安原 伸一朗
	初級フランス語 Ⅲ・Ⅳ	担当者	ドナティ・ジャン・アレキシ	クロズ 山口 エリアンヌ	カルトン・マルティヌ	パジエス・クリストフ	パジエス・クリストフ	カルトン・マルティヌ	ノエル・パトリシア ローベル・ロランヌ
二 年	組		7	8	9	10	11	12	13
	中級フランス語 Ⅰ・Ⅱ	担当者	江島 宏隆	余語 毅憲	富塚 真理子	高橋 明美	富塚 真理子	高山 典子	余語 毅憲
	中級フランス語Ⅲ・Ⅳ (テーマ別選択)	内容	フランス映画	フランス語 コミュニケーション	フランス語会話	フランスの社会	フランス文学 を読む	実用フランス語	フランスの文化と 生活
		担当者	高橋 明美	ノエル・パトリシア ローベル・ロランヌ	クロズ 山口 エリアンヌ	安原 伸一朗	浅間 哲平	松原 陽子	明石 伸子

和泉(再履修)科目

江島 宏隆
高橋 明美

駿河台(再履修)科目

明石 伸子
高橋 明美

中国語担当予定者
別表Ⅲ-④

一 年	組		14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
	I・II 初級中国語	担当者	孫 国震	土田 青	趙 萍	土田 青	耿 函	藤井 喜一郎	李 旭	藤井 喜一郎	趙 萍	葉 進太郎	新田 小夜子	李 旭	新田 小夜子
	III・IV 初級中国語	担当者	鈴木 仁麗	葉 紅	森 美千代	葉 紅	鈴木 仁麗	水谷 尚子	野本 敬	本田 親史	森 美千代	西 暢子	小林 光考	廣瀬 直記	廣瀬 直記
二 年	組		14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
	I・II 中級中国語	担当者	耿 函	耿 函	藤井 喜一郎	新田 小夜子	李 旭	趙 萍	葉 進太郎	孫 国震	李 旭	趙 萍	藤井 喜一郎	葉 紅	藤井 喜一郎
	III・IV 中級中国語	担当者	井口 博文	井口 博文	西 暢子	小林 光考	森 美千代	西 暢子	清水 享	野本 敬	清水 享	本田 親史	森 美千代	水谷 尚子	本田 親史

和泉(再履修)科目

清水 享
藤井 喜一郎
孫 国震
森 美千代
耿 函

駿河台(再履修)科目

孫 国震
江田 いづみ
村上 太輝夫

**韓国語担当予定者
別表Ⅲ-⑤**

	組		27	28	29
	初級韓国語 Ⅰ・Ⅱ	担当者	李 興淑	崔 英姫	崔 先鎬
一 年	初級韓国語 Ⅲ・Ⅳ	担当者	崔 英姫	桔川 純子	金 任仲
	組		27	28	29
二 年	中級韓国語 Ⅰ・Ⅱ	担当者	金 任仲	高 成鳳	崔 先鎬
	中級韓国語 Ⅲ・Ⅳ	担当者	崔 先鎬	李 興淑	桔川 純子

和泉(再履修)科目

崔 先鎬

駿河台(再履修)科目

桔川 純子

**スペイン語担当予定者
別表Ⅲ-⑥**

一 年	組		30	31	32	33
	初級スペイン語 Ⅰ・Ⅱ	担当者	大國 雅子	敦賀 公子	渡辺 有美	渡辺 有美
	初級スペイン語 Ⅲ・Ⅳ	担当者	大國 雅子	敦賀 公子	渡辺 有美	渡辺 有美
二 年	組		30	31	32	33
	中級スペイン語 Ⅰ・Ⅱ	担当者	丸山 共恵	大國 雅子	諸星 妙	敦賀 公子
	中級スペイン語 Ⅲ・Ⅳ	担当者	-	-	フィシエルフ, ヴァレリア	フィシエルフ, ヴァレリア

和泉(再履修)科目

井関 睦美
大國 雅子

駿河台(再履修)科目

井関 睦美
工藤 綾

各語学の説明について

英語科目について

1. 授業の概要・目的

グローバル化と情報化が加速する現代社会において、今や緊要なコミュニケーション手段となった英語の運用能力を、「読む・書く・聞く・話す」の4技能のバランスに配慮しながら伸ばす。また、言語能力と分かち難く存在する文化的理解力を高め、幅広い教養を身につけるため、様々な教材を通じて、英語圏をはじめとした諸外国の文化に触れながら、日本文化に対する理解も深めてゆく。

和泉キャンパス(1・2年次)では、クラス指定による「口語英語 I・II」「英語講読 I・II」と、習熟度に応じた選択制による「基礎英語 I・II」「上級英語 I・II」の4種類の授業科目(週1回、春・秋学期各1単位)が開設されている。「I」は春学期開講、「II」は秋学期開講を表すが、4月に一括して履修登録を行い、「I」と「II」を1年間通して履修すること。週1回・1年分の授業を、週2回・1学期で履修する「集中基礎英語」「集中上級英語」(2単位)が開講されることもある。

駿河台キャンパス(3・4年次)では、多彩なテーマ設定による「発展英語」(週1回、1学期完結1単位)が開設されている。

2. 授業内容

「口語英語 I・II」: 英語でのオーラル・コミュニケーション能力の習熟を目標に、発音と聴解を重視し、口語表現を中心とした授業をおこなう。

「英語講読 I・II」: 英文読解力の習熟を目標に、語彙と文法を重視し、幅広い素材のテキストによる、講読を中心とした授業をおこなう。

「基礎英語 I・II」: 公募制特別入試(大学入学共通テスト利用特別入試の出願条件が商業部門の者のみ)・スポーツ特別入試による入学者が、「口語英語 I・II」「英語講読 I・II」のそれぞれに代えて履修することを認められるもので、基礎的な英語力の向上を目的とする。定員約40名。

「上級英語 I・II」: 習熟度の高い学生(TOEIC 550以上または英検2級以上)が、「口語英語 I・II」「英語講読 I・II」のそれぞれに代えて履修することを認められるもので、総合的な英語力の向上を目的とする。定員約20名。

「発展英語」: 「上級英語」の3・4年生版ともいえるもので、4年間一貫教育の成果に磨きをかけ、高度な英語力の習得を目的とする。

3. 履修の注意点

「基礎英語 I・II」は、1年次および2年次に、「口語英語 I・II」「英語講読 I・II」のそれぞれに代えて、履修することができる(2年間合計で8単位まで振り替え可能)。希望者が定員を超える場合は、初回授業時に筆記・面接・抽選などによる選抜をおこなう。

「上級英語 I・II」は、1年次および2年次に、「口語英語 I・II」「英語講読 I・II」のそれぞれに代えて、履修することができる(2年間合計で8単位まで振り替え可能)。1年次入学時に実施のTOEICのスコア、もしくは英検などの実績に基づき、受講資格を満たす者に対して、初回授業時に選抜をおこなう。入学時以外にTOEICを受験し550以上を取得している場合、または英検2級以上に相当する資格を取得している場合は、その内容を証明する書類(コピー可)を持参すること。

外国語科目では、授業回数の3分の1以上を欠席した学生には、原則として定期試験を受ける資格が認められない。担当教員によっては、さらに高い出席率を求めることがあるので注意すること。

「基礎英語 I・II」「上級英語 I・II」「発展英語」の授業の詳細に関しては、当該のシラバスを参照のこと。クラス指定の「口語英語 I・II」「英語講読 I・II」については、初回授業時ならびに Oh-o! Meiji のクラスウェブ上において、担当教員からの説明がある。

ドイツ語科目について

1. 授業の概要・目的

商学部は、多様な文化を理解する教養を備えた、世界で活躍できるビジネスパーソンの育成に力を入れており、英語だけでなく初習外国語を学ぶためのカリキュラムも充実している。初習外国語のひとつとして設置されているドイツ語は、大学で初めてドイツ語を学ぶ学生を対象にして初級レベルから段階的に科目を展開しているため、4年間を通じて学習できる。ドイツ語授業の一貫した目的は、ドイツ語圏の社会や文化への理解を深めながら、ドイツ語の実践的な運用能力を高めることである。

この目的のため、和泉キャンパスでは、「初級ドイツ語Ⅰ・Ⅱ」と「初級ドイツ語Ⅲ・Ⅳ」(1年次)、および「中級ドイツ語Ⅰ・Ⅱ」と「中級ドイツ語Ⅲ・Ⅳ」(2年次)が必修科目として開設されている。「Ⅰ」「Ⅲ」は春学期開講、「Ⅱ」「Ⅳ」は秋学期開講を表すが、4月に一括して履修登録を行い、「Ⅰ・Ⅱ」および「Ⅲ・Ⅳ」を1年間通して履修する。また、入学試験の際、外国語科目のなかからドイツ語を選択した学生やドイツ語の学習歴のある学生のために、「特別ドイツ語Ⅰ・Ⅱ」(1・2年次)が和泉キャンパスの共通科目として設置されている。商学部はさらに、将来の留学・研究・ビジネスに役立つドイツ語能力を1年の秋学期から3学期連続で養成する選択科目「初級ドイツ語プラスワン」(1年次秋学期)と「中級ドイツ語プラスワン」(2年次春・秋学期)を開設している。

駿河台キャンパスでは、3・4年次でも継続してドイツ語を学習したい学生のために、「上級ドイツ語」と「発展ドイツ語」が半期科目として開講されている。いずれの科目も春学期・秋学期の連続履修と3・4年の連続履修が可能である。3・4年生を対象とするこれら2つの選択科目において、ドイツ語の基礎力をさらに発展させ、実践に役立つ高度な運用能力を養成することができる。

2. 授業内容

《必修科目》:

「初級ドイツ語Ⅰ・Ⅱ」:ドイツ語文法の基礎を学ぶ。基本的な語彙・表現を習得したり、聞き取り能力を身に付けたりする。辞書の引き方も練習する。(1年次必修科目・指定クラス・日本人教員担当)

「初級ドイツ語Ⅲ・Ⅳ」:ドイツ語コミュニケーションの授業。正しい発音やアクセントを学び、基本的な口語表現を習得するだけでなく、書く力も養う。(1年次必修科目・指定クラス・ネイティブ教員担当)

「中級ドイツ語Ⅰ・Ⅱ」:1年次から継続するドイツ語文法の学習を完成させた上で、比較的長い文の読解を通じて、ドイツ語のテキストに習熟する。内容的には、ドイツ語圏や他のヨーロッパ諸国への関心を深めていく。(2年次必修科目・指定クラス)

「中級ドイツ語Ⅲ・Ⅳ」:5つのテーマ別クラス(「コミュニケーションドイツ語」、「独検対策」、「時事ドイツ語」、「ドイツ文化講読」、「オーストリア文化講読」)からひとつを選択し履修する。授業内容の詳細は、次ページ以降の担当者別シラバスを参照すること。(2年次必修科目・テーマ別編成クラス)

*特別語学(「特別ドイツ語Ⅰ・Ⅱ」と「特別ドイツ語Ⅲ・Ⅳ」):入学試験の際、外国語科目のなかからドイツ語を選択した学生を対象として開講されており、必修科目の「初級ドイツ語」、「中級ドイツ語」に代えて履修することができる。これらの科目は、ドイツ語で受験しなかった学生でも、相当するドイツ語能力があれば履修することができるので、該当する学生は入学後早々に商学部事務室(和泉)に申し出ること。

《選択科目》:

「初級ドイツ語プラスワン」:さまざまな教材やテーマに基づいてドイツ語技能をバランスよく伸ばし、将来の留学・研究・ビジネスに結びつく確かな基礎力を養成する。1年次の春学期、7月頃に選抜テストが行われる。定員15名程度。(1年次選択科目、秋学期開講)

「中級ドイツ語プラスワン」:「初級ドイツ語プラスワン」から継続して履修し、さらに実践的なドイツ語力を養成する。(2年次選択科目、春・秋学期開講)

「上級ドイツ語」:多様な教材を用いて、ドイツ語能力をより高度なレベルに向上させる。2年次までの必修単位が修得できた者は誰でも履修できる。(3・4年次選択科目)

「発展ドイツ語」:商学部のドイツ語科目のなかでもっともレベルの高い科目である。これまで養ったドイツ語能力にさらに磨きをかける。「上級ドイツ語」の単位修得者、ドイツ語圏留学経験者、「特別ドイツ語」履修者を対象としているが、これ以外の学生も受け入れている。履修希望者は初回授業に出席し、担当教員に相談すること。(3・4年次選択科目)

3. 履修の注意点

・語学の授業では出席および積極的な参加を重視している。ドイツ語の各科目では、授業回数の3分の1を超えて欠席した学生には、原則として単位修得を認めていない(商学部の外国語科目ルール)。当然ながら、病気のとき以外、毎回出席しなければならない。

・春学期の初回授業までに教科書を購入し、持参すること。なお、初回授業では評価方法、独和辞典の購入などについての説明があるので必ず出席すること。

・ドイツ語は授業を通じて、さまざまな情報提供を行っている。《ドイツ語プラスワン》の選考試験、商学部海外協定校ブレーメン経済工科大学への留学、ミュンヘン大学付属語学学校のドイツ語夏期集中講座、ドイツ語資格試験(「独検」など)の受験料補助などについて案内する。授業でのアナウンスや配布物に注意して、ドイツ語学習に活用してほしい。

・「初級ドイツ語Ⅰ・Ⅱ」、「初級ドイツ語Ⅲ・Ⅳ」、「中級ドイツ語Ⅰ・Ⅱ」の各授業の具体的内容については、Oh-o!Meiji のクラスウェブ上に掲載されている。初回の授業でも担当教員から説明がある。

・学部間共通外国語科目による単位振り替え

2年次履修の「中級ドイツ語Ⅲ」・「中級ドイツ語Ⅳ」は、以下のいずれかの学部間共通外国語科目の履修・単位修得をもって単位振り替えをすることができる。

ア.「ドイツ語会話ⅡA」(春学期)、「ドイツ語会話ⅡB」(秋学期)の連続履修

イ.「ドイツ語会話ⅢA」(春学期)、「ドイツ語会話ⅢB」(秋学期)の連続履修

※「中級ドイツ語Ⅰ」・「中級ドイツ語Ⅱ」は単位振り替えの対象とはならない。

※上記の学部間共通外国語科目(シラバスは大学 HP 内にあり)は、単位振り替えをせずに、履修することもできる。意欲的な人は、ネイティブ教員が担当する学部間共通外国語科目を積極的に活用しよう。

・再履修について(必修科目)

履修した必修科目の単位修得ができなかった場合、その科目を再履修しなければならない。各科目の再履修者のために、以下のような再履修クラスが設置されている。各科目のⅠとⅢは春学期科目に、ⅡとⅣは秋学期科目に対応した内容となっている。

◎1年次配当科目の単位が修得できなかった場合

「初級ドイツ語Ⅰ」と「初級ドイツ語Ⅲ」については、2年次春学期に和泉キャンパスに設置されている「初級ドイツ語Ⅰ・Ⅲ(再履修)」を履修する。

「初級ドイツ語Ⅱ」と「初級ドイツ語Ⅳ」については、2年次秋学期に和泉キャンパスに設置されている「初級ドイツ語Ⅱ・Ⅳ(再履修)」を履修する。

◎2年次配当科目の単位が修得できなかった場合

【3・4年生】

「中級ドイツ語Ⅰ」と「中級ドイツ語Ⅲ」については、春学期に駿河台キャンパスに設置されている

「中級ドイツ語Ⅰ・Ⅲ(再履修)」を履修する。

「中級ドイツ語Ⅱ」と「中級ドイツ語Ⅳ」については、秋学期に駿河台キャンパスに設置されている

「中級ドイツ語Ⅱ・Ⅳ(再履修)」を履修する。

【2年原級生】

和泉キャンパスに設置されている「中級ドイツ語Ⅰ・Ⅱ」、「中級ドイツ語Ⅲ・Ⅳ」を再履修する。

・商学部ドイツ語ホームページの活用について

ドイツ語ホームページにおいて、言語としてのドイツ語の特徴、ドイツ語カリキュラムの特色、ドイツ語圏文化の魅力などが詳しく説明されている。ドイツ語学習やドイツ留学に役立つ情報も多数掲載されているので、下記 URL を随時参照すること。

【ドイツ語 HP の URL】<http://www.meiji.ac.jp/shogaku/languages/german.html>

「商学部 HP」→「教育の特色」→「外国語教育」→「ドイツ語」

フランス語科目について

1. 授業の概要・目的

多くの日本企業が国際化していく現代において、英語ができることはあたり前で、さらにもうひとつの外国語に習熟していることが求められています。英語以外の言語と文化を知って、新たな発想や世界観を持つことが重要と考えられるようになってきています。特に、国際機関、文化・教育分野、観光・ラグジュアリー産業、ヨーロッパ志向の企業ではフランス語の需要が高まっています。今後の成長が見込まれるアフリカ大陸の広い範囲で用いられているのも、フランス語の特徴と言えます。多様な社会と複雑な世界に対峙するために、フランス語の学習は有効なのです。

商学部のフランス語教育は、1年次は、新しい言語の機能的体系を学ぶ「文法クラス」(初級フランス語Ⅰ・Ⅱ)とコミュニケーション能力を身につけるための「会話クラス」(初級フランス語Ⅲ・Ⅳ)により、1年間でフランス語の基礎をしっかりと身につけてもらいます。「Ⅰ・Ⅲ」は春学期開講、「Ⅱ・Ⅳ」は秋学期開講を表します。4月に一括して履修登録を行い、「Ⅰ」と「Ⅱ」および「Ⅲ」と「Ⅳ」を1年間通して履修するようにしてください。

2年次では、1年時の基礎力をもとに、クラス指定によるテキストを読む能力を育成する「講読クラス」(中級フランス語Ⅰ・Ⅱ)と、学生が学ぶテーマを選択できる「選択クラス」(中級フランス語Ⅲ・Ⅳ)があり、より高度なフランス語能力を身につけると同時に、現代のフランス事情や、フランス語圏の文化を幅広く知ることができます。

特にフランス語に興味を持った学生は、1年次(秋学期から開講)、2年次(春学期と秋学期に開講)ともに「プラスワン」のクラスを受講し、留学や研究、将来のビジネスへの準備をすることができます。

3・4年次では、本学部の外国語4年間一貫教育の方針により、一層の習熟を目指す「上級フランス語」と「発展フランス語」を受講することができます。

入試でフランス語を受験した者や希望する者は、学部間共通の「特別フランス語」クラスを受けることになります。

1、2年次のフランス語の再履修者は、「再履修」クラスを受ける必要があります。

2. 授業内容

「初級フランス語Ⅰ・Ⅱ」: 原則、日本人の教員によって基礎的なフランス語の文法を修得することにより新しい言語の機能的体系を学びます。

「初級フランス語Ⅲ・Ⅳ」: 原則、ネイティブ教員(フランス語を母語とする教員)により基礎的なフランス語の会話・コミュニケーション能力を修得します。

「中級フランス語Ⅰ・Ⅱ」: テキスト読解力の習熟を目標に、語彙と文法を重視し、現代フランスの幅広い素材のテキストにより、講読を中心とした授業をおこないます。

「中級フランス語Ⅲ・Ⅳ」: いくつかの選択テーマから自分の関心のある領域を選び、各人思い思いの目標(例: 会話力の充実、検定試験合格、実用フランス語能力の整備など)に達することがねらいです。

「初級フランス語プラスワン」: フランス語の意欲的な学習者が、ひとつのクラスに集い、さらなる基礎固めをして、言語運用能力を高めるようにします。

「中級フランス語プラスワン」: フランス語を実際に使えるようにするべく、語学への関心興味をさらに引き出すとともに、フランスの文化・社会への興味を醸成します。

3. 履修の注意点

試験を受けるには講義の2/3以上の出席が必要です。

最初の授業でその他の注意点が説明されるので特に欠席しないようにしてください。

初めて学ぶ言語なので、欠席や遅刻をしないのはもちろんのこと、予習・復習を欠かさず、積極的に練習問題などに取り組んでください。

仏和辞典は、学習者用の中型辞書の準備が必要です。

中国語科目について

1. 授業の概要・目的

商学部では、ビジネスをはじめとする様々な分野で言語と文化の壁を越えて活躍する真に国際感覚ある人材を養成していくため、英語以外の初習外国語教育にも力を入れ、多様な初習外国語科目を用意しています。中国語科目も、多言語を重視する商学部の外国語教育の一環として設置されています。前世紀末から今世紀初頭に急成長した中国経済を背景に、ビジネスにおける中国語の有用性が揺るぎないものとなっていることはいまでもなく、中国語圏の人々との交流は、観光、文化、教育、スポーツ、防災、行政など多方面で深化してきています。日本と中国の関係も必ずしも順調ではありませんが、現実をみれば日中関係の重要性は全く不変です。政府も企業も中国はもとより中国語圏との関係抜きに国際戦略を立てることはできず、中国語圏の言語、文化と社会を理解する人材の重要性はいやがうえにも高まっています。商学部の中国語は、必修の初級と中国語以外に、より意欲的な学習者のための初級プラスワン、中級プラスワン、上級、発展の各科目を設置しています。商学部での中国語教育は、言語を通じて中国・台湾ひいては華人やアジアの文化と社会を理解し、実践的な情報収集と意思疎通が行える力を養成することを目的とします。

2. 授業内容

「初級中国語Ⅰ・Ⅱ」と「初級中国語Ⅲ・Ⅳ」: 中国語を初めて学習する 1 年生のための科目で、Ⅰ・Ⅱは主に中国語を母語とする教員が、Ⅲ・Ⅳは主に日本語を母語とする教員が担当します。春学期にはⅠ・Ⅲを、秋学期にはⅡ・Ⅳを、二人の教員が協力して進め、発音を身につけるとともに一通りの文法事項を学んでいきます。

「中級中国語Ⅰ・Ⅱ」: 2 年次の必修科目で主に中国語を母語とする教員の担当科目です。教科書はそれぞれのクラスの担当者が方針に応じて選択したものを使用し、会話練習などを通じてより実践的な中国語力の養成を目指します。

「中級中国語Ⅲ・Ⅳ」: 2 年次の必修科目で主に日本語を母語とする教員の担当科目です。教科書はそれぞれのクラスの担当者が方針に応じて選択したものを使用し、初級で学んだ文法事項などを基礎に実践的な読解力などを養成していきます。

「初級中国語プラスワン」: より意欲的な 1 年生のための科目で、秋学期のみに設置され、少人数での発音と会話の練習を中心とする授業を行います。1 年次の 7 月に受講生の選抜試験を行いますので、学部からの通知に注意しておいて下さい。

「中級中国語プラスワン」: より意欲的な 2 年生向けの科目で、春学期・秋学期ともに設置されています。中国語を母語とする教員が、視聴覚教材を用いて臨場感ある授業を行います。

「上級中国語」: 中級を学習し終え、さらに社会人として役に立つ中国語を勉強したり、中国語の資格取得を目指したりする学生のための科目です。春学期・秋学期ともに 2 科目ずつ設置されています。

「発展中国語」: 「上級中国語」より高度な応用力を養成したい学生のための科目です。春学期・秋学期ともに 1 科目ずつ設置されています。

3. 履修の注意点

- ・「上級中国語」と「発展中国語」: いずれの科目も、単位取得科目や成績等による履修制限はありません。「発展中国語」のみを履修することも可能です。
- ・学部間共通外国語科目との振り替え: 中国語は、学部間共通外国語科目による単位振り替えを認めていません。
- ・再履修について: 初級科目の単位取得が出来なかった場合、和泉開講の再履修科目を未取得の科目数だけ選択し履修しなければなりません。中級科目の単位取得が出来なかった場合、駿河台開講の再履修科目を未取得の科目数だけ選択し履修しなければなりません。
- ・定期試験について: 中国語のいずれの科目においても、授業回数の 3 分の 1 以上欠席した場合、原則として定期試験の受験を認めませんので単位は取得できません。

韓国語科目について

1. 授業の概要・目的

「多言語4年間教育」に基づいて語学教育に力を入れている商学部には、初習外国語のひとつとして韓国語の科目が設けられています。商学部の韓国語授業では言語学習の基本をなすリーディング、ライティング、ヒアリング、スピーキングの基礎力を養い、それらを用いた様々な表現を自由自在に駆使するための応用力を身につけることを目指します。また、その過程で、多様な形態の教材を用いて韓国文化に触れることになります。

以上のために、和泉校舎(1・2年次)ではクラス指定による「初級韓国語Ⅰ・Ⅱ」、「初級韓国語Ⅲ・Ⅳ」、「中級韓国語Ⅰ・Ⅱ」、「中級韓国語Ⅲ・Ⅳ」が開講されています。「Ⅰ」と「Ⅲ」は春学期開講、「Ⅱ」と「Ⅳ」は秋学期開講を表わしますが、4月に一括して履修登録を行います。

また、選択制による「初級韓国語プラスワン」(1年次の秋学期のみ)、「中級韓国語プラスワン」(2年次の春秋学期)の授業科目が開講されており、海外留学希望者を積極的に育成していくことと、初習外国語の学習に熱心に取り組む学生の意欲に応えることにしています。

そして、2年次には、商学部の「各種語学検定試験」の受験料補助を受けて、毎年11月に韓国語能力試験を受験し、外部の公的機関による客観的な韓国語能力の評価を受けるとともに、資格の習得に臨みます。

駿河台校舎(3・4年次)では、選択制による「上級韓国語」と「発展韓国語」が開講されます。前者では、初級・中級の学習を土台にした文法や文型のレベルをより高め、後者では様々なテーマを取り上げて多様な表現法を学びます。さらに、韓国語能力試験各級のレベルアップ対策が講じられます。

2. 授業内容

・「初級韓国語Ⅰ・Ⅱ」、「初級韓国語Ⅲ・Ⅳ」:「Ⅰ」と「Ⅲ」、「Ⅱ」と「Ⅳ」との間はリレー形式の授業形態をとり、前者ではハングル文字が確実に読み・書きできること、後者では基本文型をマスターして簡単な文章が作れることを目標とし、授業が進められます。

・「初級韓国語プラスワン」:「初級韓国語Ⅰ」を履修したばかりのレベルであるため、歌や詩などを取りあげ、歌詞を通じて発音の練習を繰り返します。そのことによって基本的な発音の仕方を楽しく、わかりやすく身に付け、韓国語の学習を持続させていくようにすることが授業の目標となります。

・「中級韓国語Ⅰ・Ⅱ」、「中級韓国語Ⅲ・Ⅳ」:「Ⅰ・Ⅱ」では韓国語の文法および語彙の知識を確かなものにし、かつ正確な発音を身に付けること、「Ⅲ・Ⅳ」では用言の語尾の基本的な変化について学び、それらを用いた基本文型をマスターして簡単な応用文が作れることを授業の目標とします。

・「中級韓国語プラスワン」:PCでハングル文字の打ち方と入力の仕方を学び、韓国語によるネットサーフィンや検索、メールやチャット上のコミュニケーションができるようにすることが授業の目標です。

・「上級韓国語」:作文・読解・会話の学習能力を深化させ、多様な表現の文章力と長文の読解力、会話能力のレベルアップを図ります。

・「発展韓国語」:視聴覚教材や新聞、雑誌などの多様な形態の教材を用い、その内容を理解するとともに、作文・読解・会話の応用力と活用力の向上を図ります。

3. 履修の注意点

「初級韓国語Ⅰ・Ⅱ」と「初級韓国語Ⅲ・Ⅳ」の授業はリレー形式で行われ、「Ⅰ」と「Ⅲ」、「Ⅱ」と「Ⅳ」はそれぞれ連動するため、一方の授業を欠席すると、他方の授業内容が理解できなくなります。

「初級韓国語プラスワン」と「中級韓国語プラスワン」は、1年次の秋学期・2年次の春秋学期という3学期連続であり、1年次の春学期の終わり頃に募集と選考試験を行うので、希望者はガイダンスに出席してください。募集・選考試験・ガイダンスの日程は Oh-o!!Meiji を通じて知らせます。

「中級韓国語Ⅰ・Ⅱ」と「中級韓国語Ⅲ・Ⅳ」の授業のうち、いずれかの授業で「ハングル能力検定試験」の4級を全員受験することになりますが、個別的にレベルアップして3級や2級などを併願・受験することも可能です。

「上級韓国語」「発展韓国語」を含めて、韓国語の授業は科目種を問わず、すべて授業回数の3分の1以上を欠席した場合、原則として定期試験を受けることを認めません。

スペイン語科目について

1. 授業の概要・目的

スペイン語は、スペインと中南米の 20 以上の国と地域で公用語とされる言語で、国連公用語の一つでもある。スペイン語を習得することは、広大で多様な世界に近づく一歩となり、将来国際的に活躍するチャンスにもつながるだろう。

スペイン語の1・2年次クラス指定による必修科目は以下の通りである。1年次では、春学期に「初級スペイン語Ⅰ」と「初級スペイン語Ⅲ」、秋学期に「初級スペイン語Ⅱ」と「初級スペイン語Ⅳ」の計4科目を履修する。各科目1単位で、1年間に計4単位を修得する。履修登録は4月に一括して行う。2年次も同様に、春学期に「中級スペイン語Ⅰ」と「中級スペイン語Ⅲ」、秋学期に「中級スペイン語Ⅱ」と「中級スペイン語Ⅳ」の計4科目(4単位)を履修する。

2026 年度は以下の選択科目は不開講となっている:「初級スペイン語プラスワン」「中級スペイン語プラスワン」「上級スペイン語」「発展スペイン語」。ただし「上級スペイン語」に相当する科目として、法学部開講の「上級スペイン語AⅠ」(春学期)、「上級スペイン語AⅡ」(秋学期)の履修が可能である。

2. 授業内容

「初級スペイン語Ⅰ・Ⅱ」、「初級スペイン語Ⅲ・Ⅳ」:スペイン語の基礎文法を包括的に学習する。アルファベットと発音から始め、名詞の特徴や動詞の時制を学び、直説法の文法構造の把握を目指す。簡単な会話表現も練習し、基本的なスペイン語力を養成する。

「中級スペイン語Ⅰ・Ⅱ」、「中級スペイン語Ⅲ・Ⅳ」:1年次の「初級スペイン語」で学習した内容をふまえ、総合的なスペイン語運用能力を高めていく。スペイン語圏の歴史・文化・社会に関する話題を取り上げながら、「Ⅰ・Ⅱ」はおもに読解力や作文力、「Ⅲ・Ⅳ」はおもにコミュニケーション力養成に焦点を当てる。

3. 履修の注意点

再履修について:必修科目の単位修得ができなかった場合、翌年度にその科目に相当する再履修科目を履修しなければならない。再履修科目は以下の通りである。

- ・「初級スペイン語Ⅰ」と「初級スペイン語Ⅲ」の再履修科目は、2年次春学期開講の「初級スペイン語Ⅰ・Ⅲ(再履修)」。
- ・「初級スペイン語Ⅱ」と「初級スペイン語Ⅳ」の再履修科目は、2年次秋学期開講の「初級スペイン語Ⅱ・Ⅳ(再履修)」。
- ・「中級スペイン語Ⅰ」と「中級スペイン語Ⅲ」の再履修科目は、春学期に駿河台開講の「中級スペイン語Ⅰ・Ⅲ(再履修)」。「中級スペイン語Ⅱ」と「中級スペイン語Ⅳ」の再履修科目は、秋学期に駿河台開講の「中級スペイン語Ⅱ・Ⅳ(再履修)」。

すべてのスペイン語科目において、一学期の授業回数の3分の1以上を欠席した場合、原則として定期試験の受験資格および単位修得を認めない。

2026 年度 体育・スポーツ実習 A・B 一覧表

別表Ⅲ-⑦

曜日	時限	クラス	コース	開講期	担当者	種目	場所
水	1	23・30・31	ア	春学期	東原 文郎	オルタナティブスポーツ	301 教室
				秋学期	澤井 和彦	共生社会とスポーツ	SR11
			イ	春学期	澤井 和彦	共生社会とスポーツ	SR11
				秋学期	今野 和志	卓球	スポーツルームA
			ウ	春学期	今野 和志	サッカー	グラウンド
				秋学期	東原 文郎	オルタナティブスポーツ	301 教室
	2	3・10・25	ア	春学期	笹生 心太	様々なフットボール	グラウンド
				秋学期	東原 文郎	オルタナティブスポーツ	301 教室
			イ	春学期	東原 文郎	オルタナティブスポーツ	301 教室
				秋学期	今野 和志	卓球	スポーツルームA
			ウ	春学期	今野 和志	卓球	スポーツルームA
				秋学期	笹生 心太	様々なフットボール	メインホール
	3	5・11・22	ア	春学期	今野 和志	バスケ(3on3)・ユニホック・ダーツ	SR11
				秋学期	東原 文郎	オルタナティブスポーツ	304 教室
			イ	春学期	東原 文郎	オルタナティブスポーツ	304 教室
				秋学期	今野 亮	バスケ・バレー	メインホール
			ウ	春学期	今野 亮	バスケ・バレー	メインホール
				秋学期	今野 和志	バレーボール・バドミントン	サブホール
	4	8・15・28	ア	春学期	三浦 康二	レクリエーションスポーツ	SR11
				秋学期	今野 亮	フィットネス	フィットネスルーム
			イ	春学期	今野 亮	バスケ・バレー	メインホール
				秋学期	今野 和志	サッカー	グラウンド
			ウ	春学期	今野 和志	フィットネス	フィットネスルーム
				秋学期	東原 文郎	オルタナティブスポーツ	304 教室
木	1	2・17・26	ア	春学期	三浦 康二	レクリエーションスポーツ	メインホール
				秋学期	佐伯 徹郎	フィットネス	フィットネスルーム
			イ	春学期	志賀 充	バドミントン	サブホール
				秋学期	三浦 康二	レクリエーションスポーツ	メインホール
			ウ	春学期	佐伯 徹郎	卓球	スポーツルームA
				秋学期	志賀 充	バドミントン	サブホール
	2	1・4・33	ア	春学期	三浦 康二	レクリエーションスポーツ	メインホール
				秋学期	佐伯 徹郎	フィットネス	フィットネスルーム
			イ	春学期	志賀 充	バドミントン	サブホール
				秋学期	三浦 康二	レクリエーションスポーツ	メインホール
			ウ	春学期	佐伯 徹郎	卓球	スポーツルームA
				秋学期	志賀 充	バドミントン	サブホール
	3	9・12・32	ア	春学期	阿部 巧	バレーボール(ソフトバレー含む)・フットサル	サブホール
				秋学期	志賀 充	ゴルフ	ゴルフレンジ
			イ	春学期	志賀 充	フィットネス	フィットネスルーム
				秋学期	笹生 心太	身体で学ぶチームワーク	スポーツルームA
			ウ	春学期	笹生 心太	身体で学ぶチームワーク	スポーツルームA
				秋学期	阿部 巧	フィットネス	フィットネスルーム
	4	6・7・21・24	ア	春学期	今野 和志	サッカー	グラウンド
				秋学期	笹生 心太	身体で学ぶチームワーク	スポーツルームA
			イ	春学期	高梨 美奈	ニュースポーツ	SR11
				秋学期	今野 和志	アルティメット・バドミントン	サブホール
			ウ	春学期	笹生 心太	身体で学ぶチームワーク	スポーツルームA
				秋学期	阿部 巧	バスケ・バレーボール	メインホール
土	1	16・19・27・29	ア	春学期	朴 周鳳	テニス	テニス場
				秋学期	片瀬 文雄	ユニホック	スポーツルームB
			イ	春学期	木村 博人	バスケ・フットサル	メインホール
				秋学期	後藤 肇	フィットネス	フィットネスルーム
			ウ	春学期	片瀬 文雄	卓球	スポーツルームA
				秋学期	木村 博人	テニス	テニスコート
	2	13・14・18・20	エ	春学期	後藤 肇	フィットネス	フィットネスルーム
				秋学期	朴 周鳳	バレーボール・バドミントン	サブホール
			ア	春学期	朴 周鳳	テニス	テニス場
				秋学期	木村 博人	バスケ・フットサル	メインホール
			イ	春学期	片瀬 文雄	卓球	スポーツルームA
				秋学期	後藤 肇	テニス	テニスコート
			ウ	春学期	木村 博人	バレーボール・バドミントン	サブホール
				秋学期	片瀬 文雄	フィットネス	フィットネスルーム
			エ	春学期	後藤 肇	フィットネス	フィットネスルーム
				秋学期	朴 周鳳	バレーボール・バドミントン	サブホール

履修にあたっての【注意事項】

自分のクラス以外の授業は履修できません。

初回の授業前にア・イ・ウ(クラスによってはエ)からコースを選びます。詳細は「シラバス1」の P25 をご確認ください。

初回は服装の準備はいいません。

※種目に変更がある場合があります

外国専門書講読担当予定者

別表Ⅳ

コース	部門	担当者
アプライド・エコノミクス	経済	小林 弦矢
		土居 拓務
マーケティング	流通・マーケティング	高橋 昭夫
		佐藤 平国
		山崎 喜代宏
		首藤 禎史
		庄司 真人
		仁平 京子
		竹内 亮介
		坪井 明彦
		野木村 忠度
		姜 瑩
		余 漢燮
	交通	恩田 睦
		水谷 淳
		町田 一兵
ファイナンス&インシュアランス	金融・証券	萩原 統宏
		太田 壘
	保険	藤井 陽一朗
グローバル・ビジネス	貿易	大津 健登
		深澤 光樹
		蒙 萌
		李 雨テイ
マネジメント	経営・情報	円城寺 敬浩
		鈴木 貴大
アカウンティング	会計	姚 俊／王 志
		加藤 達彦
		湯澤 晃明
		渡邊 智
クリエイティブ・ビジネス	クリエイティブ	竹内 久美子
		村山 賢哉
	日本語(留学生)	余 漢燮
	スポーツ特別入試	余 漢燮
	基礎英語履修者	渡邊 智

特別テーマ実践科目

課題発見・解決力、情報発信力を磨く

「特別テーマ実践科目」では、社会に実在するさまざまな課題を読み解き、その解決策を企画・実行する。そして、その成果をまとめ報告するという一連の実践的な課題解決プロセスを、地域や企業など学外との協力関係を活用しながら経験する。課題発見力、企画構想力、課題解決力、情報発信力といった社会で実際に求められている能力の養成を目指す商学部の正課科目である。

■履修申込方法

特別テーマ実践科目の履修を希望する場合には、**春学期開講科目は春学期、秋学期開講科目は秋学期の初回授業へ出席すること。初回授業で科目担当教員が履修者を選考し、決定する。**初回授業に参加できない場合には履修は認められない。なお、初回授業には必ず学生証を持参すること。担当教員から名簿に学生番号・年・組・番号・氏名を記入するように指示を受けたら、学生証を提示してから記入すること。

■特別テーマ実践科目の初回授業開講期間

春学期：4月10日(金)～4月16日(木) **秋学期**：9月24(木)～9月30日(水)

■履修申し込みにあたっての注意事項

- ① 本科目と同じ曜日・時限に必修科目や事前抽選科目を履修登録している場合は、履修は認められない。よく確認した上で初回授業へ出席すること。
- ② 履修許可が出た学生は事務室にて一括して履修登録する。履修申し込み後の取消・変更はできないため、熟考の上履修を申し込むこと。

■科目の取り方について

- ① 特別テーマ実践科目A・Bは和泉、C・Dは駿河台キャンパス開講。また、A・Cは春学期、B・Dは秋学期の開講を意味する。
- ② 在学中、特別テーマ実践科目A～Dの各科目は2回までしか履修することはできない。
- ③ 同一教員による同一テーマの科目の単位は在学中に1回のみ修得できる。

2026 年度特別テーマ実践科目開講一覧表

■和泉キャンパス

開講学期	科目名	担当教員	テーマ	曜日	時限
春学期	A	ハディ ハーニ	イスラーム世界実践探求Ⅰ	月	3
	A	洞口 拓磨	科学の教科書を精読する1	月	5
	A	高野 公三子	ファッションから考える ～〈定点観測〉の理論と実践Ⅰ	水	2
	A	山崎 京子	大学期のキャリア・デザイン	木	2
秋学期	B	ハディ ハーニ	イスラーム世界実践探求Ⅱ	月	3
	B	洞口 拓磨	科学の教科書を精読する2	月	5
	B	高野 公三子	ファッションから考える～〈定点観測〉の理論と実践Ⅱ	水	2
	B	松尾 隆策	南房総市の「道の駅」における地域活性化の取り組み	水	2
	B	山崎 京子	人事の機能と組織行動	木	2
	B	中川 秀一	フィールドワーク調査法	木	5

■駿河台キャンパス

開講学期	科目名	担当教員	テーマ	曜日	時限
春学期	C	小野瀬 慶子	ファッションで私たちの生きたい未来社会を「つくる」Ⅰ	水	5
	C	中川 秀一	地域アーカイブスの整理と作成 埼玉県小鹿野町での実践活動	水	5
	C	高野 公三子	都市文化とファッションの関係Ⅰ: 都市のカルチュラルナラティブ	金	2
	C	松尾 隆策	地域観光の振興と観光商品の提案(三浦市)基礎編	金	2
	C	村田 潔・久米 信行	実践ベンチャービジネス 起業家と対話するアクティブラーニング	金	4
	C	樋渡 雅幸	コンサルティング実践(課題抽出フェーズ)	金	5
秋学期	D	中林 真理子	ラテンアメリカ異文化交流プログラム 展開編	月	5
	D	所 康弘	第4回SDGs映画祭Latin American and Caribbean Films for "Future"(LAGFF)の企画調査・運営・開催に関わる実践活動	月	5
	D	小野瀬 慶子	ファッションで私たちの生きたい未来社会を「つくる」Ⅱ	水	5
	D	高野 公三子	都市文化とファッションの関係Ⅱ: 商業施設から考える	金	2
	D	松尾 隆策	地域観光の振興と観光商品の提案(三浦市)・応用編	金	2
	D	村田 潔・久米 信行	実践ソーシャル&コミュニティビジネス 社会起業家と対話するアクティブラーニング	金	4
	D	樋渡 雅幸	コンサルティング実践(戦略立案フェーズ)	金	5

特別テーマ研究科目

商学部の教員から最新の研究成果を学ぼう

商学部では専任の教員を中心とした多くの研究グループが、各学問領域の先進的なテーマで共同研究を展開している。これらの研究成果を商学部生に分かりやすく説明する授業が「特別テーマ研究科目」である。授業は商学部教員がコーディネータとなって実施される。主にコーディネータの教員が講義を担当する科目と、複数の講師でリレー式に行われる科目がある。「特別テーマ研究科目」は、理論的な研究成果を基に講義が行われるものから、実際の企業活動を題材にした研究成果を講義内容とするものまで、多様なテーマがそろっている。積極的に履修し、力を伸ばしてほしい。

■履修申込方法

- ① 特別テーマ研究科目は事前の履修申し込みは不要。
- ② 履修を希望する場合は、通常の履修登録期間に教務システムにて自分で履修登録すること。

■科目の取り方について

- ① 特別テーマ研究科目A・Bは和泉、C・Dは駿河台キャンパス開講。また、A・Cは春学期、B・Dは秋学期、Eは集中の開講を意味する。
- ② 在学中、特別テーマ研究科目A～Dの各科目は2回までしか履修することはできない。
- ③ 同一教員による同一テーマの科目の単位は在学中に1回のみ修得できる。

2026年度特別テーマ研究科目一覧表

■和泉キャンパス

開講学期	科目名	担当教員	テーマ	曜日	時限
春学期	A	ハディ ハーニ	イスラーム概論:教養としてのイスラームの文化・社会・歴史 I	※	※
	A	竹村 正明	マーケティング総論A	月	2
	A	高野 公三子	ファッション文化論～東京ファッションスタディーズ I	水	3
	A	所 康弘	ラテンアメリカン・スタディーズ入門 I	木	2
	A	松尾 隆策	道の駅学(基礎編)	木	3
	A	渡辺 徳美	《シネマ・リテラシー》を学ぶ	木	3
	A	井関 睦美	コンタクト・ゾーンと物質文化	木	3
	A	小野瀬 慶子	日本のファッションと「つくる」を世界へ:革新と挑戦のケーススタディ I	木	4
	A	洞口 拓磨	科学的リテラシー:放射線編	※	※
	A	洞口 拓磨	災害と情報科学:災害を理解する	※	※
秋学期	B	ハディ ハーニ	イスラーム概論:教養としてのイスラームの文化・社会・歴史 II	※	※
	B	菊池 一夫	マーケティング総論B	火	2
	B	高野 公三子	ファッション文化論～東京ファッションスタディーズ II	水	3
	B	所 康弘	ラテンアメリカン・スタディーズ入門 II	木	2
	B	松尾 隆策	道の駅学(応用編)	木	3
	B	小野瀬 慶子	日本のファッションと「つくる」を世界へ:革新と挑戦のケーススタディ II	木	4
	B	佐々木 美加	司法・犯罪心理学を識る	※	※
	B	洞口 拓磨	科学的リテラシー:電磁波編	※	※
	B	洞口 拓磨	災害と情報科学:災害と対峙する	※	※

■駿河台キャンパス

開講学期	科目名	担当教員	テーマ	曜日	時限
春学期	C	姚 俊	Fundamentals of Accounting	火	6
	C	水野 誠	計算社会科学入門I	木	4
	C	ハディ ハーニ	中東国際政治概論:パレスチナ問題と世界	※	※
	C	洞口 拓磨	数理モデル入門1:現象のモデル化	※	※
秋学期	D	水野 誠	計算社会科学入門II	木	4
	D	山本昌弘	International Accounting	金	1
	D	ハディ ハーニ	世界教養としての基本アラビア語	※	※
	D	洞口 拓磨	数理モデル入門2:数理モデルの解析	※	※

※時間割外に設置されるフルオンデマンド型のメディア授業科目。他の科目との曜日時限の重複は発生しない。

特別テーマ海外研修科目

商学部独自の海外研修科目でグローバルな視野を広げよう

商学部では近年「商学のグローバル展開」に力を入れている。海外協定校との連携を深め、商学部生の短期海外留学を積極的に促進している。

特別テーマ海外研修科目は半期 14 回の授業に相当し、留学先の研修プログラムに加え、留学前の準備学習と、留学後の成果報告会での発表を経て、2単位を修得することができる。

科目により研修内容は異なる。ビジネスの世界で通用する実践的な英語力を身につけたい、あるいは、ファッションの本場でブランド・マネジメントに必要な専門知識を得たい等、海外で様々な人と交流し、多様な文化に触れたい学生はぜひ履修してほしい。

■履修申込方法

- ① 履修制限単位数を超えて履修できる。
- ② 履修登録方法、募集要項等の詳細は確定次第、Oh-o! Meiji 等で通知する。

和泉キャンパス

開講学期	科目名	コーディネータ	テーマ	研修先	研修期間 (予定)
春学期	A	町田 一兵	Retail Frontiers: A Comparative Insight into Japan and the U.S	アリゾナ州立大学(アメリカ)	2026年 8月上旬～中旬 約2週間
秋学期	B	小野瀬 慶子	フレンチファッション・プログラム	モダール・インターナショナル学院 (フランス)	2027年 2月中旬～下旬 約2週間
	B	ジェームズ・ アンドリュース S.	The World of Australian Wine (WAW)	カーティン大学 (西オーストラリア)	2027年 2月下旬～3月上旬 約3週間

研修先での授業例

○Retail Frontiers: A Comparative Insight into Japan and the U.S

本研修は、アリゾナ州立大学 Tempe キャンパスで日米における食品スーパーの店舗構成とその裏にある物流の仕組みの違いを学ぶためのプログラム。サプライチェーン、サステナビリティの対応などを、専用カリキュラムと週15時間の授業、企業訪問やフィールドワークを通じて実践的に学ぶことができる。

○フレンチファッション・プログラム

フランス、パリでのラグジュアリーに特化した研修。「ファッションとメディア」「オートクチュールとデザイナー」「ファッションショウの企画・制作」「ビジュアル・マーチャンダイジング」「フランスの香水産業」など、ブランド・マネジメントやマーケティングに必要なとなるファッションビジネスの理論や実務に関する講義を午前中に英語で実施。午後からはブランド本店や工房、文化財団の見学などのフィールドワーク。

○The World of Australian Wine

オーストラリア西海岸の町、パースにあるカーティン大学でワインの製造やワイナリーのブランド戦略などを切り口に、ビジネスを学ぶことができる明大生のための研修プログラムである。スワン・バレー地域にあるワイナリーを見学し、テーマとなるワインのロゴデザインやポスターの制作も行う。英語はもちろんのこと、ワインのテイスティングの作法や原料となるブドウの品種に至るまで、深い教養と実践的なスキルを身に着けることができる。

CLASP(商学部外国語アドヴァンスメント・プログラム)について

「CLASP(Commerce Language Advancement Studies Program)」は、商学部の「学理実践兼ね通ずる人材の養成」という教育理念をふまえ、グローバル社会で活躍することのできる豊かな学識と高い外国語能力を備えた、行動力あるビジネス・パーソンを育てるための外国語重点プログラムである。英語の習熟度が高く、外国語能力をさらに向上させるための強い意欲を持つ学生を対象に、商学部の専門科目を英語で学ぶための基礎を固めると同時に、海外の多様な文化・社会への理解を深め、将来の長期海外留学にも役立つ外国語能力を養うことを目的とする。

〔2022～2025年度入学者向け〕※2021 年度以前入学者は事務室に確認すること。

1. プログラムの概要

- (1) 和泉キャンパスでの2年間で完結。(当プログラムへの事前申請の必要はない)
- (2) 既習外国語(英語)の必修単位8単位中、6単位以上を「上級英語」の履修により修得することを柱に、下記に示す「履修科目」から一定の単位数以上を修得する。
- (3) 2年終了時に修了証書を授与。なお、2年終了時には既習外国語の必修8単位をすべて修得し、進級条件を満たしていることが前提である。
- (4) 修了者のうち、以下のいずれかの条件に該当する学生には優等修了証明書(with distinction)を授与。
 - ・ TOEFL-ibt:100 点以上、もしくは TOEIC 875 点以上を取得した学生。
 - ・ 「上級英語」の4単位以上が A または S 評価の学生。

2. 履修科目

次の(1)から(3)に示す科目から必要単位をすべて修得する。ただし、2021 年度・2022 年度入学者については、海外研修、夏期集中講座等が新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止や縮小になったことに伴い、(3)の修了要件は免除する。

(1) 英語科目

既習外国語必修8単位(卒業要件)のうち、6単位以上を「上級英語」に振り替えて履修し、修得すること。全8単位を「上級英語」に振り替えることもできる。

(2) 和泉キャンパス開講の英語による講義科目

2年次終了までに2単位以上を修得すること。卒業要件に含めることができる。

＜科目の例＞

- ・ 「Essentials of Commerce A」(2単位) 春学期
- ・ 「Essentials of Commerce B」(2単位) 秋学期
- ・ 他学部開講の英語による授業科目(商学部が定める「他学部履修」のルールにもとづく) 注意: 学部間共通外国語科目の各講義は上記科目には該当しない。

(3) 海外研修、夏期集中講座等

次のプログラムから1つ以上に参加し、修了証もしくは修得単位を提示できること。

- ① 商学部開講「特別テーマ海外研修科目」(和泉開講)(2単位)(注1参照)
- ② 学部間共通外国語 集中講座(夏期・春期)(注2参照)
 - ・ 夏期集中講座「英会話」「ドイツ語会話」「フランス語会話」「中国語会話」(夏季休業期間中、学内で実施)。
※「英会話」以外も可。
 - ・ 春期集中講座「英会話」(春季休業期間中、国内で実施)(参考資料・ウェブサイト等)
 - ・ 冊子『2026 年度学部間共通外国語シラバス』 <https://www.meiji.ac.jp/edu/foreign/index.html>
- ③ 国際教育センター主催の短期留学プログラムの内、次の研修・プログラム(注1参照)
 - ・ 短期海外研修(春期:英語、スペイン語、中国語)※英語以外も可。
 - ・ 短期海外研修(夏期:英語、ドイツ語、フランス語)※英語以外も可。
 - ・ グローバル人材育成プログラム(海外実習・短期海外実習)(注3参照)(参考資料・ウェブサイト等)
 - ・ 冊子『海外留学の手引き 2026』 <https://www.meiji.ac.jp/cip/preparation/globalcareer.html>

(注1) 卒業要件に含めることができる。

(注2) 学部間共通外国語科目で1年生から3年生までの間に履修・修得した単位は、合計で4単位までをフリーゾーンの単位として卒業に必要な単位数に含めることができる。希望する場合は、4年次に商学部事務室窓口で所定の手続きを取ること。手続きの詳細は Oh-o! Meiji で通知する。(2018 年度から 2022 年度入学者まで適用)

(注3) グローバル人材育成プログラムの単位取扱いは P95 を参照のこと。

〔2026年度以降入学向け〕

1. プログラムの概要

- (1) 和泉キャンパスでの2年間で完結。(当プログラムへの事前申請の必要はない)
- (2) 既習外国語(英語)の必修単位8単位中、6単位以上を「上級英語」の履修により修得することを柱に、下記に示す「履修科目」から一定の単位数以上を修得する。
- (3) 2年終了時に修了証書を授与。なお、2年終了時には既習外国語の必修8単位をすべて修得し、進級条件を満たしていることが前提である。ただし、2年次秋学期から協定留学または認定留学をする場合、既習外国語の必修6単位をすべて「上級英語」で修得し、進級条件を満たしていることを前提とする。
- (4) 修了者のうち、以下のすべての条件に該当する学生には優等修了証明書(with distinction)を授与。
 - ・ TOEFL-iBT:100 点以上、もしくは TOEIC 875 点以上を取得した学生。
 - ・ 「上級英語」の4単位以上が A または S 評価の学生。

2. 履修科目

次の(1)から(2)に示す科目から必要単位をすべて修得する。

(1) 英語科目

既習外国語必修8単位(卒業要件)のうち、6単位以上を「上級英語」に振り替えて履修し、修得すること。全8単位を「上級英語」に振り替えることもできる。

(2) 和泉キャンパス開講の英語による講義科目、または海外研修等

① 和泉キャンパス開講の英語による講義

2年次終了までに2単位以上を修得すること。卒業要件に含めることができる。

＜科目の例＞

- ・ 「Essentials of Commerce A」(2単位)春学期
- ・ 「Essentials of Commerce B」(2単位)秋学期
- ・ 他学部開講の英語による授業科目(商学部が定める「他学部履修」のルールにもとづく)

注意:学部間共通外国語科目の各講義は上記科目には該当しない。

② 海外研修等

次のプログラムから1つ以上に参加し、修了証もしくは修得単位を提示できること。

ア 商学部開講「特別テーマ海外研修科目」(和泉開講)(2単位)(注1参照)

イ 国際教育センター主催の短期留学プログラムの内、次の研修・プログラム(注1参照)

- ・ 短期海外研修(春期:英語、スペイン語、中国語)※英語以外も可。
- ・ 短期海外研修(夏期:英語、ドイツ語、フランス語)※英語以外も可。
- ・ グローバル人材育成プログラム(海外実習・短期海外実習)(注2参照)

(参考資料・ウェブサイト等)

- ・ 冊子『海外留学の手引き 2026』 <https://www.meiji.ac.jp/cip/preparation/globalcareer.html>

(注1)卒業要件に含めることができる。

(注2)グローバル人材育成プログラムの単位取扱いは P95 を参照のこと。

〔申請方法〕

1. 3年進級時に商学部事務室より案内する Oh-o! Meiji を通じて申請フォームを取得する。
2. 必要単位が修得できていることを確認した上で、申請フォームに回答する。提出期限等は、Oh-o! Meiji ポータルページで通知する。

— 学部共通科目紹介 —

学部共通科目のシラバスは以下リンク先から詳細を確認すること。

URL: <https://www.meiji.ac.jp/koho/syllabus/index.html>



1. 全学共通総合講座

「総合講座 A」「総合講座 B」「総合講座 C」「総合講座 D」の科目名として履修をし、応用展開科目に卒業要件内科目として算入する。本科目を履修する場合、履修上限に入る。総合講座A・B・C・Dを、各1科目(2単位)計8単位まで履修可能。

一部履修登録期間が異なる科目があるため、履修方法は全学共通総合講座の履修の手引き等を必ず確認すること。

2. 情報関係科目

フリーゾーンに卒業要件内科目として算入する。

一部履修登録期間が異なる科目があるため、履修方法は情報関係科目の履修の手引き等を必ず確認すること。

《明治大学数理データサイエンス人工知能リテラシーレベルプログラム》

数理・データサイエンス・AIに関する知識及び技術について体系的な教育を行うプログラムが 2022 年度より開始されている。全学共通総合講座・情報関係科目の一部の科目が本プログラムの修了要件として認められる。商学部の修了要件等の詳細は HP から確認のこと。



3. 学部間共通外国語科目・グローバル人材育成プログラム科目

① 2023 年度以降入学者

ア 学部間共通外国語科目については、各語学科目の振替対象科目(学部間共通外国語 HP「学部間共通外国語取扱表」参照)以外は「卒業要件外」としてのみ履修が可能となる。

イ 2023 年度以降入学者のグローバル人材育成プログラムの単位取り扱いを、2025 年度の履修登録から次のとおり変更する。

	履修制限単位	卒業要件単位
2024 年度履修登録まで	含めない	含めない
2025 年度履修登録から	含める	含める(フリーゾーン)

ウ 2024 年度までに履修したグローバル人材育成プログラム科目については「卒業要件外」科目となる。また、既に履修・修得した科目の単位を卒業要件単位に含めることは認められない。

② 2018～2022 年度入学者

ア 学部間共通外国語科目・グローバル人材育成プログラム科目いずれも履修時は「卒業要件外」としての履修が可能となる。

イ 1年生から3年生の間に「卒業要件外」として履修・修得した科目を、4年次の春学期に商学部事務室(駿河台)に申請した場合、フリーゾーンの単位として4単位までを上限に卒業要件に参入する。対象者には申請方法等の詳細を、4月上旬に Oh-o! Meiji から配信する。なお、4年次に履修したものは対象外となるため注意すること。

ウ 4年次の申請により卒業要件への算入を認められた該当科目は、4年次に修得しなければならない最低 12 単位分の科目には含まれない。

エ 4年次の申請により卒業要件への算入を認められた該当科目は、4年次春学期の履修制限単位数に含まれる。

オ 該当科目の修得年度は、実際に履修した年度のままで変更はされない。

カ 学部間共通外国語科目については、各語学科目の振替対象科目以外を履修し、単位を修得した場合が対象となる。振替申請をせず、振替対象科目を卒業要件外として登録した場合も申請対象外となるので注意すること。

キ 学部間共通外国語・グローバル人材育成プログラム科目の詳細については、明治大学 HP を確認すること。

③ 2017 年度以前入学者

ア 入学年度の便覧を参照すること。

その他(全学年共通)

(1) 学費について

- ① 学費の振込用紙は、春学期と秋学期分をまとめて4月中旬に発送する。1年生の春学期分は、入学手続き時に納入されているため、振込用紙は送付されない。1年生の秋学期分は10月上旬に発送する。
- ② 学費の振込用紙が届かない場合、以下の理由が考えられるため、注意すること。
住所を移転したが、大学に住所変更を届け出していない。(大学に届け出していない場合でも、郵便局に転送届を出せば、転送される。住所移転時は必ず転送届を提出すること。)住所変更は Oh-o! Meiji アンケート(住所変更)で行うこと。
- ③ 学費が期日までに支払えない場合、学費の延納願を提出する必要がある。
詳細は商学部事務室に問い合わせること。

(2) 証明書について

- ① 在学証明書・学割証等は証明書自動発行機で発行できる。発行時には学生証とパスワードが必要となる。
和泉キャンパス: 第一校舎1階事務室前 駿河台キャンパス: リバティタワー3階
- ② 一部の証明書は、証明書学外発行サービスから、コンビニエンスストア等で発行が可能。
詳細は、以下のURLから確認すること。

<https://www.meiji.ac.jp/certificate/6t5h7p00003d0aza.html>

(3) Oh-o! Meiji などの大学提供の情報サービスに関する問い合わせ

- ① 情報関係の質問は、以下のアドレスへ問い合わせること。
和泉サポートデスク: wsd@meiji.ac.jp 駿河台サポートデスク: ksd@meiji.ac.jp
- ② 大学の情報設備(Wi-Fi、VPN、MeijiMail の多要素認証設定)を利用する際は、MIND 利用講習会(4月上旬に実施)を受講する必要がある。
- ③ 明治大学では、Microsoft、Apple、Adobe のソフトウェアを安く購入することができる。詳細は、上記のメールアドレスに問い合わせること。



MIND 利用講習会掲載ページ

URL: <https://www.meiji.ac.jp/mind/seminar/index.html>

(4) 教科書販売について

- ① 教科書は、シラバス及び各授業科目担当者の指示を確認すること。
- ② 教科書は、履修が確定したものから購入すること。
- ③ 教科書販売については、Oh-o! Meiji より詳細を通知する。

(5) 授業中の写真等の撮影について

授業中の写真等の撮影は、原則認められない。教室は、公共の空間であり、授業中の板書やパワーポイント等のスライドは、著作物に該当するものもある。

(6) 定期試験について

- ① 定期試験の時間割は、必ず大学ホームページを確認すること。
- ② 定期試験期間中に行われる試験は、通常授業の時間帯と異なることがあるので注意すること。
- ③ 定期試験を受けられない場合は、試験日当日、事務室に必ず連絡すること。

(7) 資格試験等について

- ① 英語関連資格検定…商学部では、TOEIC IP テスト、TOEFL ITP テストの団体受験を無料で行っている。
詳細は、Oh-o! Meiji より通知する。なお、TOEIC・TOEFL 等の英語関連資格検定の個別の受験料補助は行っていない。
- ② その他、以下の検定等について助成を行っている。詳細は、Oh-o! Meiji より通知する。
初習外国語検定、日商簿記検定、統計検定、法制研究所・行政研究所・経理研究所在籍料等、リバティアカデミー講座受講

(8) 学内設備について

- ① 明治大学図書館では、新聞記事や日経テレコン等のオンライン情報源にアクセスすることができる。詳細は、以下のアドレスで確認すること。



明治大学図書館オンライン情報源掲載ページ

URL: <https://www.meiji.ac.jp/library/search/e-resource.html>

メールアドレス: lib-webmaster@lib.meiji.ac.jp

VI. カリキュラムマップ

商学部商学科カリキュラムマップ

商学部の具体的な到達目標として、以下の目標を掲げています。そして、本学学則に定める期間に在学し、基礎教育科目、外国語科目、総合教育科目、保健体育科目、基本科目、基幹科目、演習科目などからなる所定の単位（126単位）を修得することにより、教育目標に到達したと認定し、学士（商学）を授与します。

■商学部商学科 学位授与方針（具体的な到達目標）

- （1）商学部の専門知識と深い教養の知識を兼ね備えて、理論的思考で事象を考えることができる
- （2）外国語運用能力を備えた総合的な国際性、現代社会を理解する知識を身につける
- （3）商学の最先端分野に関する理論的・実証的研究の成果を習得する
- （4）「総合的市場科学」の視点より市場現象に関わる多様な課題を的確に分析し、それらを解決できる能力を有する
- （5）自ら主体的に学び、行動する積極性、様々な人々と協働できるチーム力及びコミュニケーション力で課題解決に取り組むことができる

科目区分／科目名称	配当学年	単位	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
基礎教育科目							
基礎演習	1	2	◎				○
文章表現	1	2	◎				○
経済学A・B	1	4	◎		○		
総合教育科目／文化と芸術							
日本文化史A	1・2	2	○				
日本文化史B	1・2	2	○				
西洋文化史A	1・2	2	○				
西洋文化史B	1・2	2	○				
日本語表現論A	1・2	2	○				
日本語表現論B	1・2	2	○				
日本近代文学A	1・2	2	○				
日本近代文学B	1・2	2	○				
日本古典文学A	1・2	2	○				
日本古典文学B	1・2	2	○				
宗教学A	1・2	2	○				
宗教学B	1・2	2	○				
外国文学（西洋）A	3・4	2	○				
外国文学（西洋）B	3・4	2	○				
外国文学（東洋）A	3・4	2	○				
外国文学（東洋）B	3・4	2	○				
芸術（音楽）A	3・4	2	○				
芸術（音楽）B	3・4	2	○				
芸術（美術）A	3・4	2	○				
芸術（美術）B	3・4	2	○				
総合教育科目／地域と社会							
法学A	1・2	2	○				
法学B	1・2	2	○				
アジア史A	1・2	2	○				
アジア史B	1・2	2	○				
地理学A	1・2	2	○				
地理学B	1・2	2	○				
社会学A	1・2	2	○				
社会学B	1・2	2	○				
社会思想史A	1・2	2	○				
社会思想史B	1・2	2	○				
日本思想史A	3・4	2	○				
日本思想史B	3・4	2	○				
政治学A	3・4	2	○				
政治学B	3・4	2	○				
人類学A	3・4	2	○				
人類学B	3・4	2	○				
総合教育科目／人間と自然							
哲学A	1・2	2	○				
哲学B	1・2	2	○				
自然科学概論A	1・2	2	○				
自然科学概論B	1・2	2	○				
生命科学A	1・2	2	○				
生命科学B	1・2	2	○				
線型数学A	1・2	2	○				
線型数学B	1・2	2	○				
解析数学A	1・2	2	○				
解析数学B	1・2	2	○				
物理学A	3・4	2	○				
物理学B	3・4	2	○				
化学A	1・2	2	○				
化学B	1・2	2	○				
言語学A	1・2	2	○				
言語学B	1・2	2	○				
論理学A	1・2	2	○				
論理学B	1・2	2	○				
心理学A	1・2	2	○				
心理学B	1・2	2	○				
環境科学A	3・4	2	○				
環境科学B	3・4	2	○				
外国人留学生のための科目							
日本事情A	1・2	2	○				
日本事情B	1・2	2	○				

科目区分／科目名称	配当学年	単位	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
日本事情C	1・2	2	○				
日本事情D	1・2	2	○				
日本事情E	1・2	2	○				
日本事情F	1・2	2	○				
総合学際演習							
総合学際演習	2～4	2	○	○			◎
特別テーマ演習科目(総合教育科目)A	2	2	○	○			◎
特別テーマ演習科目(総合教育科目)B	2	2	○	○			◎
特別テーマ演習科目(総合教育科目)C	3・4	2	○	○			◎
特別テーマ演習科目(総合教育科目)D	3・4	2	○	○			◎
卒論指導科目(総合教育科目)A	3	2	○	○			◎
卒論指導科目(総合教育科目)B	3	2	○	○			◎
特別認定科目(総合教育科目)	1～4	2	○	○			◎
外国語科目							
既習外国語							
口語英語Ⅰ	1・2	1		◎			○
口語英語Ⅱ	1・2	1		◎			○
英語講読Ⅰ	1・2	1		◎			○
英語講読Ⅱ	1・2	1		◎			○
基礎英語Ⅰ	1・2	1		◎			○
基礎英語Ⅱ	1・2	1		◎			○
集中基礎英語	1・2	2		◎			○
上級英語Ⅰ	1・2	1		◎			○
上級英語Ⅱ	1・2	1		◎			○
集中上級英語	1・2	2		◎			○
発展英語	3・4	1		◎			○
初習外国語							
初級ドイツ語Ⅰ	1	1		◎			○
初級ドイツ語Ⅱ	1	1		◎			○
初級ドイツ語Ⅲ	1	1		◎			○
初級ドイツ語Ⅳ	1	1		◎			○
中級ドイツ語Ⅰ	2	1		◎			○
中級ドイツ語Ⅱ	2	1		◎			○
中級ドイツ語Ⅲ	2	1		◎			○
中級ドイツ語Ⅳ	2	1		◎			○
特別ドイツ語Ⅰ	1・2	1		◎			○
特別ドイツ語Ⅱ	1・2	1		◎			○
特別ドイツ語Ⅲ	1・2	1		◎			○
特別ドイツ語Ⅳ	1・2	1		◎			○
初級フランス語Ⅰ	1	1		◎			○
初級フランス語Ⅱ	1	1		◎			○
初級フランス語Ⅲ	1	1		◎			○
初級フランス語Ⅳ	1	1		◎			○
中級フランス語Ⅰ	2	1		◎			○
中級フランス語Ⅱ	2	1		◎			○
中級フランス語Ⅲ	2	1		◎			○
中級フランス語Ⅳ	2	1		◎			○
特別フランス語Ⅰ	1・2	1		◎			○
特別フランス語Ⅱ	1・2	1		◎			○
特別フランス語Ⅲ	1・2	1		◎			○
特別フランス語Ⅳ	1・2	1		◎			○
初級中国語Ⅰ	1	1		◎			○
初級中国語Ⅱ	1	1		◎			○
初級中国語Ⅲ	1	1		◎			○
初級中国語Ⅳ	1	1		◎			○
中級中国語Ⅰ	2	1		◎			○
中級中国語Ⅱ	2	1		◎			○
中級中国語Ⅲ	2	1		◎			○
中級中国語Ⅳ	2	1		◎			○
初級韓国語Ⅰ	1	1		◎			○
初級韓国語Ⅱ	1	1		◎			○
初級韓国語Ⅲ	1	1		◎			○
初級韓国語Ⅳ	1	1		◎			○
中級韓国語Ⅰ	2	1		◎			○
中級韓国語Ⅱ	2	1		◎			○
中級韓国語Ⅲ	2	1		◎			○

科目区分／科目名称	配当学年	単位	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
中級韓国語Ⅳ	2	1		◎			○
初級スペイン語Ⅰ	1	1		◎			○
初級スペイン語Ⅱ	1	1		◎			○
初級スペイン語Ⅲ	1	1		◎			○
初級スペイン語Ⅳ	1	1		◎			○
中級スペイン語Ⅰ	2	1		◎			○
中級スペイン語Ⅱ	2	1		◎			○
中級スペイン語Ⅲ	2	1		◎			○
中級スペイン語Ⅳ	2	1		◎			○
初級ロシア語Ⅰ	1	1		◎			○
初級ロシア語Ⅱ	1	1		◎			○
初級ロシア語Ⅲ	1	1		◎			○
初級ロシア語Ⅳ	1	1		◎			○
中級ロシア語Ⅰ	2	1		◎			○
中級ロシア語Ⅱ	2	1		◎			○
中級ロシア語Ⅲ	2	1		◎			○
中級ロシア語Ⅳ	2	1		◎			○
日本語（１年）Ⅰ	1	1		◎			○
日本語（１年）Ⅱ	1	1		◎			○
日本語（１年）Ⅲ	1	1		◎			○
日本語（１年）Ⅳ	1	1		◎			○
日本語（２年）Ⅰ	2	1		◎			○
日本語（２年）Ⅱ	2	1		◎			○
日本語（２年）Ⅲ	2	1		◎			○
日本語（２年）Ⅳ	2	1		◎			○
初級ドイツ語プラスワン	1	1		◎			○
初級フランス語プラスワン	1	1		◎			○
初級中国語プラスワン	1	1		◎			○
初級韓国語プラスワン	1	1		◎			○
初級スペイン語プラスワン	1	1		◎			○
中級ドイツ語プラスワン	2	1		◎			○
中級フランス語プラスワン	2	1		◎			○
中級中国語プラスワン	2	1		◎			○
中級韓国語プラスワン	2	1		◎			○
中級スペイン語プラスワン	2	1		◎			○
上級ドイツ語	3・4	1		◎			○
上級フランス語	3・4	1		◎			○
上級中国語	3・4	1		◎			○
上級韓国語	3・4	1		◎			○
上級スペイン語	3・4	1		◎			○
発展ドイツ語	3・4	1		◎			○
発展フランス語	3・4	1		◎			○
発展中国語	3・4	1		◎			○
発展韓国語	3・4	1		◎			○
発展スペイン語	3・4	1		◎			○
保健体育科目							
体育・スポーツ実習Ａ	1	1					◎
体育・スポーツ実習Ｂ	1	1					◎
選択スポーツ実習	2	1					○
選択集中スポーツ実習	2～4	1					○
スポーツとグローバル化セッション	1・2	2	◎	○			
スポーツと健康	1・2	2	◎				
基本科目							
ミクロ経済学	1・2	2	○		◎	○	
マクロ経済学	1・2	2	○		◎	○	
理論経済学Ａ	1・2	2	○		◎	○	
理論経済学Ｂ	1・2	2	○		◎	○	
経済史Ａ	1・2	2	○	○	◎	○	
経済史Ｂ	1・2	2	○	○	◎	○	
商業総論Ａ	1・2	2	○		◎	○	
商業総論Ｂ	1・2	2	○		◎	○	
経営学総論Ａ	1・2	2	○		◎	○	
経営学総論Ｂ	1・2	2	○		◎	○	
簿記学Ａ	1・2	2	○		◎	○	
簿記学Ｂ	1・2	2	○		◎	○	
会計学総論Ａ	1・2	2	○		◎	○	
会計学総論Ｂ	1・2	2	○		◎	○	
統計学Ａ	1・2	2	○		◎	○	
統計学Ｂ	1・2	2	○		◎	○	
金融総論Ａ	1・2	2	○		◎	○	
金融総論Ｂ	1・2	2	○		◎	○	
貿易総論Ａ	1・2	2	○		◎	○	
貿易総論Ｂ	1・2	2	○		◎	○	
ビジネス・インサイト	1	2	○		◎	○	
商学入門	1	2	○		◎	○	
商学研究入門	1・2	2	○		◎	○	
Essentials of Commerce A	1～4	2	○	○	◎	○	
Essentials of Commerce B	1～4	2	○	○	◎	○	
特別テーマ演習科目(基本科目)A	2	2	○	○			◎
特別テーマ演習科目(基本科目)B	2	2	○	○			◎
特別認定科目(基本科目)	1～4	2	○	○			◎

科目区分／科目名称	配当学年	単位	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
商学専門演習（2年）	2	2	○		○	◎	○
基幹科目							
経済政策論A	3・4	2	○		◎	○	
経済政策論B	3・4	2	○		◎	○	
公共経済学	3・4	2	○		◎	○	
財政学	3・4	2	○		◎	○	
中小企業論A	3・4	2	○		◎	○	
中小企業論B	3・4	2	○		◎	○	
産業組織論A	3・4	2	○		◎	○	
産業組織論B	3・4	2	○		◎	○	
国際経済学A	3・4	2	○	○	◎	○	
国際経済学B	3・4	2	○	○	◎	○	
日本経済論A	3・4	2	○		◎	○	
日本経済論B	3・4	2	○		◎	○	
環境経済学A	3・4	2	○		◎	○	
環境経済学B	3・4	2	○		◎	○	
計量経済学A	3・4	2	○		◎	○	
計量経済学B	3・4	2	○		◎	○	
ゲーム理論A	3・4	2	○		◎	○	
ゲーム理論B	3・4	2	○		◎	○	
商業経営論A	3・4	2	○		◎	○	
商業経営論B	3・4	2	○		◎	○	
マーケティング管理論A	3・4	2	○		◎	○	
マーケティング管理論B	3・4	2	○		◎	○	
市場調査論A	3・4	2	○		◎	○	
市場調査論B	3・4	2	○		◎	○	
広告論A	3・4	2	○		◎	○	
広告論B	3・4	2	○		◎	○	
インダストリアルマーケティング論A	3・4	2	○		◎	○	
インダストリアルマーケティング論B	3・4	2	○		◎	○	
商品学A	3・4	2	○		◎	○	
商品学B	3・4	2	○		◎	○	
流通史A	3・4	2	○		◎	○	
流通史B	3・4	2	○		◎	○	
消費者行動論A	3・4	2	○		◎	○	
消費者行動論B	3・4	2	○		◎	○	
流通システム論A	3・4	2	○		◎	○	
流通システム論B	3・4	2	○		◎	○	
マーケティング企画A	3・4	2	○		◎	○	
マーケティング企画B	3・4	2	○		◎	○	
競争戦略論A	3・4	2	○		◎	○	
競争戦略論B	3・4	2	○		◎	○	
交通論A	3・4	2	○		◎	○	
交通論B	3・4	2	○		◎	○	
物的流通論A	3・4	2	○	○	◎	○	
物的流通論B	3・4	2	○	○	◎	○	
国際交通論A	3・4	2	○	○	◎	○	
国際交通論B	3・4	2	○	○	◎	○	
都市・地域交通論A	3・4	2	○		◎	○	
都市・地域交通論B	3・4	2	○		◎	○	
公益事業論A	3・4	2	○		◎	○	
公益事業論B	3・4	2	○		◎	○	
観光事業論A	3・4	2	○		◎	○	
観光事業論B	3・4	2	○		◎	○	
金融論A	3・4	2	○		◎	○	
金融論B	3・4	2	○		◎	○	
コーポレート・ファイナンスA	3・4	2	○		◎	○	
コーポレート・ファイナンスB	3・4	2	○		◎	○	
金融機関論A	3・4	2	○		◎	○	
金融機関論B	3・4	2	○		◎	○	
国際金融論A	3・4	2	○	○	◎	○	
国際金融論B	3・4	2	○	○	◎	○	
金融取引論A	3・4	2	○		◎	○	
金融取引論B	3・4	2	○		◎	○	
証券市場論A	3・4	2	○		◎	○	
証券市場論B	3・4	2	○		◎	○	
機関投資家論A	3・4	2	○		◎	○	
機関投資家論B	3・4	2	○		◎	○	
保険学A	3・4	2	○		◎	○	
保険学B	3・4	2	○		◎	○	
損害保険論A	3・4	2	○		◎	○	
損害保険論B	3・4	2	○		◎	○	
生命保険論	3・4	2	○		◎	○	
社会保障論A	3・4	2	○		◎	○	
社会保障論B	3・4	2	○		◎	○	
保険リスクマネジメント論A	3・4	2	○		◎	○	
保険リスクマネジメント論B	3・4	2	○		◎	○	
貿易論A	3・4	2	○	○	◎	○	
貿易論B	3・4	2	○	○	◎	○	
国際マーケティング論A	3・4	2	○	○	◎	○	
国際マーケティング論B	3・4	2	○	○	◎	○	

科目区分／科目名称	配当学年	単位	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
貿易商務論A	3・4	2	○	○	◎	○	
貿易商務論B	3・4	2	○	○	◎	○	
貿易政策論A	3・4	2	○	○	◎	○	
貿易政策論B	3・4	2	○	○	◎	○	
ビジネス英語A	3・4	2	○	○	◎	○	
ビジネス英語B	3・4	2	○	○	◎	○	
バーバル・ビジネス英語A	3・4	2	○	○	◎	○	
バーバル・ビジネス英語B	3・4	2	○	○	◎	○	
国際ビジネス交渉論A	3・4	2	○	○	◎	○	
国際ビジネス交渉論B	3・4	2	○	○	◎	○	
北米地域市場論	3・4	2	○	○	◎	○	
欧州地域市場論	3・4	2	○	○	◎	○	
中南米地域市場論	3・4	2	○	○	◎	○	
アジア・太平洋地域市場論	3・4	2	○	○	◎	○	
世界経済論A	3・4	2	○	○	◎	○	
世界経済論B	3・4	2	○	○	◎	○	
経営戦略論A	3・4	2	○		◎	○	
経営戦略論B	3・4	2	○		◎	○	
生産管理論A	3・4	2	○		◎	○	
生産管理論B	3・4	2	○		◎	○	
情報管理論A	3・4	2	○		◎	○	
情報管理論B	3・4	2	○		◎	○	
経営情報システム論A	3・4	2	○		◎	○	
経営情報システム論B	3・4	2	○		◎	○	
経営組織論	3・4	2	○		◎	○	
経営労務論	3・4	2	○		◎	○	
労使関係論A	3・4	2	○		◎	○	
労使関係論B	3・4	2	○		◎	○	
経営管理論	3・4	2	○		◎	○	
産業心理学	3・4	2	○		◎	○	
経営哲学	3・4	2	○		◎	○	
経営倫理	3・4	2	○		◎	○	
企業論	3・4	2	○		◎	○	
日本経営史	3・4	2	○		◎	○	
国際経営論A	3・4	2	○	○	◎	○	
国際経営論B	3・4	2	○	○	◎	○	
財務会計論A	3・4	2	○		◎	○	
財務会計論B	3・4	2	○		◎	○	
原価計算論A	3・4	2	○		◎	○	
原価計算論B	3・4	2	○		◎	○	
意思決定会計論A	3・4	2	○		◎	○	
意思決定会計論B	3・4	2	○		◎	○	
業績管理会計論A	3・4	2	○		◎	○	
業績管理会計論B	3・4	2	○		◎	○	
監査論A	3・4	2	○		◎	○	
監査論B	3・4	2	○		◎	○	
経営分析論A	3・4	2	○		◎	○	
経営分析論B	3・4	2	○		◎	○	
税務会計論A	3・4	2	○		◎	○	
税務会計論B	3・4	2	○		◎	○	
国際会計論A	3・4	2	○	○	◎	○	
国際会計論B	3・4	2	○	○	◎	○	
会計情報論A	3・4	2	○		◎	○	
会計情報論B	3・4	2	○		◎	○	
企業評価論A	3・4	2	○		◎	○	
企業評価論B	3・4	2	○		◎	○	
企業法A	3・4	2	○		◎	○	
企業法B	3・4	2	○		◎	○	
租税法A	3・4	2	○		◎	○	
租税法B	3・4	2	○		◎	○	
異文化間コミュニケーション論	3・4	2	○	○	◎	○	
バイオテクノロジーとバイオビジネス	3・4	2	○		◎	○	
企業と倫理A	3・4	2	○		◎	○	
企業と倫理B	3・4	2	○		◎	○	
企業と環境問題	3・4	2	○		◎	○	
メディアとリテラシー	3・4	2	○		◎	○	
中国政治経済論	3・4	2		○	◎	○	
東南アジア政治経済論	3・4	2	○	○	◎	○	
スポーツビジネス論	3・4	2	○		◎	○	
レジャービジネス論	3・4	2	○		◎	○	
産業立地論	3・4	2	○		◎	○	
経済予測入門A	3・4	2	○		◎	○	
経済予測入門B	3・4	2	○		◎	○	
ベンチャー・ファイナンスA	3・4	2	○		◎	○	
ベンチャー・ファイナンスB	3・4	2	○		◎	○	
e-ビジネスA	3・4	2	○		◎	○	
e-ビジネスB	3・4	2	○		◎	○	
ビジネス法務A	3・4	2	○		◎	○	
ビジネス法務B	3・4	2	○		◎	○	
ベンチャービジネス論	3・4	2	○		◎	○	
実践会計論A	3・4	2	○		◎	○	

科目区分／科目名称	配当学年	単位	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
実践会計論B	3・4	2	○		◎	○	
クリエイティブ・マーケティング論A	3・4	2	○		◎	○	
クリエイティブ・マーケティング論B	3・4	2	○		◎	○	
ファッション・ビジネス論A	3・4	2	○		◎	○	
ファッション・ビジネス論B	3・4	2	○		◎	○	
特別認定科目(基幹科目)	1～4	4	○	○	◎	○	
基幹英語科目							
外国専門書講読	3	4	○	○	◎	○	
Applied Commerce A	3・4	2	○	○	◎	○	
Applied Commerce B	3・4	2	○	○	◎	○	
特別認定科目(基幹英語科目)	1～4	4	○	○	◎	○	
商学専門演習							
商学専門演習(3年)	3	2	○		○	◎	○
商学専門演習(4年)	4	2	○		○	◎	○
特別テーマ演習科目(基幹科目)C	3・4	2	○		○	◎	○
特別テーマ演習科目(基幹科目)D	3・4	2	○		○	◎	○
卒論指導科目C	3	2	○		○	◎	○
卒論指導科目D	3	2	○		○	◎	○
応用展開科目							
総合講座A	1～4	2	○		◎	○	
総合講座B	1～4	2	○		◎	○	
総合講座C	1～4	2	○		◎	○	
総合講座D	1～4	2	○		◎	○	
文化と芸術特殊講義	3・4	2	○		◎	○	
地域と社会特殊講義	3・4	2	○		◎	○	
人間と自然特殊講義	3・4	2	○		◎	○	
外国文化・言語特殊講義A	3・4	2	○		◎	○	
外国文化・言語特殊講義B	3・4	2	○		◎	○	
スポーツ科学特殊講義	3・4	2	○		◎	○	
商業特殊講義	3・4	2	○		◎	○	
交通特殊講義	3・4	2	○		◎	○	
金融・証券特殊講義	3・4	2	○		◎	○	
保険特殊講義	3・4	2	○		◎	○	
貿易特殊講義	3・4	2	○		◎	○	
経営特殊講義	3・4	2	○		◎	○	
会計特殊講義A	1・2	2	○		◎	○	
会計特殊講義B	1・2	2	○		◎	○	
会計特殊講義C	3・4	2	○		◎	○	
ジョブ・インターンシップ	3	2	○		◎	○	
特別テーマ実践科目A	1～4	2	○		◎	○	
特別テーマ実践科目B	1～4	2	○		◎	○	
特別テーマ実践科目C	1～4	2	○		◎	○	
特別テーマ実践科目D	1～4	2	○		◎	○	
特別テーマ研究科目A	1～4	2	○		◎	○	
特別テーマ研究科目B	1～4	2	○		◎	○	
特別テーマ研究科目C	1～4	2	○		◎	○	
特別テーマ研究科目D	1～4	2	○		◎	○	
特別テーマ研究科目E	1～4	2	○		◎	○	
特別テーマ研究科目F	1～4	2	○		◎	○	
特別テーマ海外研修科目A	1～4	2	○	○	◎	○	
特別テーマ海外研修科目B	1～4	2	○	○	◎	○	
特別テーマ海外研修科目C	1～4	2	○	○	◎	○	
特別テーマ海外研修科目D	1～4	2	○	○	◎	○	
地域活性化システム論A	1～4	2	○		◎	○	
地域活性化システム論B	1～4	2	○		◎	○	
その他	1～4	各2	○		○		
資格課程関係科目群	1～4	各2	○				
学部間共通外国語科目群※	1～4	各2		◎			○
グローバル人材育成プログラム群	1～4	各2		◎			
大学院商学研究科設置科目群※	4	各2			◎		
専門職大学院会計専門職研究科設置科目群※	4	各2			◎		

※卒業要件外